

SEA-DOO®



Sport Boats

オペレーターズガイド

セーフティビークルおよびメンテナンス情報を含みます

2008

205 UTOPIA™ 205 UTOPIA™ SE



警告

このガイドをよく読んでください。安全に関する重要な情報が載せられています。
運転者の推奨最低年齢：16 歳。
このボートからこの『オペレーターズガイド』を持ち出さないでください。

安全性に関する警告

この『オペレーターズガイド』、セイフティ・ビデオ、および製品の警告ラベルに含まれる安全のための注意事項や指示事項を無視すると、死亡の可能性を含めて人身事故の原因になることがあります。オペレーターには安全のための注意事項を同乗者に知らせる義務があります。

この『オペレーターズガイド』とセイフティ・ビデオは、ボートを売却する際もボートとともにお渡しください。



以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc. またはその子会社に帰属します。

Sea-Do®

ROTAX™

Utopia™

あなたの新しい SEA-DOO スポーツボートに 関して守っていただきたいこと

おめでとうございます。あなたは今日から Sea-Doo スポーツボートのオーナーです。すでに経験豊富なボーターの方も、ボートिंगスポーツは初めてのの方も、まずボートに付属のセイフティ・ビデオをご覧になり、この『オペレーターズガイド』、そして製品各部に表示されている警告 / 注意ラベルをよく読んで、その内容を熟知してください。こうしたマニュアル類には役に立つ情報がたくさん含まれており、これをお読みになれば、このボートの楽しさを満喫していただくために必要な知識が得られるはずです。

当社はすべてのボート・オペレーターの方々に、安全講習を受講されることを強くお勧めしています。コースの有無については、最寄りの沿岸警備当局またはパワーセイル愛好者団体までお問い合わせください。さらに熱心なボーターの方は、一般の書店で販売されている Elbert S. Maloney 著 *CHAPMAN PILOTING* をお読みになるとよいでしょう。

あなたのご家族やお友達をこのスポーツに誘う場合は、その人がスポーツボートの操縦装置と操作方法、そして思いやりと分別のあるライディングの重要性をしっかりと理解していることを確かめてください。

オペレーターには同乗者や他の水域利用者の安全を確保する責任があります。安全性に関するすべての指示事項を守り、常に慎重に操縦してください。

ボートの「12ヶ月安全点検」をお受けになることをお勧めします。詳細については、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにお問い合わせください。

最後に、定期的に Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーを訪問されることをお勧めします。ディーラーでは安全のためのメンテナンスを受けられるだけでなく、スポーツボートの各種アクセサリーもご用意しています。

楽しく遊んでください。お楽しみいただけるようお祈りいたします。

このガイドは常に船体に搭載しておいてください。ボートの再販時は、必ずこれらのガイドを備え付けてください。

『オペレーターズガイド』の追加を参照または印刷を希望される場合は、次のウェブサイト www.operatorsguide.brp.com にアクセスしてください。また本ガイドは各種言語に翻訳されております。

目次

はじめに	7
------------	---

安全に関する情報

一般的事項	10
トレーラーでの運搬	11
安全なボーティングのチェックリスト	12
安全装備	15
一酸化炭素とボーティング	20
セイフティランヤード	24
安全なボーティングのための習慣	25
同乗者の安全	26
海路規則	27
給油の手順	30
任意点検	31
安全なボーティングのためのコース	32
ウォータースポーツ	33

ボートについての情報

登録番号の位置	38
重要なラベルの位置	39
識別番号	44
操縦装置、コンポーネント類、および計器類	45
全体図	45
1) DESS ポスト (エンジンカットアウトスイッチ)	48
2) ステアリングホイール	49
3) スロットル/シフターコントローラ	49
4) スタート / ストップスイッチ	49
5) ビルジエアブローワースイッチ	50
6) ビルジポンプスイッチ	51
7) 航海灯スイッチ	51
8) デッキライトスイッチ	52
9) ホーンスイッチ	52
10) 燃料ゲージ	52
11) タコメーター	52
12) スピードメーター	52
13) モニタリングゲージ	53
14) ビルジドレンプラグ	53
15) グラブハンドル	54
16) リアグラブハンドル	54

17) ラダー.....	54
18) スイムプラットフォーム.....	54
19) オペレーター/同乗者シート.....	55
20) バウシート.....	56
21) リアシート.....	56
22) サンデッキ.....	57
23) カップホルダー.....	57
24) グローブボックス.....	57
25) AM/FM ラジオ/CD プレーヤー.....	58
26) 12V アクセサリージャック.....	58
27) デッキストレージコンパートメント.....	58
28) リアストレージコンパートメント (エンジンカバー).....	59
29) ジェットポンプウォーターインテーク.....	60
30) バウライト.....	60
31) 脱着式スターンライト.....	60
32) 係船クリート.....	61
33) デッキ.....	62
34) 燃料タンクキャップ.....	62
35) デッキドレン.....	62
36) フラッシングコネクター.....	62
37) ベンチレーションダクト.....	62
38) バウ/スターンアイレット.....	63
39) ジェットポンプノズル.....	63
40) リバースゲート.....	63
41) 排水バルブ.....	63
42) 燃料タンクベント.....	63
43) ウォータースポーツトウイングアタッチメント.....	64
44) メインバッテリーカットオフスイッチ.....	66
45) ヒューズ.....	66
46) ビミニトップ.....	66
47) サイドパネル/トレイストレージ.....	68
48) コックピットテーブル.....	69
49) ウインドシールド.....	70
50) 水深測定器.....	70
51) デッキライト.....	70
52) AM/FM ラジオ/CD プレーヤーリモートコントロール.....	71
燃料、オイル、クーラント.....	72
推奨燃料.....	72
推奨エンジンオイル.....	72
エンジンオイルレベル.....	72
エンジン冷却液.....	74
慣らし運転期間.....	76
使用前の点検.....	77
船体 (ハル).....	79
ジェットポンプウォーターインテーク.....	79
ビルジ.....	79
バッテリー.....	79

燃料タンクとエンジンオイルのレベル	79
エンジンコンパートメント	79
消火器	80
ステアリングシステム	80
スロットル/シフターコントローラ	80
DESS ポストおよびエンジンスタート/ストップスイッチ	80
ストレージコンパートメントカバー	80
操作の説明	81
進水 / 積み込み	81
作動原理	81
ドックからの乗船	83
水中からの乗船	83
エンジンの始動	84
波の荒いときや視界の悪いときの航行	85
波を横切るとき	85
停止 / ドック入れ	85
浜辺に乗り上げるとき	86
エンジンの停止	86
運転後の手入れ	86
泥水や塩水で使用した場合の追加の手入れ	87
特殊作業の手順	88
ジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃	88
転覆	88
スポーツボートが水没したとき/エンジン内に水を吸い込んだとき	89
プラグがかぶってしまったとき	89
水上でのボートの曳航	90
トラブルシューティング	92
仕様	97

メンテナンス情報

10 時間点検	102
定期点検チャート	103
メンテナンス手順	108
一般的事項	108
エンジンの排出ガスに関する情報	108
潤滑	109
スロットル/シフターコントローラケーブル	110
エンジンのオイル交換とオイルフィルターの交換	110
冷却液の交換	111
燃料噴射システム	111
ステアリングアライメント	111
スロットル/シフターコントローラ	111
デッキドレン	111
ヒューズ	111
ビルジエアブロー	113

航海灯の電球交換	113
犠牲陽極	115
全体の点検と清掃	115
保管、シーズン前の準備	117

保証情報

米国とカナダで販売された SEA-DOO スポーツボート 2008 年モデル® に対する BRP 限定保証	126
4-TEC™ 1503 自然吸気 (NA) および 4-TEC™ 1503 インタークーラースーパーチャージャー付き (SCIC) エンジン装備 SEA-DOO® 2008 年モデルスポーツボートに対するカリフォルニア州およびニューヨーク州の排出ガス制御保証規定	131
2008 年モデル SEA-DOO® スポーツボートに対する BRP 国際限定保証..	135
2008 年モデル SEA DOO® スポーツボートに対する BRP 欧州連合加盟国限定保証	139
CE 適合性宣言	143
プライバシーに関する情報	145
住所と所有権の変更	147

この補足に含まれる情報およびコンポーネント/システムの記述は、出版の時点で正しいものです。ただし、Bombardier Recreational Products (BRP) は、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を維持します。

製品の品質向上と技術革新の絶えざる努力のため、BRP は何らの義務を負うことなく、製品の仕様、設計、機能、型式、装置などをいつでも変更し、あるいは製造を終了する権利を留保します。

本書で使われているイラストは異なるアッセンブリーの一般的な構造を示しており、特定部品の完全な詳細や正確な形状でない場合もあります。しかし、それらは同様または類似の機能を持つ部品を代表しています。

このガイドは他言語に翻訳される可能性があります。内容に不一致が生じた場合は、英語版の内容が正しいものと見なされます。

仕様の数値は SI メートル法で示され、括弧内に SAE の U.S. 単位系に換算した値を併記します。特に精度が要求されない個所では、実用上の利便性を優先して換算値の端数を四捨五入している場合があります。

完全な整備とメンテナンスに関する情報、および修理に関するより詳しい情報をご希望の方には、別途『シヨップマニュアル』をご用意しています。

安全に関する情報

一般的事項

あなたには、あなたと同乗者、そしてボート仲間の安全を守る責任があります。ボートを進水させる前に、まずこの『オペレーターズガイド』、製品の警告文とラベル、セイフティ・ビデオおよびボートに付属している情報やディーラーから提供された情報をよく読んで理解してください。必ずすべての警告文、安全のための注意事項、操作手順に留意し、それらに従ってください。

BRPでは、公認された船舶安全講習会の受講を強くお勧めいたします。いつでも安全な航行のためのルールを守り、安全な礼儀と常識を持ってボートの操縦をください。無謀で思慮に欠けた操縦を行えば、あなたと同乗者、あるいは他のボート利用者の安全が脅かされ、死傷の可能性があります。

トレーラーでの運搬

トレーラーの許容搭載重量、使用方法、メンテナンス、アクセサリ、保証などについては、トレーラーの説明書をご覧ください。

トレーラーの牽引、特に以下の事項については、使用する国や地域の関連法規を確認してください：

- ブレーキシステム
- 牽引車両の重量
- バックミラー。

注記：オプション装備として、あなたのトレーラーに適したブレーキシステムをご用意しています。Karavan Trailers (www.karavantrailers.com) にご連絡ください。

ボートを牽引トレーラーで運搬する場合は、次のような点に注意してください：

ボートはバウ（前）およびスターン（後）アイレットを使用してトレーラーにしっかりと固定してください。

- スターンライトは取り外します（取り付けがある場合）。
- すべてのストレージコンパートメントカバーのラッチが正しくかかっていることを確認します。
- 閉じた位置でウインドシールドドアをしっかりロックします。
- ビミニトップを閉めます。
- Sea-Doo カバーを取り付けるとボートを保護することができます。特に未舗装路を牽引する場合は、エアインテークからの埃の侵入を防ぎます。

トレーラー牽引の安全に関する注意事項を守ってください。

注意：牽引を開始する前に、リアストレージコンパートメントのリッドが閉まっていることを必ず確認してください。

安全なボートイングのチェックリスト

クルージングに出かける時は、その間も必ず安全なボートイングのチェックを実施してください。

操縦に関するご注意...

このスポーツボートの性能は、あなたと乗る乗者が操縦する前に、操縦の経験やスキルを十分に習得し、十分な練習を積んでおく必要があります。また、乗る乗者の年齢や体格、操縦の経験やスキルを十分に習得し、十分な練習を積んでおく必要があります。また、乗る乗者の年齢や体格、操縦の経験やスキルを十分に習得し、十分な練習を積んでおく必要があります。

位置が難しくなることを避けるために、操縦の経験やスキルを十分に習得し、十分な練習を積んでおく必要があります。また、乗る乗者の年齢や体格、操縦の経験やスキルを十分に習得し、十分な練習を積んでおく必要があります。

他のボートとの衝突を避けるために、操縦の経験やスキルを十分に習得し、十分な練習を積んでおく必要があります。また、乗る乗者の年齢や体格、操縦の経験やスキルを十分に習得し、十分な練習を積んでおく必要があります。

- 航行中の座席として設けられない人がいる場合（サンデッキやスライムプールラフトフォームは座席ではありません）、または近くの水の中に人がいる場合は、ボートのエンジンをかけたり、発進させたりしないでください。

- スポーツボートのジェットスラストで人がケガをする可能性があります。いつでもゆっくりと加速し、余裕をもって減速するようにしてください。

- 安全性に関するすべてのラベルの注意事項を守ってください。そうすることであなたのボートイングを安全で楽しいものにするために設けられています。

- 同乗者を伴っての航行や、他のボート、チューブ、水上スキーヤー、ウエイクボーダーなどを牽引しているときは、ボートの挙動が変化し、より高度な技術が必要になります。

- 一部のスポーツボートには、スキーヤー、チューバー、またはウエイクボーダー用のロープの取り付けに利用できるトウアイル、タワースワッグが装備されています。このような取り付けポイントやスポーツボートの他の場所を、パラセイル使用しない重大な損傷につながる可能性があります。

- 水深の浅い場所では十分に注意を払い、低速で走行して起きや激な急停止によるおそれがあります。また、異物がジェットポンプに吸い込まれて後方へ弾き出され、人に当たってケガをさせたり、ジェットポンプや他人の所有物を破損する可能性があります。

- エンジンの排気には一酸化炭素（CO）が含まれており、多量に吸い込むと意識障害や死亡の原因

因なる可能性が狭い
 場所、囲いや屋根で覆われ、た場所
 では、ボートのエンジンかけず、
 ボートの中や周囲に酸化炭素が
 滞留しないようにしてください。
 ドック入れやラフディングのと
 ぎ、他のボートの排気によるCO
 の危険に注意してください。

- 同乗者全員に、特にエンジンとジェ
 ネレータの排気ガスによるCO滞
 留およびCO中毒の危険と症状につ
 いて知らせます。エンジンと工
 装ストアットレット（また工備
 されている場合ジェネレータウ
 トレット）を位置を知らせます。
 トポネントの故障や詰まりの
 ために工キゾーストおよびジエ
 ンタシステムをアウトレイ
 を定期的に点検してください。
- 内燃機が運転には空気が必要で完
 全防水にするこはできませぬ。
 全例例えば、フィギュアなどの
 ようなアッパーデッキが没する
 ような機動は、水の吸入による重
 大なエンジントラブルの原因
 となることがあります。この
 『オペレーターズガイド』の特
 殊な手順と限定保証セクシ
 ョンを参照してください。

- 低速航行水域に開する規則、お
 びその水域を利用す意他、人々
 環境にはボート長の兼才一と
 して、ボートにはあなたに
 の航跡が責任が船外にありま
 乗者の船を黙認し、出で、必
 日没航海灯を点灯し、減速はし
 航さい。視界が悪いで、状
 トを使用しないでください。
- 視界に悪影響を及ぼしたり、ボ
 トの操縦性が変化したる、可
 性があらず、アクセサリー装
 り付けしないでください。
- 悪天候の際には船長が自ら舵を取
 ってください。

航行を始める前に...

- この『オペレーターズガイド』で
 指定されている「使用前の点検」
 を必ず実施してください。
- このボートの最大積載荷重また
 乗船定員を守ってください。こ
 の値は定員表示プレートとい
 様のページのページに記載して
 います。過積載は操縦性、安定性、
 性能に悪影響を及ぼす可能性
 があります。また、荒れた海で
 積載量を減らしてください。最
 積載荷重や乗船定員プレートの
 示さなくてもよいわけでは
 ありません。
- ボート、船体、エンジン、安全
 装備、およびその他のすべての
 部品を定期的に点検し、それら
 についても安全な航行ができる
 状態に維持してください。
- 規則で定められた最低限の安全
 装備、救命胴衣、および航行に
 必要なすべての補助的な装備
 を行ってください。
- 消火器を含むすべての救命装
 安全に使用でき、すぐに取り出
 用ようがない。すべての乗者
 てくれ、その使い方を
 し、それを確かめてください。
- 天候にはつねに気を配りましょ
 出発前にその地域の天気予報
 かめてください。コンディシ
 の変化に対して警戒を怠らな
 うにしましょう。
- あなたが航行するエリアの正
 最新の海図をつねにボートに
 でおいてください。航行を始
 前に、通過予定エリアの水域
 ディションを確認しましょう。
- 出発の前に、陸上の管理責任
 フロートプランを提出してく
 ださい。
- 計画している旅程に対して十分
 の燃料を積んでください。また、
 使用前と使用中は、常に燃料
 レベルを確認してください。「1/3
 の原則」を適用して、1/3を
 燃料、1/3を帰路の燃料、そし

残りの 1/3 を予備燃料としましよ
う。悪天候やその他の理由による
予定変更の可能性も見越しておく
必要があります。

オペレーターと同乗者...

- アルコールや薬物の影響を受けて
いる状態では絶対にボートを操縦
しないでください。法令違反行為
です。適切な資格を持たない人
にはあなたのボートを操縦させ
ないでください。太陽、風、アル
コール、薬物、疲労、体調不良
による判断力や反応時間が損な
われる可能性があることを忘れ
ないでください。
- オペレーターが予期せずに操縦
できない状態になった場合に備
えて、少なくともひとりの同乗
者はそのボートを操縦できな
ければなりません。
- 16 歳未満の方、または視覚、
反応時間、判断能力、操縦装置
の操作能力が損なわれるような
障害をお持ちの方によるこの
ボートの操縦はお勧めできません。
- ボートを操縦するときはいつ
でもセイフティランヤードスイ
ッチを使用し、すべての同乗者
がその使い方を理解している
ことを確認してください。
- オペレーターとすべての同乗
者が泳げること、そして水中か
らこのスポーツボートに上がる
方法を知っていることを確認
してください。もしも泳げない
同乗者がいる場合、その人
にはつねに救命胴衣を着用さ
せ、航行中はその人に特別な
注意を払ってください。

安全装備

ライディングコンディションや個人の好みに応じて、オペレーターとボートの同乗者がいつでも飛散防止加工を施した保護ゴーグルを利用できるようにしておきましょう。

風や水の飛沫、高速走行などによって水が目に入り、視界がぼやけてしまうことがあるからです。

ボートのオーナーとして、あなたには規則で要求されるすべての安全装備がボートに搭載されていることを確認する義務があります。また、あなたと同乗者の安全のために必要であれば、その他の補助的な装備の用意についても考えるべきです。地域の規則を確認しましょう。規則では、米国沿岸警備隊航行安全ホットライン 1 800 368-5647 へおかけください。

規則で要求される安全装備

規則によって要求される安全装備の一部は、このボートに標準装備されています。救命胴衣は、装着する人の体のサイズに合わせてください。地域の規則により特別な装備が必要な場合、米国沿岸警備隊 (USCG) の承認を受けています。最小限の装備として求められるのは次のようなものです：

- 救命胴衣 (PFD : 一人用浮標用具)
- 消火器 (クラス B-1)
- 視覚的遭難信号 (VDS)
- 航海灯
- 発音装置 (ホーン、エアホーン、ホイッスル)。

また、防水バッグやコンテナに携帯電話を入れておくのも有用で、遭難した場合や陸上と連絡を取る場合に使用できることがあります。

救命胴衣 (PFD : 一人用浮標用具)

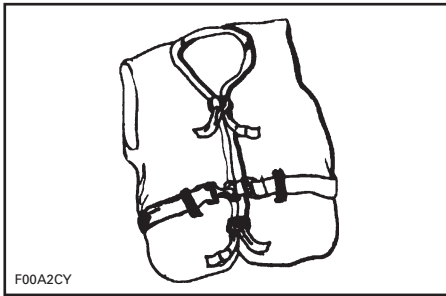
法の定めにより、レクリエーションルボートでは各乗員に少なくともひとつの日本小型船舶検査機構 (JCI) 認定の救命胴衣 (PFD) を用意しなければなりません。また、デッキ下や閉じられたキャビンの中にいる場合を除いて、ボートが航行している間、13歳未満の子供はつねに PFD を着用しなければなりません。すべての PFD が使用可能な状態にあり、すぐに取り出すことができ、乗船する全員に適したサイズのもの (PFD に表示されている適体重量と胸囲寸法の範囲内であること) が用意されていないと、ボートを使用することができません。

PFD の浮力は、頭部を水面上に保ち、水中での姿勢を楽な状態に維持するのに役立ちます。PFD を選ぶときには、その人の体重と年齢を考慮してください。PFD の浮力は水中であり、あなたの体重をサポートするものであり、PFD のサイズは着用する人に合ったものでなければなりません。PFD のサイズを決めるとき、最も一般的な基準は体重と胸囲です。規則で要求される数とタイプの PFD がボートに積まれていることを確認し、同乗者にその収納場所と使い方を周知させることはあなたの責任です。

PFD タイプ

5 つのタイプの PFD が米国沿岸警備隊によって承認されています。

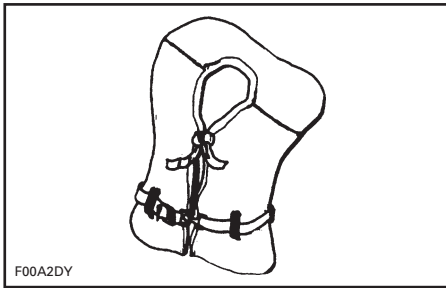
PFD タイプ I、救命胴衣の浮力は最高です。水中で意識不明の人の向きを変えることが可能なように設計されており、顔を下向けの状態から縦向の状態にやや後向け、顔を上向けの状態に変えます。これにより生存の見込みがかなり高まります。タイプ I はすべての水域でもっとも効果的ですが、救助が遅れることがある沖合いでは特にそうです。また波の荒い場所でももっとも効果的です。



F00A2CY

タイプ I — 着用

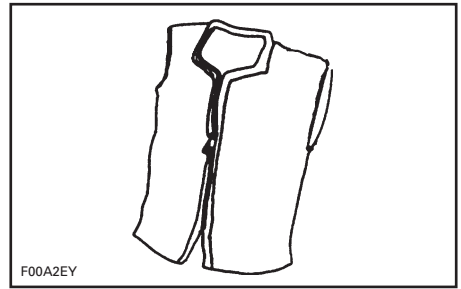
PFD タイプ II、救命胴衣は水中でタイプ I と同様に向きを変えることができませんが、タイプ I ほど効果的ではありません。タイプ II は同じ状況下ではタイプ I ほど多くの人の向きを変えることはできません。通常人々がウォータースポーツアクティビティを行い、救助が素早くなされる可能性が高い場所では、この PFD の使用を好まれるでしょう。



F00A2DY

タイプ II — 着用

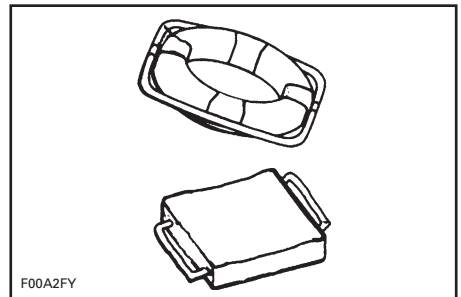
PFD タイプ III、救命胴衣は着用者の状態を縦向きまたはやや後ろ向きの位置に変えます。着用者を方向転換することはしません。着用者の姿勢を縦向きまたはやや後ろ向きに保ちますが、顔を下向きに変えることはできません。タイプ II PFD と同じ浮力があり、通常人々がウォータースポーツアクティビティを行っている場所に適しています。



F00A2EY

タイプ III — 着用

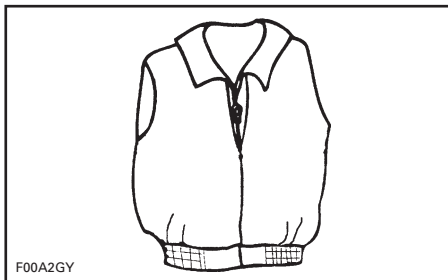
PFD タイプ IV、上記で説明した PFD の特徴に加えて、投げられる状態であることが必要です。もっとも一般的なタイプ IV PFD は、浮揚性クッションが救命浮輪です。水中の人に投げるよう設計されており、救助されるまでユーザーがつかみ続けます。タイプ IV PFD は常に使用可能な状態にあり、すぐに使用できます。救助が遅れたり、ユーザーが低体温症（体温の低下）になると、PFD は困難となることがあります。



F00A2FY

タイプ IV — 投下

PFD タイプ V、救命胴衣を着用してください。膨らんだとき、タイプ I、II、III PFD と同じ浮力があります。しかし、空気を抜くと遭難者を浮かせることができないこともあります。



タイプ V—着用

PFD について

PFD の目的は、人命救助に役立つこととです。水中で体がサポートを受けられるには、PFD が正しくフィットし、水に浮き、良好な状態を維持している必要があります。

- まず PFD を試着し、水上と水中の両方で快適に体にフィットするまで、各部を調整します。その PFD が自分専用であれば、何らかの目印を付けておきましょう。
- PFD が正しく機能することを確かめるため、水中で着用してみてください。これによって PFD の機能がわかり、自信を持って使用できます。
- 子供たちに PFD の着用のしかたを教えて、水中で効果を試させてください。そうすることによって子供たちは PFD の目的と機能を理解できます。また、一度でも着した経験があれば、突然水中に放り出されてもそれほど不安を感じずにすむでしょう。
- PFD が濡れている場合は、完全に乾かしてから保管してください。ラジエターやヒーターの前に置いて乾かささないでください。できるだけ換気の良い場所に保管してください。
- PFD を先の尖ったものに近づけないでください。繊維の部分に裂けたり、浮力パッドに穴が開いたりする可能性があります。
- 本人たちの安全と周りの人々の安全のために、泳げない人、あまり泳げない人、および小さな子供たちは、ボートが動いているときも、つねに PFD を着用してください。

止まっているときも、つねに PFD を着用してください。

- PFD に破れなどが無いが、浮力パッドに漏れが無いが、そしてすべての縫い目と継ぎ目がしっかりと縫われていて、できるだけ頻繁に点検してください。
- PFD にカボック（ジャワ綿）が使われている場合、ビニールインサートに穴が開くとカボックに水が染み込んで浮力を失うことがあります。カボックが硬くなる場合があります。水を吸ってほしい場合は、交換してください。そのような状態では、必要なときに立たない可能性があります。

低体温症

水に体温を奪われて起きる低体温症は、ボート事故における重大な死亡原因のひとつです。水中で低体温症にかかると、やがて意識を失い、その結果として溺れてしまいます。

PFD には断熱効果もあるため、着用によって生存時間を延ばすことができます。

当然のことながら、水温が高いほど、必要とされる断熱性は低くなります。寒冷地（気温 4.4°C (40°F 以下)）で航行するときは、胴衣型の PFD よりも体をカバーする面積が大きいコート型またはジャケット型の PFD を着用するなどの配慮が必要です。

低体温症から身を守るために憶えておくべきいくつかのポイントをご紹介します：

1. 水中に落下して浮いているときは、近くの船舶、他の生存者、あるいは身を委ねたり上がったりの浮遊物に近づこうとする場合を除いて、泳ごうとしないでください。不必要に泳ぐと、体温を失いやすくなります。水温が低い場合、頭部を濡らす必要がある溺死防止法は推奨できません。頭部は水面より上に保ってください。これによって体温の低下を大幅に遅らせ、生存時間を延ばすことができます。

- 生存と救助について、積極的な態度を持ち続けましょう。救助されるまでの生存時間を延ばせる可能性が高まります。生き延びるといふあなたの意志によって違いが生じるのです！
- 水中に複数の人がいる場合は、救助を待つ間、体を寄せ合うことを推奨します。これによって体温の低下を遅らせ、結果として生存時間を延ばせます。
- いつでも PFD を着用しましょう。あなたが水に落ちた時点で PFD を着用していないければ、PFD は低体温症の影響を避ける点では役立ちません。

消火器

ボートのオーナーとして、あなたには米国沿岸警備隊によって認定された消火器を用意する義務があります。7.9 m (26 ft) 未満では、ボートのエンジンコンパートメントに固定式消火システムがない場合、(1) B-1 タイプ手持ちポータブル消火器を 1 個携帯することが必要です。

手持ちポータブル消火器は、エンジンコンパートメントから離れており、すぐに取り出せる場所に置いてください。乗船者すべてが、消火器のある場所と正しい使い方を知らないければなりません。

注記: 少量の消火剤を噴出させて消火器のテストをしないでください。本当に必要なときに、その消火器が役に立たなくなっている可能性があります！

視覚的遭難信号デバイス

沿岸海域で航行するすべてのレクリエーションボート、および米国国内で所有登録され、公海上を航行する船舶は、米国沿岸警備隊によって公認された視覚的遭難信号デバイスを備えなければなりません。沿岸水域には、五大湖に直接つながっている領海および水域、また水域が幅 3.2 km (2 mi) 未満である領海を含みます。視覚的遭難信号デバイスは、発火タイプまたは非発火タイプです。規則により、船上の乗員に差し迫った危険、または潜在的な危険を防ぐために、助が必要なる場合を除いて、どんな場合にも水上での視覚的遭難信号デバイスの使用は禁止されています。

デバイスは米国沿岸警備隊によって公認されており、いつでも使用できる状態にあり、すぐに取り出せる場所に収納されていなければなりません。また、使用可能期限のあるデバイスは、指定された有効期限内でなければなりません。

特に子供が乗船する場合は、視覚的遭難信号デバイスを慎重に選び、正しく保管することがきわめて重要です。

警告

火災！火災が発生した場合は、エンジンコンパートメントを開けないでください。エンジンを止めます。ポータブル二酸化炭素消火器を使い、火の下へ向けて消火器が空になるまで放出し続けてください。

日中のみ使用

オレンジ色の発煙筒 3 本（手持ち式 1 本と浮標式 2 本）、または黒い四角形と丸を描いたオレンジ色の旗 1 本。

夜間のみ使用

S-O-S 遭難信号灯 1 個

日中および夜間に使用

手持ち式、打ち上げ式、または落下傘式の炎火信号 3 本。

音響信号デバイス

注記: ひとつですべての用途に使える音響信号デバイスはありません。いつでも複数の種類のデバイスをボートに積んでおいてください。

全長 26 ft (7.9 m) 未満のボートは、手、口、または動力によって音を発する警笛がホイッスルを常備する必要があります。それらは 2 秒間の連続音を鳴らすことが可能であり、少なくとも 800m (1/2mi) の距離から聞こえるものでなければなりません。

標準警笛信号は次のとおりです：

- 1 回の長い音（警告信号）
- 1 回の短い音（当方の左舷側を通過せよ）
- 2 回の短い音（当方の右舷側を通過せよ）
- 3 回の短い音（後退）
- 5 回以上の音（危険信号）。

航海灯

航海灯は、あなたのボートの存在とコースを他の船舶に知らせるためのものです。日没から日の出までの間に航海を行う場合は、適切な航海灯を点灯しなければなりません。

その他の推奨装備

安全で楽しいクルージングのために、各種の補助的な装備の搭載をお勧めします。このリストの内容がすべてではありませんが、入手を検討すべきさまざまなアイテムが含まれています。

基本的な用具

- フラッシュライト
- 係船索
- コンパス
- オールまたはパドル
- 遭難信号
- ファーストエイドキット
- ドックフェンダー
- VHF ラジオ
- EPIRB (電子式位置指示無線標識)
- ボートフック

- 予備の暖かい衣服
- 海図
- 日焼け止め
- 曳航用ロープ
- 第二のアンカーとロープ
- 排水装置（ポンプまたはベイラー）
- 非常用飲料水と食料。

工具

- スパークプラグレンチ
- ハンマー
- ドライバー
- ナイフ
- プライヤー
- ビニールテープ
- モンキーレンチ
- 潤滑油
- ダクトテープ。

その他の工具類については、ディーラーにご相談ください。

スペアパーツ

- 予備のバルブ
- 予備のヒューズ
- 予備のドレンプラグ
- スパークプラグ
- 予備の配線。

その他の部品については、ディーラーにご相談ください。

一酸化炭素とボーディング

炭素が含まれる物質を燃焼させると、無色無臭の一酸化炭素（CO）が発生します。COは重さが空気とほぼ同じなので、気付かないうちに閉じられた空間の全体に広がっていることがあります。一酸化炭素は無色無臭だからです。船上で炭素ベースの物質を燃やす器具はすべてCOの発生源になりますが、中でも最も大きなものは内燃機関（エンジン）です。

COが血液中に取り込まれると血液の酸素運搬能力が低下します。人体の組織への酸素供給が不足すると、その組織は最終的には死んでしまいます。また、その影響が長時間に及んだ場合、脳の障害または死亡の原因にもなります。特に濃度が高いと、COはほんの数分でも致命的な影響を及ぼす可能性があります。濃度が低い場合でもCOの影響は累積的に進み、長時間にわたるとやはり致命的になります。

CO中毒には次のような症状があります：目のかゆみ、涙が出る、顔が赤くなる、こめかみがズキズキする、思考力の低下、耳鳴り、胸が苦しい、頭痛、眠気、吐き気、めまい、疲労感、嘔吐、虚脱、痙攣。こうした症状のいずれかが表われた場合は、ただちに手当てを行ってください。迅速な対応が生死を分けることもあります。

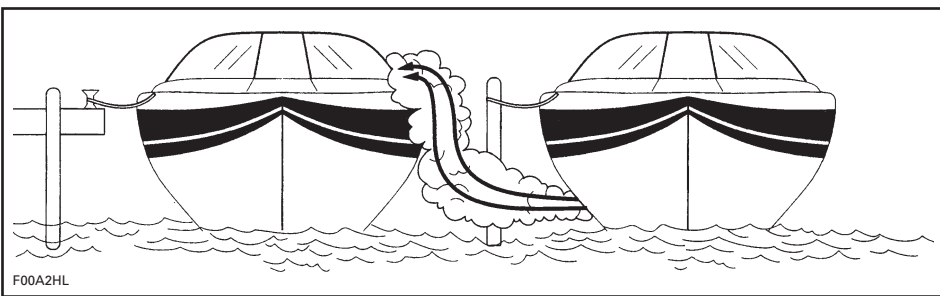
- その場所から離れて、空気の新鮮な場所に患者を移す。
- 酸素吸入器があれば酸素吸入を行って、医師に助けを求める。
- キャンバスをすべて開けて、その場所の換気を行う。
- COの発生源を調べて、ただちにその発生を防ぐ措置を取る。
- ボートの近くにあるかもしれない他のCO発生源に特に注意する。

一酸化炭素の滞留

ドックに入っているとき、係船中、または航行中に、あなたのボートにCOが滞留する可能性がある状況の例を以下に示します。こうした例とそれぞれの注意事項を頭に入れて、CO中毒やそれによる死亡事故を防いでください。

⚠ 警告

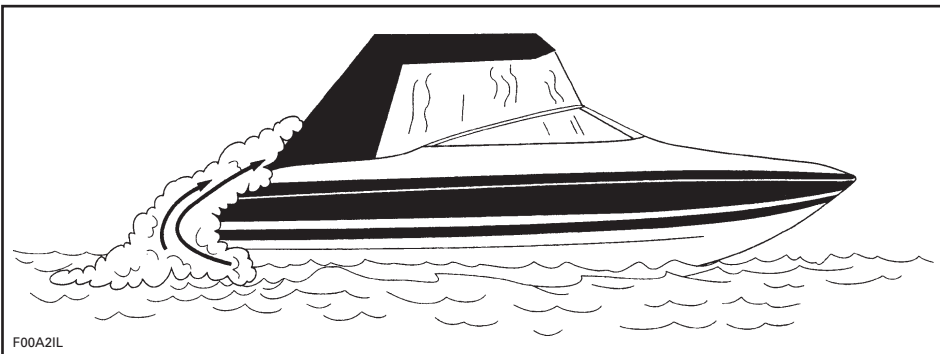
排気ガスに注意！ドックの中、または係船中に、発電機や近くのボートのハルから出る排気によって有毒なCOガスが発生し、キャビンやコックピット内にCOが多量に滞留する原因になることがあります。あなたのボートまたは隣に並んだボートの発電機の排気に注意してください。排気ガスのアウトレットが棧橋、ドック、防潮壁などに近かったり、アウトレットが何かに塞がれていたりすると、コックピット内に有毒なCOガスが多量に滞留する可能性があります。



隣に並んだボート

⚠ 警告

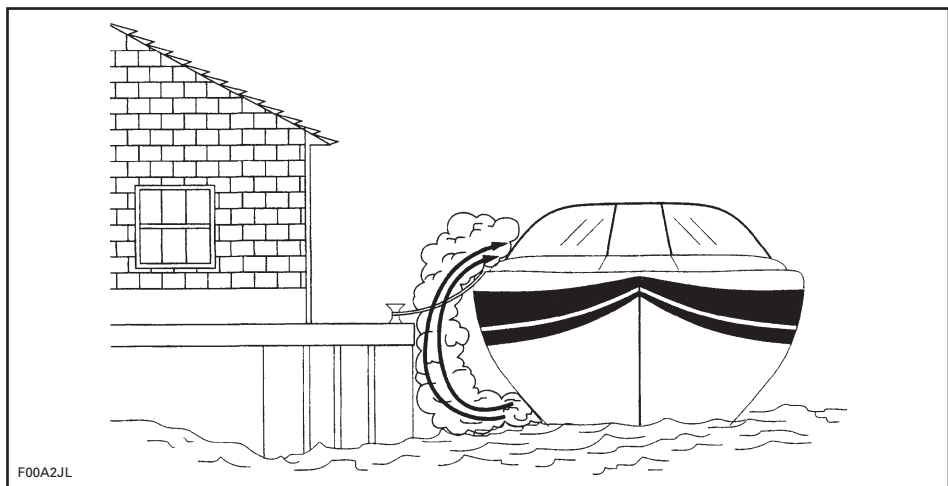
排気ガスには一酸化炭素 (CO) が含まれており、ボート内外に滞留することがあります (ビミニトップ下、コックピット内等)。COを吸い込むと、有害また致命的です。エンジン作動時は十分な換気を確認してください。



航行中 (バックドラフト)

航行中は、バックドラフトまたはステーションワゴン効果によってCOの濃度が上昇することがあります。バックドラフトは、相対的な風向き、速度、あるいはバウが高すぎるといった要因によって発生します。これを防ぐため、可能なときにはなるべくキャンパスを開けて、ハル全体に積極的に外気を取り入れてください。

ポートハウス、防潮壁、すぐ近くにいる他の船舶や狭い空間などによって、COの濃度レベルが上昇することもあります。オペレーターは、他のポートがいる場所での航行、停泊、投錨には外部の発生源によるCO滞留の危険が伴うことを理解していなければなりません。同様に、ポートのオペレーターは自分のポートの排気が他の船舶にどのような影響を及ぼすかについても理解する必要があります。停泊中にエンジンをかけると、自分のポートだけでなく周囲のポートに対してもCO滞留の原因になる可能性があります。



狭い空間

十分な換気が行われるようにしてください。ウインドシールドに換気口がある場合は、航行に出る前にそれらを開けて外気を積極的に取り入れ、CO滞留が起きる可能性を抑えましょう。

警告

バックドラフトに注意！ 特定の条件下では、空気の流れが有毒なCOガスをポート内に導き入れる可能性があります。船内の空気が滞っていると、こうして流れ込んだガスの濃度が危険なレベルにまで高まる可能性があります。十分な換気を行い、荷重の配分を修正するなどの方法でバウアングルが高くなりすぎないようにしてください。

最良の設計と構造を持つポートでも、特定の条件下では閉じられた空間や狭い空間にCOが滞留する場合があります。同乗者がCO中毒症状を示していないか、絶えず観察してください。

次のチェックリストを実施せずにボートを操縦しないでください。

各航行日

作業内容	✓
あなたと同乗者は排気ガスのアウトレットが船体のどこにあるかを知っています	
CO中毒の症状とCOの滞留場所について全同乗者に知らせます。	
他のボートとドック入れやラフディングのとき、他のボートの排気物質に気をつけます	
エンジン始動時排気ガスのアウトレットからの水流を確認します	
排気音の変化に注意を払ってください。排気コンポーネントの異常を示すことがあります	
テストボタンを押して、各COアラームの作動をテストします（装備されている場合）	

CO 検出器

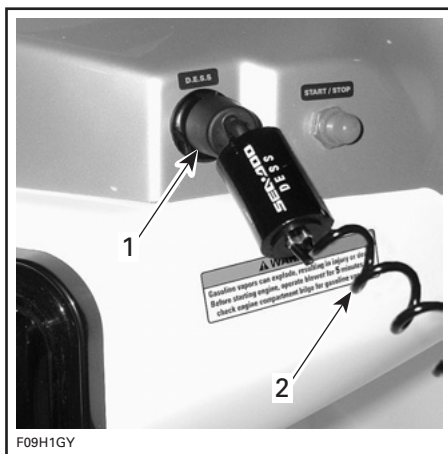
キャンバスエンクロージャーを取り付けたボートには、CO検出器の搭載を強くお勧めします。このモニター装置はディーラーで取り扱っています。CO検出器の取り付けと調整は、専門の技術者にお任せください。

注記: CO検出器は燃料蒸気検出器とは異なります。燃料蒸気検出器では、閉じられた空間でのCO濃度の上昇をモニターすることはできません。

セーフティランヤード

オペレーターがランヤードを付けていれば、オペレーターがコントロールステーションから転落したときにはこの安全装置が働いて、自動的にエンジンを停止させます。

セーフティランヤードクリップは、オペレーターのPFD、衣服、腕、または脚などにしっかりと取り付けなければなりません。ランヤードは操縦動作の妨げにならない場所で、オペレーターが操舵ステーションを離れたときに一緒に移動するものに、さなげいつも取り付けるようにしてください。セーフティランヤードにつなげられた DESS キーが外れてエンジンが停止した場合、DESS ポストに元通りにキーを取り付けないと、エンジンを再始動することができません。



代表的な例

1. DESS ポストに取り付けられた DESS キー
2. オペレーターにつなげられたセーフティランヤード

警告

ボートを操縦するときは、いつでもセーフティランヤードを使用してください。DESS ポストの周辺には、スイッチの作動を妨げるおそれがあるものを置かないでください。セーフティランヤードスイッチを改造したり、安全機能をバイパスさせたりしないでください。セーフティランヤードを正しく使用すれば、重大なケガや死亡につながるおそれのあるボートの暴走を防止することができます。

安全なボートイングのための習慣

あなたには、あなた自身の安全、あなたの同乗者の安全、そしてボート仲間の安全を守る責任があります。

薬物とアルコール

ボートを操縦しながら薬物を使用したり、アルコールを飲んだりしてはいけません。車の運転と同様に、ボートの操縦には落ち着きと注意や薬物の影響下にあるときにボートを操縦するのは単に危険であるばかりでなく、法に違反する行為であり、重大な罰則の対象になります。これらの法規に基づき取り締まりも精神的に実施されています。薬物やアルコールを単独で、または組み合わせると、反応時間が長くなり、判断力と視力が低下するなど、安全にボートを操縦するために必要な能力が損なわれます。

警告

アルコールの摂取とボートイングは共存できません！アルコールの影響下でボートを操縦すると、同乗者や他の船舶の乗員の生命を危険にさらすこととなります。アルコールや薬物の影響を受けた状態でのボートの操縦は、法によって禁止されています。

安全な航行

安全上の理由とボートの適切な手入れという観点から、ボートを航行する前には『オペレーターズガイド』で指定された「毎日の使用前の点検」を必ず実施してください。安全な航行とは、まずあなたがボートを正しく使用し、同乗者にも誤った使い方をさせないことを意味します。また、それはいつでも優れた判断を下せることを意味します。これには次のような行動が含まれます（これらだけに限られるわけではありません）：

- ボートの積載荷重と乗員数を、定員表示プレートに示された制限値

以内にしてください。バウ（船首）からスターン（船尾）までのバランス、右舷と左舷のバランスを考慮して荷物や人を乗せてください。

- ボートの速度を現地の法律で定められた制限速度以下に維持してください。速度を出すぎたり、そのときの速度で航行しないでください。
- オペレーターの技量と経験、ボートの能力、あるいは同乗者が快適にすごせる限界を超えるような天候または海上の状況では、ボートを使用しないでください。
- 非常の場合に備えて、少なくともひとりの同乗者がボートの操縦と安全面について熟知していることを確かめてください。
- 同乗者やギアがオペレーターの視界や動きを妨げることがないようにしてください。
- ボートの認証プレートに表示された最大許容格出力を超えるエンジンを使用しないでください。
- 船内と周囲の航行エリアのいずれにおいても、すべての安全標識と警告を遵守してください。

同乗者の安全

航行出発前に、すべての同乗者に緊要の場所を教える。安全装備が収納される方法を説明し、濡れにくいゴムの靴を履くようにしてください。内底航行中に同乗者が足や手を傷めないように注意してください。航行中、閉じられたキャビンの中やデッキの下にいる場合を除いて、13歳未満の子供には必ずPFDを着用させてください。

応急処置

ボートのオペレーターとして、あなたには助けるべき基本的な応急処置の手順を熟知している必要があります。ボートの上で起きる事故は、釣り針による軽い切り傷や擦り傷が多いかもしれませんが、大量出血、低体温症、重いやけどといった重大な症状にも対処できるように、正しい手順を学んでおく必要があります。応急処置に関するパンフレットや講習会などは、各地の赤十字支部で入手できます。

未成年者の操縦

未成年者がボートを操縦するときは、必ず大人が監督するようにしてください。多くの地域では、未成年者の最低年齢と免許条件について法律で規定しています。詳しくは、船舶免許管轄官庁にお問合せください。ウォータークラブのご利用は16才以上に限ることをお勧めします。

海路規則

責任あるボート乗員が、航行中に他の船舶と衝突する可能性があることを認識し、適切な行動をとるべきである。

ボートの操縦者は、航行中に他の船舶と衝突する可能性があることを認識し、適切な行動をとるべきである。

ボートを使用する場合は、その水域に適用される地元および国の船舶関連法を確認してください。その地域の道交法に関する法令も調べておく必要があります。また、その水域で使用されている航行システム（ブイや標識）についても十分に調べ、内容をよく理解しておかなければなりません。

さらに、水域自体に関する知識も必要です。海流、潮汐、早瀬、航跡や波などは、安全な運航に影響します。悪天候下でのボート使用はお勧めできません。

進路優先権 通常の回避は右側に行い、他の船舶、遊泳者、障害物との間に安全な距離を保ちながらこれらを回避します。

交差

前方の船舶に進路を譲って右側に回避。絶対に他のボートの前方を横切ってはけません。

赤色灯（他の船舶に進路を譲ります）。

緑色灯（進路優先権があります）。

対向の場合

互いに右へ回避。

追い越し

他の船舶に進路を譲り、距離を保つ。

航行システム

標識やブイなどの航行支援設備は、安全な水路の確認に役立ちます。ブイは、そのブイの右側（右舷）を通過すべきか左側（左舷）を通過すべきか、あるいは、どの水路を進むべきかを示します。ブイは、低速航行制限水域や減速水域などあるかどうかが示されます。また、危険や特別な航行情報を示すこともあります。標識は陸上や水上に設置されています。これらの標識でも、速度制限、無動力船舶や無動力航行、停泊、その他の有効な情報を表わすことができます（各種標識は形状で異なります）。

ボート使用水域における航行システムをよく理解しておくようにしてください。

衝突回避

- 障害物を回避しようとするときは、スロットルを戻さないでください。旋回するにはスロットルを開ける必要があります。
- 他の遊泳者、船舶、障害物などに対する見張りを常に怠らないでください。自分自身の視界が制限されたり、他の人から見えにくくなったりするような状態に陥らないよう、十分な注意が必要です。
- レクリエーションを楽しむ他の人々や周囲の人々の権利を尊重し、他の船舶や人、障害物などから安全な距離を保ってください。
- 航跡や波のジャンプ、波打ち際の走行、ボートのしぶきを他の人にかける、といった行為は禁物です。ボートの能力や自分自身の技量に

関する判断を誤り、他のボートや人に衝突する恐れがあります。

- このボートは他の多くのボートよりも鋭くターンできます。しかし、緊急の場合を除いて、鋭い高速のターンをなす操作は、第三者の安全な回避や進路を確保するものではありません。落水し、乗者が溺れます。
- 他のボートは、ボートと同行する際に、距離を十分に保ち、必要に応じて停止する必要があります。また、波や風の影響を受け、操縦が難しくなる場合があります。
- 衝突を避けるには、速度を維持する必要があります。

安全なライディング

- スロットルレバーをアイドル位置に戻すと方向制御が難しくなり、エンジンが停止する可能性があります。
- ボートは十分な高速性能を有していませんが、高速走行は理想的な条件を整える必要があります。
- 水深の浅い場所では十分に注意を払って運転してください。
- ボートを止めるためにリバーを乗者が前方に投げ出されて、ハン

ドルバーや障害物にぶつかる恐れがあります。

オペレーター / 同乗者が注意すべきこと

- サンデッキを装備している場合は、サムデッキやスイムラットンには乗らないでください。
- オペレーターと同乗者が正しく着座し、エンジンを動かしてください。
- 同乗者が乗っているボートを加速させるときは、完全な静止状態から徐々に加速するようにしてください。
- 急加速を行うと同乗者がバランスを崩したり、グリップから手が離れたりして、船内で何かから転落したりするおそれがあります。

船の操縦性 / 曳航

- ボート使用時は、積載重量や定員をオーバーしないようにしてください。
- ボートの操縦性に影響するようないくつかの装置は取り付けないでください。
- 同乗者を乗せたり、チューブ、水上スキー、ウエイクボードを曳航したりするとボートのハンドリングは変化し、より高い操縦技量が求められます。
- 走行時は、同乗者、およびスキーやウエイクボードの利用者の安全と快適性を常に考慮してください。

- チューブ、水上スキー、ウェイクボードなどを曳航する場合、必ず監視役を乗せ、必要な速度を超えないようにするとともに、監視役の指示に従って走行してください。止むを得ない場合を除き、急な旋回はしないでください。また、桟橋、遊泳者、船舶、障害物などからは安全な距離を保ってください。
- 曳航ロープは十分な長さ、太さのものを使用し、適切な方法でしっかりとボートに接続されていることを確認します。一部のボートには特別に設計された牽引機構が装備されていたり、あるいはその取り付けが可能になっています。その上に人が倒れたりするとケガをする恐れがあり、危険です。

忘れないでください：

- 最初からスマートなライディングを心がけましょう。安全の秘訣です！

給油の手順

燃料について

- ガソリンとその蒸発気は可燃性であり、特定の条件下では爆発性があることを忘れないでください。給油はつねに注意深く行い、この『オペレーターズガイド』に記載されている給油の手順とそれを守って下さい。給油を始める前に必ずエンジンから降りて、全員をポートから降ろしてください。燃料を補給するたびに、エンジンの臭いが漏れやホースの劣化がないか点検してください。
- 近くで喫煙したり、裸火や電気スパークを近づけたりしてはいけません。
- 燃料タンクの容量を覚えておき、照明設備を整えておく場を確保して、夜間の給油は避けてください。暗いところではエンジンがこぼれやすくなります。ストレーンコンパルトメントやエンジンコンパルトメントには、予備の燃料や可燃性体を積まないでください。

手順

警告

以下に示す船の安全な給油に関する指示事項に厳密に従ってください。

- エンジンを止めます。
- 必ず全員がポートから降りてください。
- ポートを給油用棧橋にしっかりと係留します。
- 最低5分間ビルジブローを回します。
- 火花を起こす可能性のあるビルジエアブロー、ビルジポンプと他の機器をオフにします。
- エンジンカバーが閉じられていることを確認して、エンジンコンパー

トメントにガスが流入することを防ぎます。

- 手近なところに消火器を用意してください。
- 給油ノズルをフィルターネックに差し込んでください。
- タンクから空気が逃げられるようにゆっくりと給油して、燃料の吹き返しを防止してください。燃料をこぼさないように注意してください。
- 燃料がフィルターネックの根元とタンクまで達したなら、給油を止めます。入れすぎた燃料は取り除き、燃料タンクキャップを最後までしっかりと締めてください。

警告

給油を行う前に必ずエンジンを止めてください。ガソリンは可燃性であり、特定の条件下では爆発性があります。つねに換気の良い場所で作業を行ってください。近くで喫煙したり、裸火や電気スパークを近づけたりしてはいけません。燃料タンクに圧力がかかっているときもあつちります。キャップを開けるとゆっくりと回してください。裸火を明らかにして燃料レベルを確認するのは絶対にやめてください。給油中はポートを水平に保ってください。燃料を入れすぎないようにし、油口ぎりぎりまでガソリンを入れた状態で、ポートを日の当たる場所に長時間置かないようにしてください。温度の上昇と共にガソリンが膨張して、オーバーフローすることがあります。給油時にこぼれた燃料は必ず拭き取ってください。定期的に燃料系を点検しましょう。

任意点検

多の州にあある州の航行当局および
米国沿岸警備隊付した属団は、ポ一ト
を于エックす。安全の基準への優遇点検と
供されます。こら安全の点検の1つに
さす。こら安全の点検の1つに
同す。こら安全の点検の1つに
く是正する時は、州の属団に
細に警備隊付した属団に
沿岸警備隊付した属団に
ださい。

安全なボートイングのためのコース

米国沿岸警備隊付属団体や米国パワー愛好者団体は、一年に数回安全なボートイングのための総合クラスを設けます。最寄のコースの予定については、ボート/米国財団 1 800 336-BOAT (2628) またはバージニアでは 1 800 245-BOAT (2628) までお問い合わせください。また次に予定されているクラスの日時と場所については、地元の米国沿岸警備隊付属団体かパワー愛好者団体までお尋ねください。ご利用に際しては安全講習への参加をお勧めします。県、地域によっては参加が義務付けられている場合があります。

ウォータースポーツ

警告

ケガを防ぎましょう！あなたのボートは、パラセール、カイト、グライダー、または空中に浮かぶ可能性のある何かのデバイスの牽引を前提として設計されておらず、その用途に使用すべきではありません。このボートの使用は適切なウォータースポーツだけです。

警告

チークサーフィン、ボートの後部近くでなされ、最も濃いエンジンの排気ガスを直接吸い込むことになるため、きわめて危険です。排気ガスによる一酸化炭素中毒を起し、失見当識、めまい、眠気、意識の喪失などの原因になる可能性があります。一酸化炭素を吸い込むおそれと、ライフジャケット（PFD：救命胴衣）を着用しないという2つの点で、この新しい水上でのレクリエーションはたいへん危険であり、場合によっては死に至る可能性もあるスポーツです。

水上スキー、ウエイクボード、あるいは牽引された浮き袋に乗ることは、とても人気のあるウォータースポーツです。そうしたウォータースポーツに参加するには、参加者とボートのオペレーターがより強い安全意識を持つ必要があります。もしあなたが誰かをボートで牽引した経験がなければ、まず熟練したオペレーターと組んで監視係として参加し、その後オペレーターから学ぶのもよい方法です。また、牽引される人のスキルと経験について知っておくのも重要なことです。オペレーターがボートの操縦に集中できるように、牽引される人を監視する係を必ず同乗させ

ウォータースポーツに参加するときは、ボートのオペレーターと監視係の両者が牽引口を注意し、牽引口を引くときに円を描いて旋回し、船内または水上の人物が絡んで、重大なケガの原因になるおそれがあります。

ウォータースポーツに参加するすべての人は、次の指針を守ってください：

- どんなウォータースポーツでも、十分に泳げる人だけを参加させてください。
- 米国沿岸警備隊が承認する救命胴衣（PFD）を必ず着用してください。適切にデザインされたPFDを着用していれば、気を失った人でも浮いていることができます。実際のウォータースポーツに適した実用的なPFDは、公認を受けたタイプIVの水上スキー用ベストです。
- 牽引される人を監視し、その手信号をオペレーターに伝える係の人を同乗させてください。オペレーターはボートの操縦と前方の水面に注意を集中させなければなりません。
- 同じ水域を利用する他の人々への思いやりを忘れないでください。
- ボート後方でチークサーフを誰にもさせないでください。ウォータースポーツでは短い牽引口で人を曳航しないでください。濃い排気ガスを吸い込むことになり、一酸化炭素を含む濃い排気ガスを吸い込むと、CO中毒になり、負傷や死に至る可能性があります。
- 転落した人にすぐに注意を払ってください。水中にひとりである人は無防備であり、他のボートから見えにくいこともあります。
- 水中にいる人を助けに行くときは、風下側（風の向きと反対側）から近づいてください。また、その人

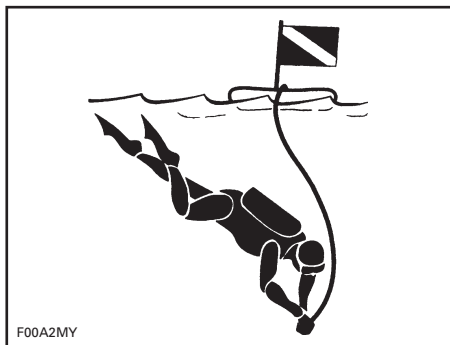
に接近する前にエンジンを止めてください。

- 遊泳する前にボートのエンジンを止め、錨を降ろしてください。
- 安全なエリアで行われているウォータースポーツだけに参加しましょう。他の船舶、水路、浜辺、立ち入り制限区域、遊泳者、交通量の多い水路、水中に障害物がある場所には近づかないでください。
- 安全に遊泳できる場所として指定されたエリア内だけで泳ぎましょう。こうしたエリアは、通常は遊泳エリアブイで区分されています。ひとりきりで泳いだり、夜間に泳いだりしてはいけません。



遊泳エリアブイ

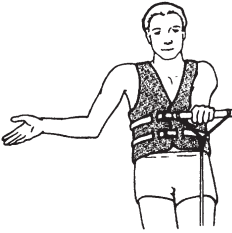
- 日没から日の出までの間は、水上スキーを行わないでください。多くの地域では、夜間の水上スキーは法律により禁止されています。
- 水上スキー、チューブ、ウエイクボードなどに乗っている人の直後をボートで航行しないでください。時速 40 km (25 mi) で航行しているとき、ボートは 60 m (200 ft) 前方で水中に落ちた人を約 5 秒で追い越してしまいます。
- 近くの水中に人がいるときは、エンジンを止めて、イグニッションキーを取り外してください。
- ダイバーダウンフロートのあるエリアからは、少なくとも 45 m (150 ft) の距離を保つようにしてください。



ダイバーダウンフロート

警告

ケガを防ぎましょう！ たとえエンジンがかかっていなくても、人がジェットポンプやインターグレートに近づかないように気をつけてください。長い髪、ゆったりした衣服、救命胴衣のストラップなどが可動部分に絡んで、重大なケガを負ったり、溺れたりするおそれがあります。水深の浅い場所では、貝殻、砂、小石などがジェットポンプに吸い込まれ、後方へ飛ばされる可能性があります。



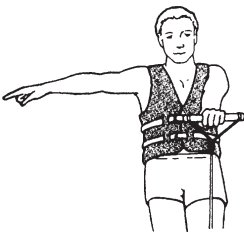
加速-
手のひらを上に向けます。



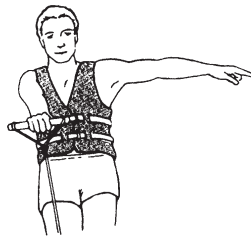
減速-
手のひらを下に向けます。



速度 OK -
腕を上向きに曲げ、親指と人差し指で円を作ります。



右折-
腕を右方向に伸ばします。



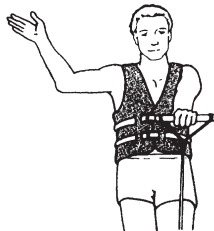
左折-
腕を左方向に伸ばします。



乗船エリアに戻る-
腕を水面に対して45度で向け、スイングします。



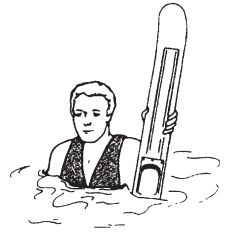
モーター停止 -
喉元で手を横に引きます。



停止-
手を上に上げ、手のひらを前向きにして、警察官スタイルです。



落水後スキーヤーは OK
頭上で両手を握り締めます。



助けてください、またはスキーヤー落水-注意 -
片方のスキー板を縦にします。

F00A2NL

水上スキーの手信号

水上スキーに関する詳細は、米国水上スキー連盟、1251 Holy Cow Road, Polk City, FL 33868 (1 863 324-4341) までお問い合わせください。

インターネットウェブサイト: www.usawaterski.org/

E-MAIL: usawaterski@usawaterski.org

ボートについての情報

登録番号の位置

連邦法の規定により、すべてのボートは登録されなければならない、法定登録番号を表示しなければなりません。

登録番号を正しく表示できるスペースは限られています。適切な位置については下図を参照してください。登録番号はボートの両側面に表示してください。



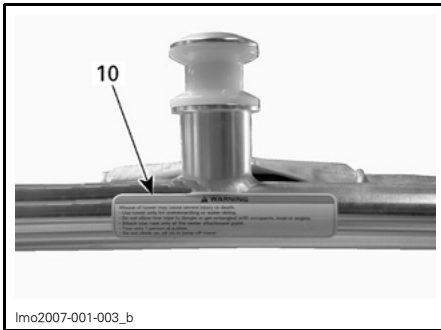
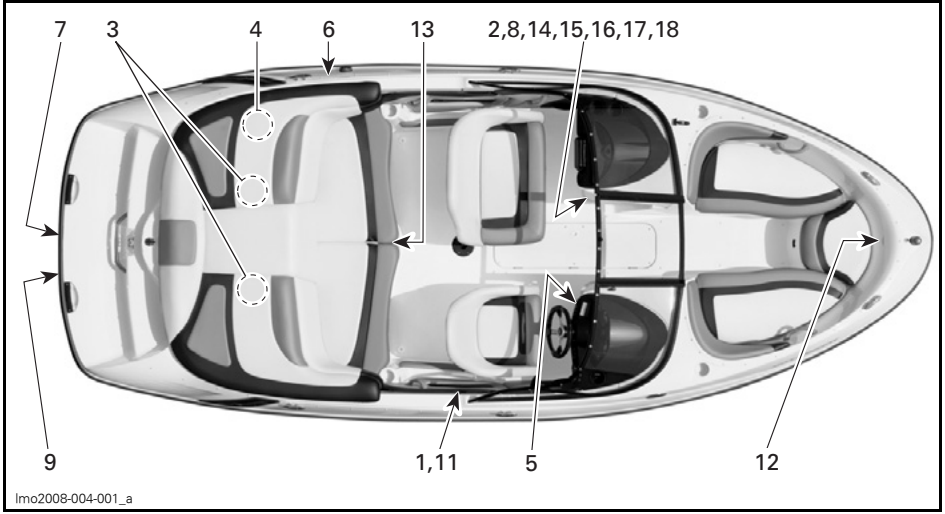
代表的な例

1. 登録番号の位置

重要なラベルの位置

あなたのボートには次のようなラベルが貼付されています。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに交換してください。Sea-Dooスポーツボート認定ディーラーまでお問い合わせください。

ボートを操縦する前に、これらの各ラベルを注意深く読んでください。



ウエイクタワー — オプション装備

ラベル 1

▲ 警告

運転前に警告ラベルと『オペレーターズガイド』を読んで、遵守してください。警告無視やこのスポーツボートの間違った使用によって、重傷や死亡事故が起きるおそれがあります。このスポーツボートの性能は、あなたがこれまでに操縦したことのある他の船舶の性能を大幅に上回っています。

- エンジン始動前に、スロットル/シフターとステアリングの動きと位置を確認してください。
- 減速やエンジンを止めたりすると、ボートの進路を制御しにくくなります。
- ボートのしぶきを他の人にかけてたり、波や航跡でジャンプしないでください。
- 乗員は認定PFDと推奨保護衣服を常に着用してください。
- シートに着席していない人がいる、また取っ手につかまっていな人がいる、あるいは視界が悪い場合、発進しないでください。航行中、『オペレーターズガイド』で指示されていない場所を座席として同乗者が座ることがないようにしてください。
- セーフティランヤードをPFDに正しく取り付けてください。
- すべての遊泳者から距離をあけてください。すべての適用法令を遵守してください。

F13L1UL

ラベル 2

製造国米、BOMBARDIER MOTOR CORPORATION OF AMERICA

最大積載

8 人、または XXXKG/XXXXLBS

xxx KG/xxxx LBS, 人, ギア

このボートは認定日に有効な米国およびカナダ沿岸警備隊安全基準に準拠しています



ートデザインカテゴリ: **C**

lmo2008-002-010_en

ラベル 3

▲ WARNING / 警告

CHECK ENGINE OIL LEVEL

Vehicle must be level to perform verification. Bring engine to normal operating temperature then let idle for 30 seconds. Stop engine, wait for at least 30 sec, and check oil level using the dipstick. Caution: Never let the engine run out of the water without cooling through the flush kit connection as it may damage the engine. Oil may be hot.

エンジンオイルレベルの点検

船体が水平な状態になっているか確認してください。エンジンを始動し、暖機運転をアイドリング状態で30秒間行ってください。エンジンを停止し、30秒間そのままにして、オイルレベルゲージでオイル量を点検してください。注意エンジンの暖機運転中はエンジンフラッシュキットを使用して冷却を行ってください。エンジンに重大な損傷を引き起こす原因となります。エンジンオイルが熱くなっている可能性があります。

F18L10Y

代表的な例

ラベル 4

▲ 警告

- 充電前にバッテリーを取り外してください。
- バッテリーの過充電を避けてください。
- バッテリーの間違った充電により、爆発が起きるおそれがあります。

F13L1MY

ラベル 5

▲ 警告

ガソリン蒸気が爆発して、死傷を起こすおそれがあります。エンジン始動前に、ブローワーを5分間作動して、ガソリン蒸気用のエンジンコンパートメントビルジを点検します。

F13L1SY

ラベル 6

▲ 警告

火災、爆発による死傷を避けてください。

- 燃料補給時は、エンジンを停止して、ボートを水平に保ってください。
- 燃料キャップをゆっくと開け、圧力を逃がします。
- 燃料を入れすぎたはいけません。
- 燃料システムに漏れがないかを常に点検してください。
- 無鉛レギュラーガソリンを使用して、オイルのレベルを確認してください。

F13L1NY

ラベル 7

警告

重傷事故や死亡事故を避けてください。

- スイムプラットフォームを使用するときは、エンジンを切ってください。
- ジェットノズルやインテークグレートに人、衣服、髪の毛を近づけないでください。もつれたり、濡れたり、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

F13L10Y

ラベル 8

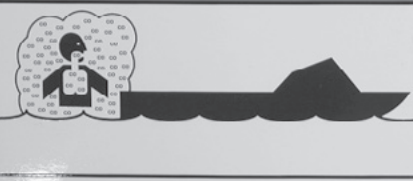
警告

運転中、運転席が回転しないよう、ステアリングホイールと向かい合うように必ず前向きにロックしてください。

F13L1TY

ラベル 9

危険



二酸化炭素 (CO) は、脳の障害または死亡の原因にもなります。エンジンとジェネレータの排気には、無臭無色の一酸化炭素 (CO) が含まれています。エンジンやジェネレータが作動しているとき、ボートの後部周辺には一酸化炭素が溜まります。吐き気、頭痛、めまい、眠気を感じるときは、新鮮な空気が得られる場所へ移動してください。

Imo2007-002-001

ラベル 10

警告

牽引の失敗は、重傷や死亡事故をまねくおそれがあります。

- タワーの使用はウエイクボードや水上スキーに限ります。
- 牽引ロープにぶら下がったり、乗員、ボート、エンジンと絡まったりしないようにしてください。
- 牽引ロープはセンターアタッチメントポイントだけに取り付けてください。
- 一度に牽引できるのは1人だけです。
- タワーに登ったり、腰掛けたり、ジャンプしたりしないでください。

F13L1PL

ウエイクタワー オプション装備

ラベル 11

注意

- ビミニトップをサポートとして使用しないでください。
- ビミニトップ使用中はボート航行を低速にしてください。
- トップは壊れたり、外れることがあり、負傷する危険やボート航行を妨げることがあります。

F04LCYY

ビミニトップ

ラベル 12

警告

重傷や致命的な負傷を避けてください。速度 5 MPH を超えるときは、シートに座らないでください。

F00L3BY

ラベル 13



ラベル 14

▲ 警告

ボート航行前および航行中常に、開いた、または閉じた位置でウインドシールドドアをしっかりとロックします。

F21L25L

ラベル 15

▲ 注意

ボートの操縦または牽引前にエンジンカバーをラッチします。カバーを開くと損傷するか、オペレータの視界を妨げます。

F21L26L

ラベル 16

BRP US Inc.

EMISSION CONTROL INFORMATION

This vehicle is certified to operate on unleaded gasoline and conforms to 20XX U.S. EPA & CALIFORNIA EMISSION regulations for marine SI engines.

BRP US Inc.:

排気ガス規制に関する情報

この船体は無鉛ガソリンでの作動が認められており、海上SIエンジンのための20XX U.S. EPA および カリフォルニア州排出規制に準拠しています。

Engine family	XXX	エンジンファミリ
FEL	XX g/kW-hr HC+NOx	FEL
Engine displacement	XXX cc	排気量
Exhaust emissioncontrol system:		排出ガス浄化装置
Spark plug type	NGK	スパークプラグタイプ
Spark plug gap	XX mm	スパークプラグギャップ
Power	XX kw	出力


SEE OPERATORS GUIDE FOR MAINTENANCE SPECIFICATIONS.

メンテナンス仕様の詳細については、オペレータガイドを参照してください。

smo2006-002-014_a

ラベル 17

⚠ 警告



二酸化炭素 (CO) は、脳の障害または死亡の原因にもなります。

エンジンとジェネレータの排気には、無臭無色の一酸化炭素 (CO) が含まれています。

一酸化炭素中毒の兆候には、吐き気、頭痛、めまい、眠気、意識の喪失などがあります。

一酸化炭素中毒の兆候がみられる場合、新鮮な空気を吸ってください。

一酸化炭素中毒に関する詳細については、『オペレータズガイド』を参照してください。

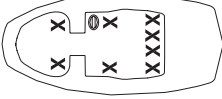
Imo2007-002-002204901625

ラベル 18

航行中の座席位置

最大人員

8



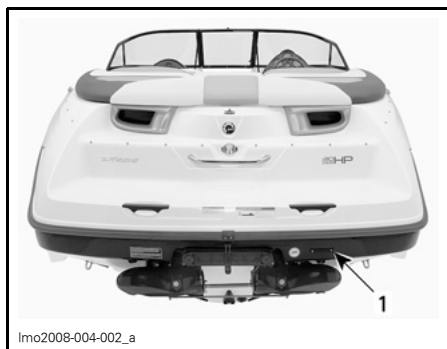
F23L04Y

識別番号

ボートの主要な構成要素（船体とエンジン）は、それぞれ異なる製造番号で識別されます。保証を受けるときや、盗まれたボートを探するときなどに、これらの番号を確認する必要があります。

船体（ハル）

船体識別番号（H.I.N.）は、トランサム（船尾）の右側にあります。



lmo2008-004-002_a

1. 船体識別番号 (H.I.N.)

エンジン

エンジン識別番号（E.I.N.）は各エンジンのマグネット側クランクケース上にあります。

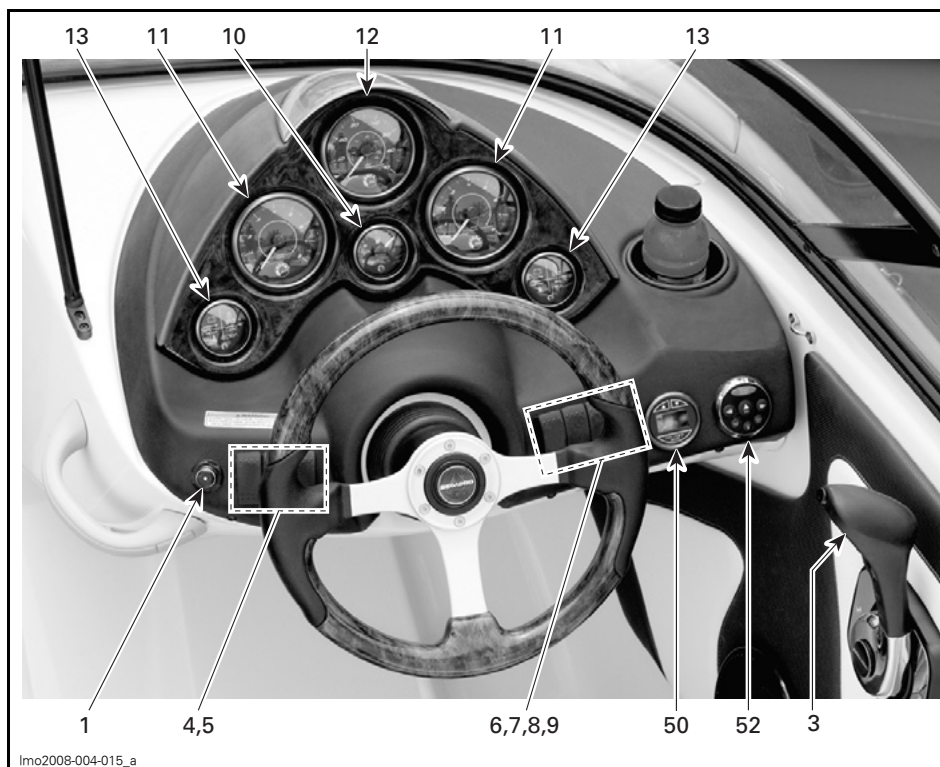


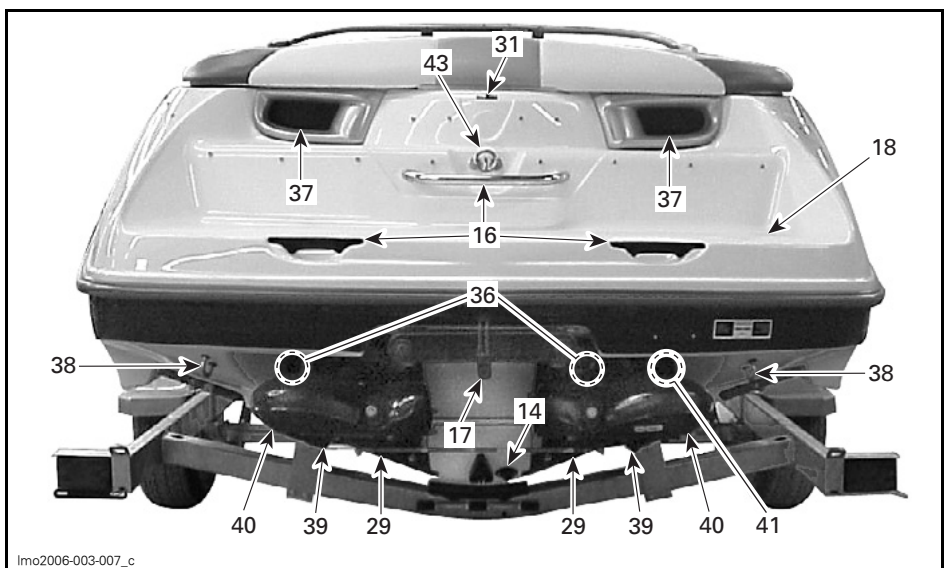
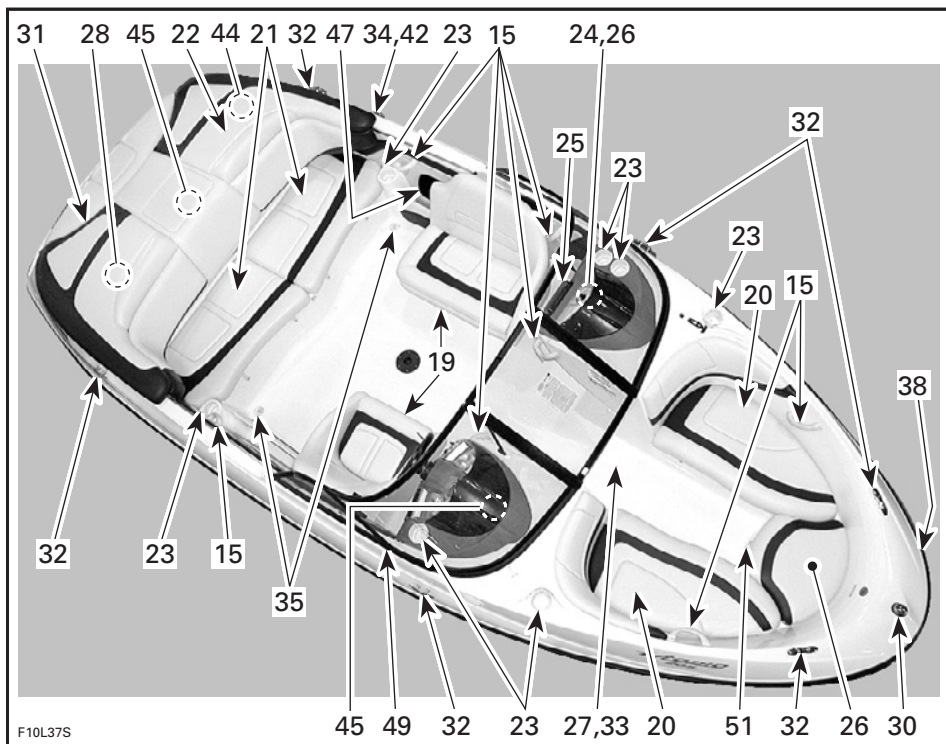
1. エンジン識別番号 (E.I.N.)

操縦装置、コンポーネント類、および計器類

注記: 操縦装置、各コンポーネントと計器類が一部のモデルでは該当しない、あるいはオプション装備となります。その場合、図には参照番号は記載されません。

全体図





代表的な例 — 後部から見た図



lmo2008-004-007_b

1. DESS ポスト (エンジンカットアウトスイッチ)
2. ステアリングホイール
3. スロットル/シフターコントロール
4. スタート / ストップスイッチ
5. ビルジエアブロースイッチ
6. ビルジポンプスイッチ
7. 航海灯スイッチ
8. デッキライトスイッチ
9. ホーンスイッチ
10. 燃料ゲージ
11. タコメーター
12. スピードメーター
13. モニタリングゲージ
14. ビルジドレンプラグ
15. グラブハンドル
16. リアグラブハンドル
17. ラダー
18. スイムプラットフォーム
19. オペレーター/同乗者シート
20. バウシート
21. リアシート
22. サンデッキ
23. カップホルダー
24. グローブボックス
25. AM/FM ラジオ/CD プレーヤー
26. 12V アクセサリージャック
27. デッキストレージコンパートメント
28. リアストレージコンパートメント (エンジンカバー)
29. ジェットポンプウォーターインテーク
30. バウライト
31. 脱着式スターンライト
32. 係船クリート
33. デッキ
34. 燃料タンクキャップ
35. デッキドレン
36. フラッシングコネクター
37. ベンチレーションダクト
38. バウ / スターンアイレット
39. ジェットポンプノズル
40. リバースゲート
41. 排水バルブ
42. 燃料タンクベント
43. ウォータースポーツトウイングアタッチメント
44. メインバッテリーカットオフスイッチ
45. ヒューズ
46. ビミニトップ
47. サイドパネル/トレイストレージ
48. コックピットテーブル
49. ウインドシールド
50. 水深測定器
51. デッキライト
52. AM/FM ラジオ/CD プレーヤーリモートコントロール

1) DESS ポスト (エンジン カットアウトスイッチ)

⚠ 警告

ボートを操縦するときは常にセーフティランヤードを使用してください。ボートの暴走を防止し、怪我や死亡の危険を減らします。誤って始動しないため、停止時には DESS キーを外します。

エンジンを始動するためには、DESS キーがデジタルエンコードセキュリティシステム (DESS) ポストにしっかりとはめ込まれていなければなりません。

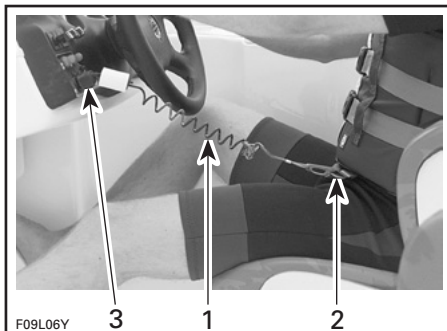
短いピープ音が 2 回鳴って、システムはエンジンを始動できる状態になったことを知らせます。正しくピープ音が鳴らない場合は、トラブルシューティング セクションの モニタリング システムのコード化された信号を参照してください。

DESS ポストからキーを引き抜くと、エンジンが停止します。

⚠ 警告

DESS キーが緩んだり、DESS ポストから自然に外れてしまうようになった場合は、ただちにキーを交換してください。

セーフティランヤードの端部をオペレーターの救命胴衣に留め、キーを DESS ポストにはめ込むと、エンジンを始動できるようになります。



代表的な例

1. セーフティランヤード
2. ランヤードクリップを PFD にしっかりと取り付ける
3. キーを DESS ポストにはめ込む

⚠ 警告

スロットルを戻したりエンジンを止めたりすると、ボートの進路を制御しにくくなります。ボートを使用していないときは、必ず DESS キーを外してください。

⚠ 警告

DESS ポストは潤滑しないでください。

⚠ 警告

スタート / ストップスイッチでもエンジンは止められますが、停止するときは DESS キーも外すよう習慣付けることをお勧めします。

デジタル暗号化セキュリティシステム (**DESS**) に関する付加的な情報

DESS キーには、固有の電子シリアルナンバーを発信する電子回路が組み込まれています。

ボートに追加の DESS キーをプログラムする方法については、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにお問い合わせください。

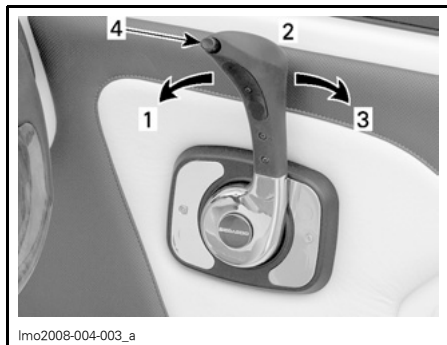
キーを DESS ポストに取り付けたま
ま、スタート / ストップスイッチで
エンジンを止めた場合、システム作
動中は約 10 分以内であれば、スタ
ート / ストップスイッチを押すだけ
でエンジンを再始動できます。この
遅れの後、キーをいったん外して、
もう一度 DESS ポストに取り付け直
してください。

2) ステアリングホイール

ステアリングホイールはボートの進
行方向を制御します。ステアリング
ホイールを時計方向に回すとボート
は右へ旋回し、反時計方向に回すと
左へ旋回します。

3) スロットル/シフター コントローラ

これは 3-ポジションレバーです:



代表的な例

1. 前進
2. ニュートラル
3. リバース
4. リリースボタン

注意: シフト移動前にコントローラ
リリースボタンを常に押してくださ
い。

前方へ押すと、ボートは加速します。
縦位置にいっぱいまで引くと、エン
ジンの回転数はアイドルまで下
がり、ボートは水の抵抗により徐々
に減速して停止します。

リバースにするには、レバーを少し
ずつ後ろ向きに引きます。リバース
ゲートは下がった位置になり、推進
力のすべてをボートの前方へ向けま
す。

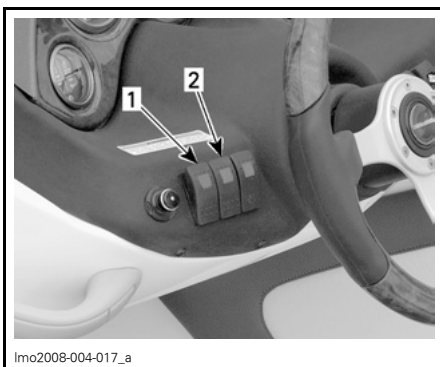
警告

リバースは低速でのみ使用し、かつ
できるだけ短時間にとどめてくださ
い。後方の進路に物体や人、浅瀬で
遊んでいる子供などがいないこと
を必ず確認してください。

注意: リバースでは絶対にエンジンを
高回転で回さないでください。

4) スタート / ストップ スイッチ

2つの機能を持つスタート/ストップ
スイッチです。エンジンの始動と停
止の両方に使用します。



代表的な例

1. 左舷エンジン用
2. 右舷エンジン用

エンジンの始動

警告

排気ガスには一酸化炭素 (CO) が含
まれており、ボート内外に滞留する
ことがあります (ビミニットップ下、
コックピット内等)。CO を吸い込む
と、有害また致命的です。エンジン
作動時は十分な換気を確認してくだ
さい。

エンジンを始動する前に、まずスロットル/シフターコントローラをニュートラルの位置にして、DESS キーを DESS ポストに取り付ける必要があります。

エンジンを始動するには、各スイッチを押し続けます。エンジンがかかったら、すぐにボタンを放してください。他のエンジンも同じように操作します。一度に 1 つのエンジンのみを始動できます。

停止

⚠ 警告

スタート/ストップスイッチを押してもエンジンは停止できませんが、DESS キーを外してエンジンを停止することを強くお勧めします。これによって、キーを外すことが習慣になるからです。

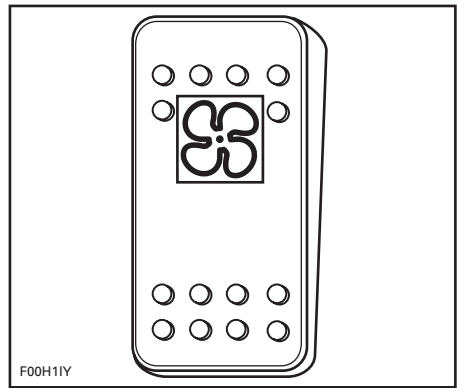
エンジンが回っているときにどちらかのスイッチを押すと、そのエンジンが停止します。

⚠ 警告

エンジンが停止すると、ボートの進路をコントロールできなくなります。

5) ビルジエアブローースイッチ

2 ポジションの オフ/オンスイッチです。



ビルジエアブローースイッチ

オンにすると、ブローアが回ってエンジンコンパートメントの換気を行います。

⚠ 警告

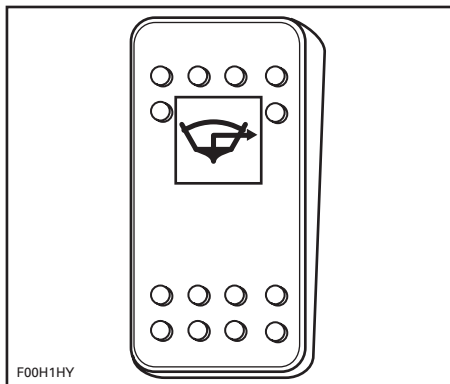
ガソリン蒸気が爆発して、死傷を起こすおそれがあります。エンジンを始動する前に5分間ブローアを回して、アイドリング以上でオフにします。ビルジブローアを使用しても、ガソリンの“臭いがしないか”確認することを怠らないでください。

注意: エンジンが回っていないときにビルジブローアを長時間使用すると、バッテリーが放電してしまうおそれがあります。

航行中はブローアをオフにしてください。

6) ビルジポンプスイッチ

2ポジションの オフ/オンスイッチです。



ビルジポンプスイッチ

ビルジポンプのマニュアル操作が必要なとき（清掃や長期保管の後など）は、このスイッチをオンの位置にしてください。

終了したらスイッチをオフにします。

注意: ビルジが乾いたらすぐにポンプを止めてください:ポンプを長時間作動させると、バッテリーが放電してしまうおそれがあります。

ビルジポンプは、DESS キーがポストに取り付けられていなくても作動します。

注意: ビルジが乾いているとき、またはエンジンの回転数をアイドルリング以上に上げる前には、必ずポンプをオフにしてください。ポンプをオフにすると、ビルジポンプは自動モードに切り替わります。

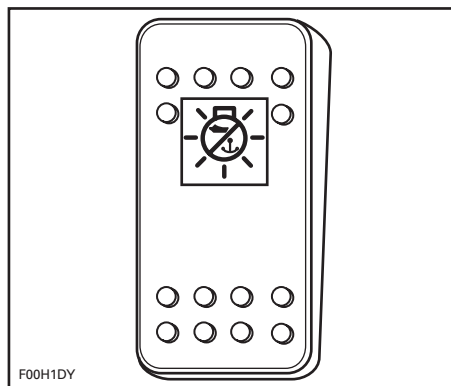
自動ビルジポンプ

ビルジへの浸水は、自動ビルジポンプによって排出されます。水センサーが浸水を検出するとポンプが作動し、排水が終わるとポンプは自動的にオフになります。この自動モードはいつでも機能します:DESS キーがポストに取り付けられているか否か、エンジンが回っているか否かに関係ありません。

注意: ボートを係留する際にメインバッテリーカットオフスイッチをオフにすると、ビルジに水が入ってもビルジポンプは作動しないことに注意してください。

7) 航海灯スイッチ

3ポジションの NAV/OFF/ANC スイッチです。



航海灯スイッチ

ANC: 停泊時に停泊灯を点灯します。スターンライトだけが点灯します。

OFF: すべてのライトを消します。

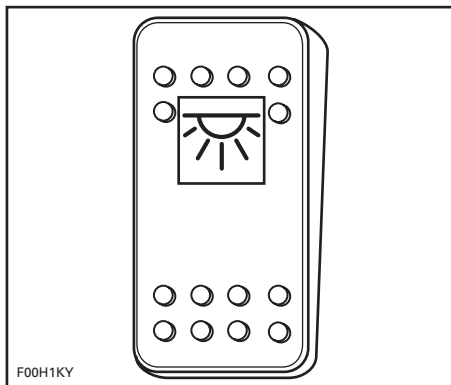
NAV: バウライトおよびスターンライト両方を点灯し、ゲージを照らします。

警告

日没から日の出までの間は、必ず航海灯を点灯してください。スターンライトが取り付けられていることを確認してください。その場所と取り付け方法については、このセクションのスターンライトソケットを参照してください。

8) デッキライトスイッチ

2ポジションのオフ/オンスイッチです。



デッキライトスイッチ

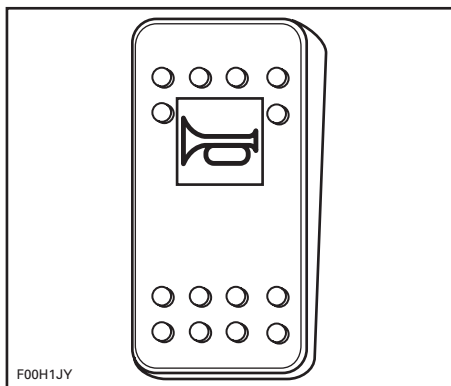
スイッチを押してオンの位置になると、デッキライトが点灯します。

スイッチを押してオフの位置になると、デッキライトが消灯します。

注意: エンジンが回っていないときにデッキライトを長時間使用すると、バッテリーが放電するおそれがあります。

9) ホーンスイッチ

2ポジションのプッシュタイプスイッチです。



ホーンスイッチ

このスイッチを押し続けると、ホーンが鳴ります。

ホーンを止めるには、スイッチから手を放してください。

10) 燃料ゲージ

ダッシュボードに設けられたこのアナログ式ゲージは、エンジンが回っているときはつねに燃料タンク内の燃料の残量を表示します。

航海灯を点灯すると、同時にこのゲージの照明も点灯します。

エンジンをかけずに燃料レベルを確認する方法もあります。セーフティランヤードを DESS ポストから外した状態で、エンジンのスタート/ストップスイッチを押してください。およそ 30 秒間だけこのゲージが作動します。

11) タコメーター

タコメーターは、エンジンの 1 分間あたりの回転数 (RPM) を表示します。メーター上の数字を 1000 倍した値が実際の回転数です。

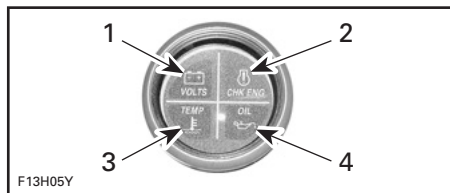
航海灯を点灯すると、同時にこのゲージの照明も点灯します。

12) スピードメーター

スピードメーターは、ボートの速度を 1 時間あたりの航行マイル (MPH) およびキロメートル (km/h) で表示します。

航海灯を点灯すると、同時にこのゲージの照明も点灯します。

13) モニタリングゲージ



代表的な例

1. バッテリー
2. エンジン
3. 温度
4. オイル

電圧低下警告灯

バッテリーの放電が進行すると、エンジンを始動できなくなる前に、この電圧低下警告灯のインジケータランプが点灯します。

このインジケータランプが点灯した場合は、ただちに電気を消費するアクセサリーの使用を中止し、エンジンを始動してバッテリーを充電してください。

エンジンチェック警告灯

EMS が故障コードを検出すると、このエンジンチェック警告灯が点灯し、場合によっては警報ブザーが鳴ります。

エンジンを止めます。1分間待ちます。エンジンを再始動してください。まだ警告灯が点灯している場合は、そこから最も近い Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにボートを持ち込んで整備を受けてください。

エンジン温度警告灯

注意: 温度警告灯が点灯した場合は、できるだけ早くエンジンを止めてください。

できるだけ早くエンジンを止めてください。オイルレベルを点検し、必要があればオイルを補給します。

クーラントレベルの点検。燃料、オイル、クーラントを参照してください。それでもエンジンのオーバーヒートが続くようであれば、次の手順に進んでください。

特殊な手順で解説されているジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃の手順を実施します。

岸に戻ったところで、エキゾースト冷却システムのフラッシングを行います。使用後のお手入れを参照してください。

エンジンを再始動してください。それでも油圧が上がらない場合は、それ以上エンジンを回さないでください。Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーに整備を依頼してください。

注意: 油圧が低下したままエンジンを回し続けると、エンジンに重大な損傷を及ぼす可能性があります。

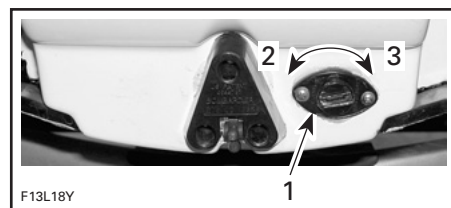
油圧警告灯

エンジンの油圧が低下したとき、または高すぎるときには、この油圧警告灯が点灯します。できるだけ早くオイルを点検してください。ランプが消灯しない場合は、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーまでお問い合わせください。

注意: オイルが入っていない状態では絶対にエンジンを回さないでください。エンジンに重大な損傷を与えます。

14) ビルジドレンプラグ

トレーラーでの運搬の後、ホイールを固定して、ドレンプラグを緩め、トレーラージャッキ（装備されている場合）でバウをわずかに持ち上げて排水してください。



代表的な例

1. ドレンプラグ
2. 緩む
3. 締まる

15) グラブハンドル

同乗者が手でつかんで体を支えるために使用します。

グラブハンドルがあっても、同乗者やオペレーターが座席から離れたり、飛び出たりしないようにしてください。

注意: このグラブハンドルは、曳航やボートの吊り上げには絶対に使わないでください。

グラブハンドルの位置については、このセクションの初めにある各コンポーネントの位置を示す図を参照してください。

16) リアグラブハンドル

必要に応じて、ボートに乗り込むときの手すりになります。

注意: このグラブハンドルは、曳航やボートの吊り上げには絶対に使わないでください。

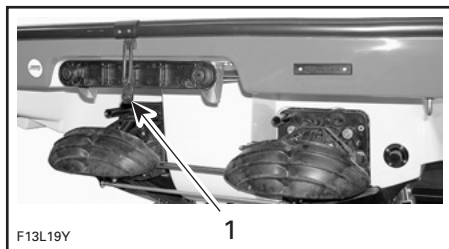
17) ラダー

⚠ 警告

ラダーを使用するときはエンジンを止めてください。ジェットノズルやインテークグレートに脚を近づけないでください。2人以上が同時にラダーを使用しないでください。牽引、曳航、潜水や飛び込み、水から上がっているときのボートへの乗り込みなど、ラダー本来の目的以外には使用しないでください。

スイムプラットフォームの下にあるこのラダーは、水中からボートに上がるときに役立ちます。

ラッチを引いてラダーをリリースします。



代表的な例

1. ラッチ

ラダーを後方へ引き出してから、押し下げます。



代表的な例 — 下げた状態のラダー

ラダーを格納するには、まず完全に水平になるまで持ち上げてから、前方へ向けてスライドさせ、ラッチで固定します。

注意: ラダーの損傷を避けるため、ボートを水から上げた状態で使用しないでください。

18) スイムプラットフォーム

ボートの後部からの乗り込みが楽になるように、表面に滑り止めが施されています。

⚠ 警告

スイムプラットフォームを使用するときは、必ずエンジンを止めなければなりません。ジェットやインテークグレートに近づけないでください。

19) オペレーター/同乗者シート

同乗者は航行中は着席してください。

警告

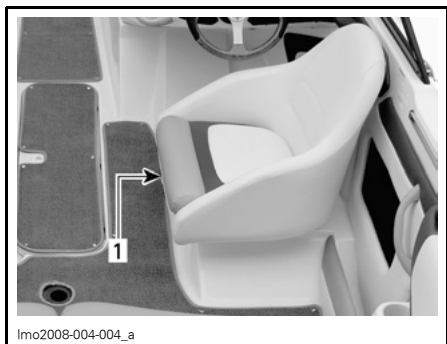
航行中は、同乗者がボートの縁に腰掛けたり、立ち上がったたりすることを許可しないでください。波が高いときは、シートに座ってGrabハンドルで体を支えてください。

回転調整

シートは両方とも回転できます。

シートを回転するには、レバーを引き続けます。

調整完了したら、すぐにレバーをリリースしてください。



代表的な例—レバーを引き続ける
1. レバー



代表的な例—シートを回転する

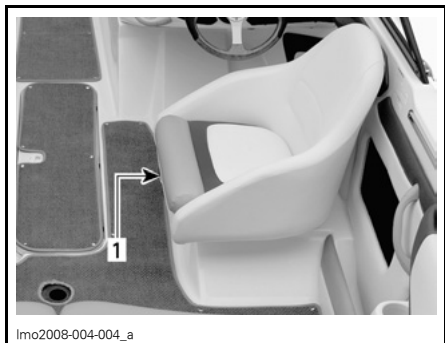
警告

乗船前にシートがステアリングホイールと向かい合うように、必ずオペレーターシートの回転をロックしてください。

前後調整

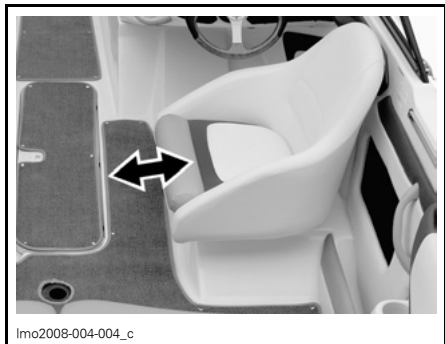
オペレーターシートは前後に調整可能です。

シートをロック解除するため、レバーを押し下げます。



代表的な例—レバーを押し続ける
1. レバー

シートを希望の位置に移動します。



代表的な例—シートを調整する

調整完了したら、すぐにレバーをリリースしてください。

20) バウシート

⚠ 警告

重傷や致死的な負傷を避けてください。速度 5 MPH を超えるときは、シートに座らないでください。

⚠ 警告

壊れものを固定せずにストレージコンパートメントに入れしないでください。ストレージコンパートメントカバーを開けたままの状態をポートを走らせしないでください。

左舷と右舷のシートストレージコンパートメント

独立したストレージコンパートメントは左舷と右舷のシートクッションの下にあります。

スナップをリリースして、クッションを持ち上げ、取り外します。

シートをもう一度取り付けるには、最初に L 字型ブラケットの位置をあわせ、シートを押下げて、スナップを留めます。



代表的な例
1. L 字型ブラケット

センターシートストレージコンパートメント

前方のバウシートクッションの下にあり、アンカーとロープ用のストレージがあります。

スナップをリリースして、クッションを持ち上げ、取り外します。

シートクッションをもう一度取り付けるには、最初に L 字型ブラケットの位置をあわせ、シートを押下げて、スナップを留めます。



1. L 字型ブラケット

21) リアシート

同乗者は航行中は着席してください。

⚠ 警告

航行中は、同乗者がボートの縁に腰掛けたり、立ち上がったたりすることを許可しないでください。波が高いときは、シートに座ってグラブハンドルで体を支えてください。

ストレージコンパートメント

警告

重いものや壊れものを固定せずにストレージコンパートメントに入れないでください。ストレージコンパートメントカバーを開けたままの状態ではボートを走らせないでください。

独立したストレージコンパートメントは左舷と右舷のシートクッションの下にあります。

スナップをリリースして、クッションを持ち上げ、取り外します。

シートをもう一度取り付けるには、最初にL字型ブラケットの位置を合わせ、シートを押下げて、スナップを留めます。



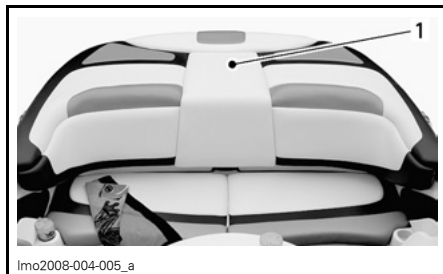
代表的な例
1. L字型ブラケット

22) サンデッキ

停泊中に休息したり、日光浴するための便利なスペースです。

警告

サンデッキに腰掛けるときは、ボートを止めなければなりません。



代表的な例
1. サンデッキ

23) カップホルダー

使いやすい場所にあるノンアルコール飲料用のホルダーです。

警告

航行中はアルコール飲料を飲まないでください。高速で航行するときや波が荒いときは、カップホルダーにビンや缶などを置いたままにしないでください。

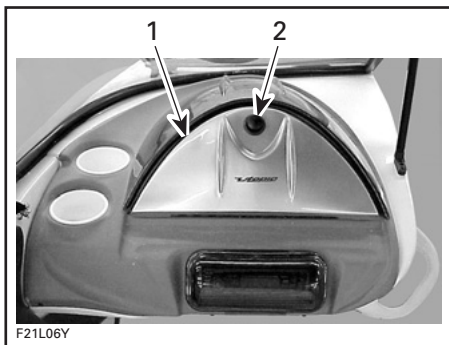
24) グローブボックス

小さな身の回り品を収納できる便利でロック可能なストレージです。

注記: ボート航行前に、グローブボックスをもう一度ラッチしてください。

警告

グローブボックスカバーを開けたままの状態ではボートを走らせないでください。

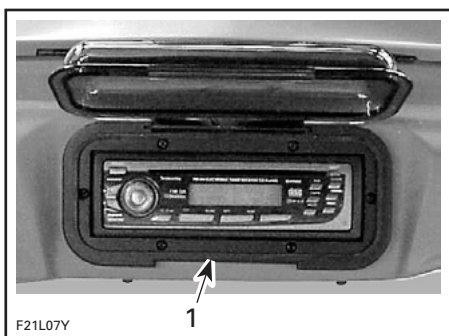


1. グローブボックス
2. ボタンを押す

25) AM/FM ラジオ/CD プレーヤー

機能と操作方法の詳しい解説については、メーカーの取扱説明書を参照してください。

注意: エンジンが回っていないときに AM/FM ラジオ / CD プレーヤーを長時間使用すると、バッテリーが放電してしまうおそれがあります。



代表的な例

1. AM/FM ラジオ/CD プレーヤー

26) 12V アクセサリージャック

12V アクセサリージャックは携帯電話や 12V ポータブル機器などのテンポラリ電源アクセサリとして利用できます。

注意: 天候の影響を避けるため、ジャックを使用しないときは保護キャップを閉じます。

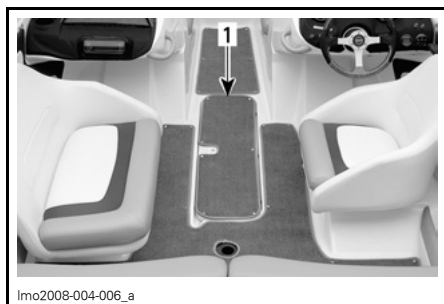
注意: エンジンが回っていないときにラジオやその他の 12V ポータブル機器を長時間使用すると、バッテリーが放電してしまうおそれがあります。

27) デッキストレージコンパートメント

デッキストレージコンパートメントは、水上スキー、パドル、アンカー、ロープなどの収納に便利です。

⚠ 警告

重いものや壊れものを固定せずにデッキストレージコンパートメントに入れないでください。デッキストレージコンパートメントカバーを開けたままの状態ではボートを走らせないでください。



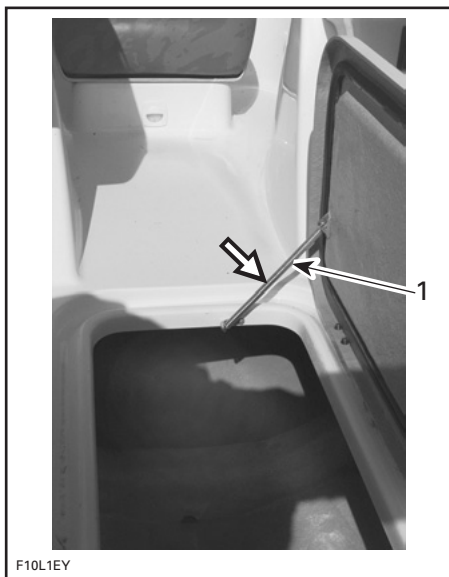
1. デッキストレージコンパートメント

ラッチリングを引いて、固定スプリングによって止まるところまでゆっくりとカバーを開きます。

静かな水面では、完全に開いたときにカバーはその位置にとまります。

カバーを閉じるには、スプリングの側面を軽く押しリリースしてから、カバーを降ろします。

航行を始める前に必ずデッキストレージコンパートメントカバーを閉じてください。



F10L1EY

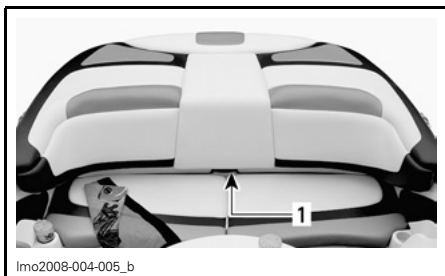
代表的な例
7. 軽く押して、スプリングを解除する

28) リアストレージ コンパートメント (エンジンカバー)

大型の身の回り品を収納できる便利でリアストレージです。予備の救命胴衣 (PFD)、タオル、ランチボックスなどに最適です。

注意: 損傷を防ぐため、ストレージトレイにかかる最大荷重が 22.5 kg (50 lb) を超えないようにしてください。

ラッチを引いて、エンジンカバーを開きます。



lmo2008-004-005_b

7. ラッチ

ガス入りのアシストシリンダーによってエンジンカバーは簡単に開き、その状態でホールドされます。

警告

重いものや壊れものを固定せずにストレージコンパートメントに入れないでください。リアストレージコンパートメントカバーを開けたままの状態ではボートを走らせないでください。



lmo2008-004-007_a

ストレージコンパートメント

注意: 牽引を開始する前に、リアストレージコンパートメントのリッドが閉まっていることを必ず確認してください。

ストレージトレイ

ストレージトレイを持ち上げてエンジンカバーに固定できるので、エンジンコンパートメントにアクセスできます。

ハンドルを握って、後ろ向きに引き上げます。



lmo2008-004-007_a

ストレージトレイ
1. ハンドル

ストラップでトレイをエンジンカバーに固定します。



lmo2006-003-025_a

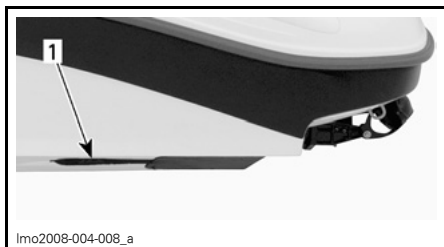
リアストレージコンパートメント
1. エンジンカバーラッチを開く

⚠ 警告

ストレージトレイを持ち上げたり、取り外したりしている場合、エンジンをかけるとき、またはエンジンが回っているときには、絶対に電気系部品に手を触れないでください。エンジンコンパートメントやビルジ内に物体、ウエス、工具などを入れたままにしないでください。

29) ジェットポンプウォーターインテーク

水はこの開口部から入り、インペラーによって吸い上げられます。ウォーターインテークグレータは、推進システムへの異物の侵入を最小限に抑えます。



lmo2008-004-008_a

代表的な例 — 両サイド

1. ジェットポンプウォーターインテーク

⚠ 警告

エンジンがかかっているときはインテークグレータに近づかないでください。長い髪、ゆったりした衣服、救命胴衣のストラップなどが可動部分に絡んで、重大なケガを負ったり、溺れたりするおそれがあります。

30) バウライト

標準装備 赤色灯/緑色灯。このセクションの前の部分の航海灯スイッチを参照してください。

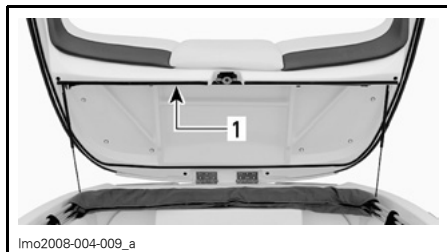
31) 脱着式スターンライト

スターンライト

装備が義務付けられている白いスターンライトです。

必要なとき以外は、いつでもストレージコンパートメントに収納しておくことをお勧めします。

ストレージカバーから外すには、手前に引いてください。再び収納する場合は、元の位置にはめ込みます。



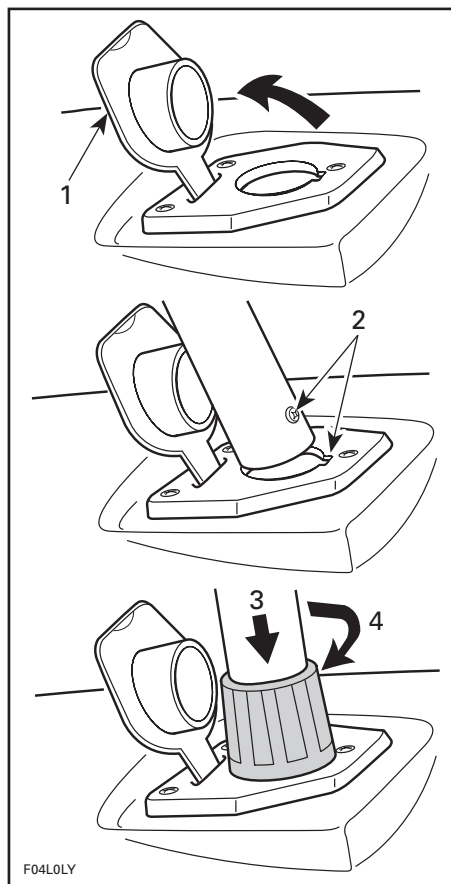
代表的な例

1. スターンライトの位置

注意: エンジンが回っていないときにスターンライトを長時間使用すると、バッテリーが放電するおそれがあります。

スターンライトの取り付け

- コネクターキャップを持ち上げます。
- コネクターホールにポストを差し込みます。穴のキーウェイとポストのスクリュー頭部の位置が合っていることを確かめてください。
- 下向きにしっかりと押して、電極を接続します。
- ロックリングを押し下げます。ロックされるまで回してください。穴に差し込むときに、少し回して位置を合わせることが必要な場合もあります。
- ライトの点灯を確認します。このセクションの前の部分の航海灯スイッチを参照してください。



代表的な例

1. 持ち上げる
2. スクリューを溝に合わせる
3. 押し下げる
4. 回してロックする

注意: 接点の腐食を防ぐため、コネクター付近に誘電性グリスが塗布されていることを確認してください。

ライトの取り外しと格納方法は取り付けの逆です。

32) 係船クリート

ドックに係留するときは、ポート前後両方のクリートを使って繋いでください。ポートを保護するため、空気封入式フェンダー付きのドックラインの使用をお勧めします。

注意: 係留クリートを曳航やボートの吊り上げに使用しないでください。

33) デッキ

ボート上の平らな部分です。デッキはつねにきれいな状態に保ち、物などを置かないでください。

34) 燃料タンクキャップ

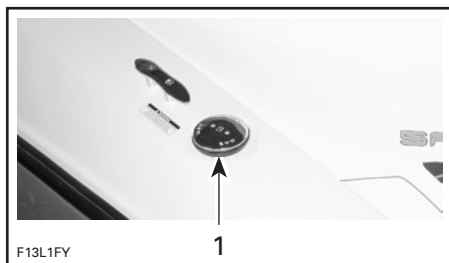
燃料を補給するには、キャップを反時計方向に回して緩めます。給油が終わったらキャップを取り付けて最後までしっかりと締めてください。

⚠ 警告

燃料レベルを確認するために、火の点いたマッチや裸火を使用しないでください。

⚠ 警告

給油を行う前に必ずエンジンを止めてください。ガソリンは可燃性であり、特定の条件下では爆発性があります。つねに換気のよい場所で作業を行ってください。近くで喫煙したり、裸火や電気スパークを近づけたりしてはいけません。燃料タンクに圧力がかかっていることもあります。キャップを開けるときにはゆっくりと回してください。裸火を明らかにして燃料レベルを確かめるのは絶対にやめてください。給油中はボートを水平に保ってください。燃料を入れすぎないようにし、給油口ぎりぎりまでガソリンを入れた状態で、ボートを日の当たる場所に長時間置かないようにしてください。温度の上昇と共にガソリンが膨張して、オーバーフローすることがあります。給油時にこぼれた燃料は必ず拭き取ってください。定期的に燃料系を点検しましょう。



1. 燃料タンクキャップ

35) デッキドレン

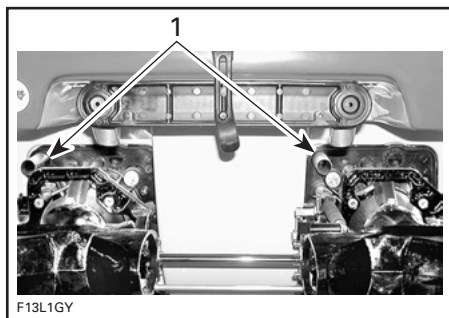
デッキドレンは、雨、デッキの洗浄、水はねなどによってデッキに溜まった水を排出します。

詰まらないように、つねにきれいな状態を保ってください。

36) フラッシングコネクター

正しい使い方については、保管、シーズン前の準備セクションを参照してください。

注記: 左右の各エンジンのフラッシングコネクターは、ジェットポンプサポートに設けられています。左舷側のコネクターが左舷エンジン用、右舷側のコネクターが右舷エンジン用です。



代表的な例

1. フラッシングコネクター

37) ベンチレーションダクト

エンジンへ吸気を供給し、エンジンコンパートメント内を換気するため、ここを通過して空気が流れます。これらが絶対にふさがれないようにしてください。

38) バウ / スターンアイレット

バウアイレット

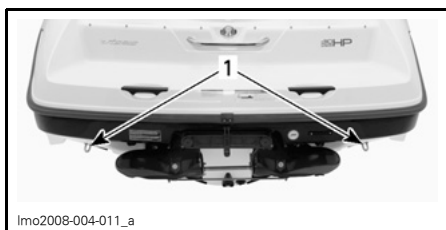
アイレットは係留、曳航、輸送時の固定ポイントに使用できます。



1. バウアイレット

スターンアイレット

アイレットは係留、曳航、輸送時の固定ポイントに使用できます。



1. スターンアイレット

39) ジェットポンプノズル

ジェットポンプノズルはステアリングホイールの操作によって左右にボートの向きを変えます。エンジンが回っている間は、これによって進路をコントロールします。

警告

ノズルを、水から上がるときやボートを引き上げるときの支持点として使わないでください。

作動原理の推進の項を参照してください。

40) リバースゲート

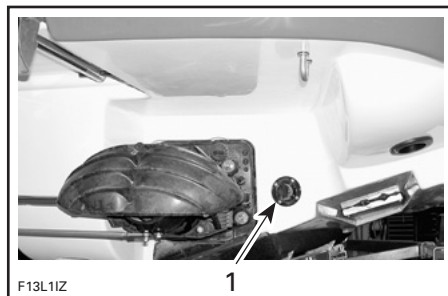
スロットル/シフターコントローラでニュートラルまたはリバースを選択すると、このリバースゲートが上または下へ動いて、必要なポジションを取ります。

警告

ボートに乗り込むときに、ゲートに手や足をかけないでください。リバースは、エンジンがアイドルリング状態にあり、ボートが完全に停止しているときのみ操作してください。

41) 排水バルブ

デッキドレンに流れた水はここから排出されます。詰まらないように、つねにきれいな状態を保ってください。



代表的な例

1. 排水バルブ

42) 燃料タンクベント

燃料タンクキャップに設けられています。これによって燃料タンクから燃料の蒸発気と圧力を逃がします。

警告

ベントの近くで火の点いたマッチや裸火を使用しないでください。安全に関する情報のセクションの給油の手順に従ってください。

43) ウォータースポーツウ ィングアタッチメント

このガイドの巻頭にある安全に関する情報に関するセクションのウォータースポーツについての情報をよく読み、必要に応じて随時参照してください。

⚠ 警告

“チークサーフィン”は、ボートの後部近くでなされ、最も濃いエンジンの排気ガスを直接吸い込むことになるため、きわめて危険です。排気ガスによる一酸化炭素中毒を起こし、失見当識、めまい、眠気、意識の喪失などの原因になる可能性があります。一酸化炭素を吸い込むおそれと、ライフジャケット (PDF : 救命胴衣) を着用しないという2つの点で、この新しい水上でのレクリエーションはたいへん危険であり、場合によっては死に至る可能性もあるスポーツです。

⚠ 警告

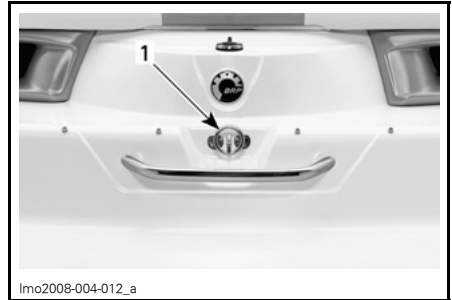
チューブ、水上スキーヤー、ウエイクボーダーを牽引する場合は必ず監視係を乗せ、その指示に従いながら、必要最小限の速度で航行してください。

⚠ 警告

チューブ、水上スキー、ウエイクボードなどを曳航しているときは、船の挙動が変化し、より高度な技術が必要になります。止むを得ない場合を除き、急な旋回はしないでください。また、桟橋、遊泳者、船舶、障害物などからは安全な距離を保ってください。急旋回中やサークルング中に曳航ロープが弛むと、重大な負傷の原因になるおそれがあります。ロープが人の首や手足に巻き付く可能性があります。

曳航用フック

水上スキーヤーその他のウォーター玩具を牽引するために使用します。



7. 曳航用フック

注意: 曳航用フックを他のウォータークラフトの曳航に使用しないでください。

曳航用タワー

装備されている場合

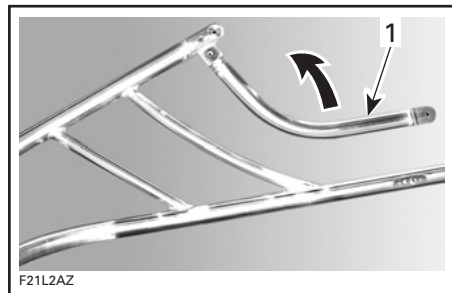
この曳航用タワーは、水上スキー / ウエイクボード用です。

注意: このボートを曳航したり、水上航行する場合は、ボートと牽引車両の損傷を避けるため、必ず曳航用タワーを垂直に立てた状態で固定してください。

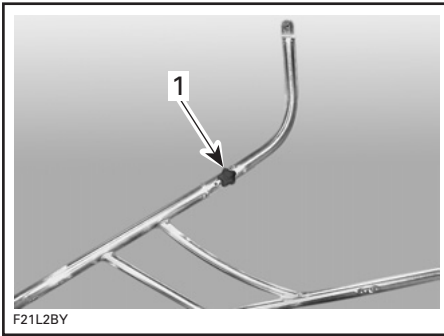
注記: ボートからタワーを取り外す手順全体については、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにお尋ねください。

輸送や使用のためにタワーを取り外す方法

サポートアームを格納位置から引き出し、以前外したノブを使用して固定します。

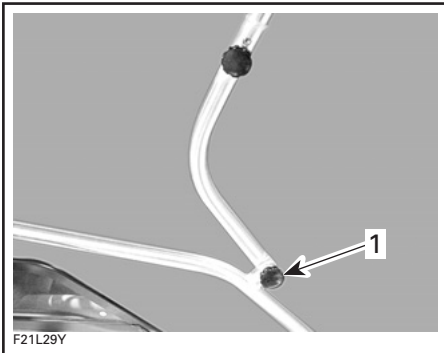


1. サポートアーム



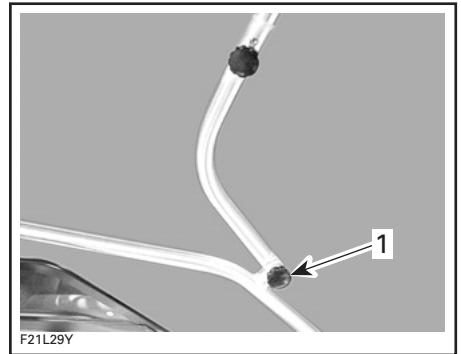
1. ノブで固定する

タワーを格納位置から引き出します。
1人がタワーの中央を支え、以前外したノブを使用して左舷と右舷でサポートアームをタワーに取り付けて固定します。



1. ノブで固定する

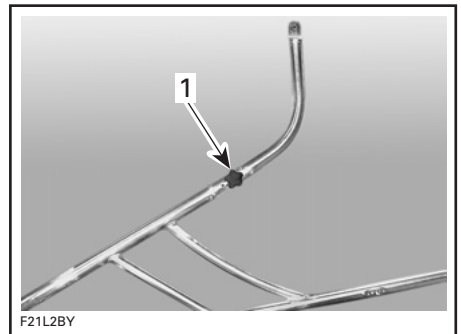
タワーは使用または輸送可能です。
保管のためにタワーを下ろす方法
注記: タワーを下ろすには2人で行う必要があります。
タワーの各側からノブを外します。



1. このノブを外す

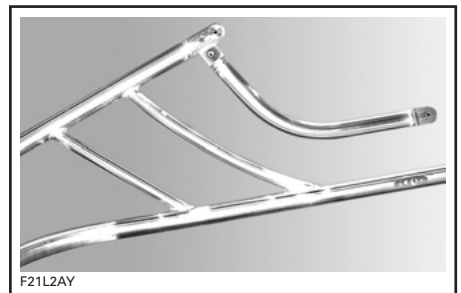
ストレージパッドがバウと触れるまで、タワーを前方へ注意深く折りたたみます。

タワーの各側のカーブエクステンションからノブを外します。



1. このノブを外す

下に示す位置に両方のサポートアームを下ろします。



後で使用するため、ノブをグローブボックスに収納するか、他の安全な保管場所にしまってください。

44) メインバッテリーカットオフスイッチ

このスイッチは電気システムを完全に遮断できるように設けられています。

このスイッチはリアストレージコンパートメント内にあります。



1. メインバッテリーカットオフスイッチ

オフの位置にあるとき、ビルジポンプ以外のすべての電気機器とエレクトロニクスはオフになります。バッテリースイッチがオフの位置になると、ビルジポンプは自動的に作動します。

電気系コンポーネント使用やエンジン始動のためには、このスイッチをオンの位置にしてください。

注意: このスイッチをオフにする前に、まずエンジンを止めてください。

エンジンコンパートメント内の電気システムのメンテナンスを行うとき、ボートを陸上で輸送するとき、あるいは短期間保管する場合は、このスイッチをオフの位置にしておくことをお勧めします。

注意: ボートを係留する際にメインバッテリーカットオフスイッチをオフにすると、ビルジに水が入っても自動ビルジポンプは作動しないことに注意してください。

45) ヒューズ

電気システムはヒューズによって保護されています。詳細についてはメンテナンス情報を参照してください。

46) ビミニトップ

ビミニトップは、悪天候や日照からの保護に役立ちます。

警告

- ビミニトップに体が触れないようにしてください。
- ホールドダウンストラップには張力が働いています。
- ビミニトップをサポートとして使用しないでください。
- ビミニトップ使用中はボート航行を低速にしてください。
- トップは壊れたり、外れることがあり、負傷する危険やボート航行を妨げることがあります。

ビミニトップを開く

リアストレージコンパートメントカバーを持ち上げます。

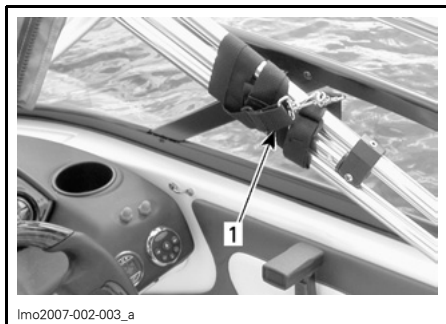
エンジンストレージコンパートメント上でビミニトップをわずかに持ち上げて、サイドレールのフロントに最後まで滑らせます。



代表的な例

1. ビミニビボットベースをレール上に前へ引く

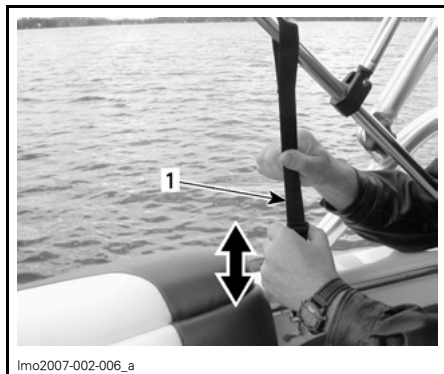
カバーを開いて取り外します。ストレージエリアにカバーを格納します。ストラップをビミニトップフレームから外します。



lmo2007-002-003_a

代表的な例
1. ストラップ

ビミニトップを縦位置に引き上げ、フロントストラップをポート船体のアイレットにつなぎます。



lmo2007-002-006_a

代表的な例
1. ストラップを調整する

サンパッドカバーを閉じます。

ビミニトップを閉じる/格納する

注記: ビミニトップのキャンバスに塩水がかかった場合、キャンバスを冷たい真水で洗いしてください。キャンバスが濡れたときはいつでも、カバーとストレージを取り付ける前に乾かしてください。

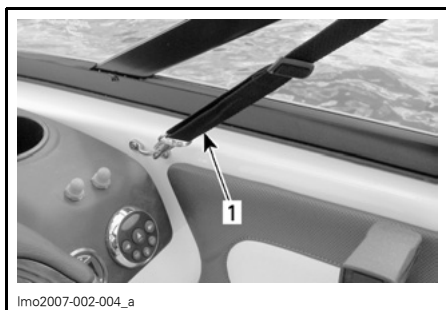
リアストレージコンパートメントカバーを開きます。

リアストラップのフックを外します。フロントストラップのフックを外します。

ビミニトップを降ろす前に、トップ/フロントチューブを押さえ、2番目または3番目のチューブをトップ/フロントチューブに向けて引きます。

ビミニトップ後部をストレージコンパートメントへ向けて傾けます。

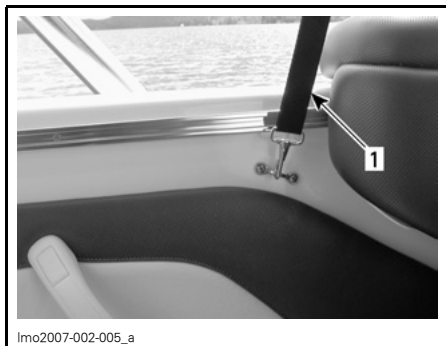
ジッパーがビミニトップの内側となり、ジッパーの先端がポートの右舷側になるように保護カバーをかけます。



lmo2007-002-004_a

代表的な例
1. 船体のアイレットにストラップを引っ掛ける

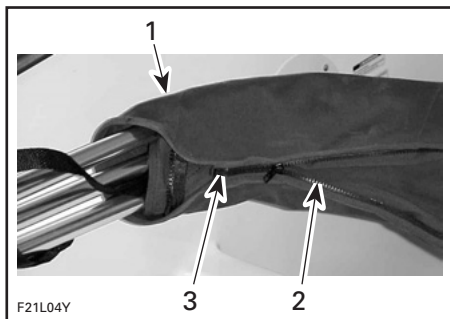
キャンバスを引き戻し、リアストラップをポート船体のアイレットに留めます。



lmo2007-002-005_a

代表的な例
1. 船体のアイレットにストラップを引っ掛ける

必要に応じてストラップ張力を調整します。



F21L04Y

代表的な例

1. リアストレージコンパートメントエリアのビミニトップ
2. ジッパーの内側
3. ジッパーの先端

ビミニトップストラップを内側カバーに置いて、キャンバスの内側カバーをバックしながらゆっくりとジッパーで締めます。

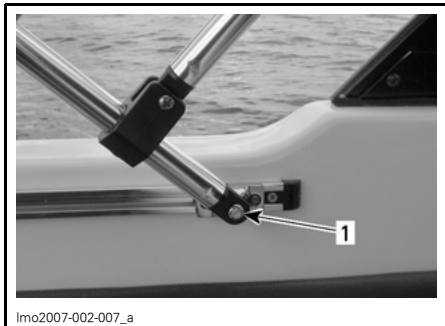
ビミニトップをサイドレールの後部に滑らせ、ビミニトップをリアストレージコンパートメントカバー下部に格納します。

リアストレージコンパートメントカバーを閉じます。

ビミニトップをボートから取り外す
ビミニトップをボートから取り外す場合には、次のように行います：

リアストレージコンパートメントカバーを開きます。

ピボット点でファスナーを外します。



lmo2007-002-007_a

代表的な例

1. ファスナーを外す

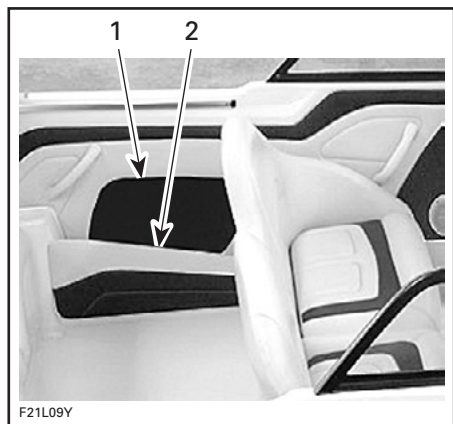
誰かに手伝ってもらいながら、ビミニトップを慎重に持ち上げ、外します。

無くさないよう、ピボットファスナーを取り付けます。

取り付けは逆の手順ですが、正しく位置を合わせるためビミニトップの方向に注意を払ってください。

リアストレージコンパートメントカバーを閉じます。

47) サイドパネル/トレイ ストレージ



F21L09Y

1. サイドパネルストレージ
2. サイドトレイストレージ

これらのストレージエリアはボートの左舷と右舷側に位置しており、予備の物品へのアクセスを素早く簡単に行えます。

⚠ 警告

重いものや壊れものを固定せずにストレージコンパートメントに入れないでください。ストレージコンパートメントカバーを開けたままの状態ではボートを走らせないでください。

48) コックピットテーブル エンジンカバー上部に格納されてお り、便利です。



収納位置のコックピットテーブル

フロントシートを横向きの位置に回
転します。

リアストレージコンパートメントカ
バーを開きます。

テーブルポストのクリップを外し、フ
ロアの取り付け位置に配置します。
正しくはまっていることを確かめな
がら、ゆっくり回します。

⚠ 警告

テーブルポストが取り付けられない
まま、フロントシートが横向きの位
置にあるとき、フロアの取り付け位
置は危険な状態になっています。注
意を働かせてください。



1. フロア取り付け位置
2. テーブルポスト

バンジーストラップを緩めてテーブ
ルトップを外し、テーブルポストと
つなぎます。



取り付けられたコックピットテーブル

リアストレージコンパートメントカ
バーを閉じます。

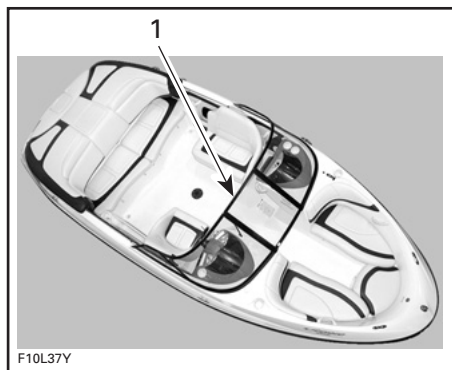
コックピットテーブル保管
コックピットテーブルの保管方法は
取り付けの逆です。

⚠ 警告

ボート操縦前にコックピットテーブルを正しく保管してください。

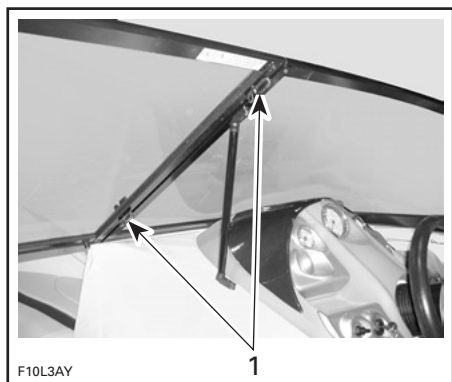
49) ウインドシールド

ウインドシールドは空気の流れからあなたをまもるために設置されました。



代表的な例
1. ウインドシールド

ウインドシールドドアを開くには、次の写真が示すように両方のラッチをロック解除して、ドアを開きます。



代表的な例
1. ラッチを両方ともロック解除する

50) 水深測定器

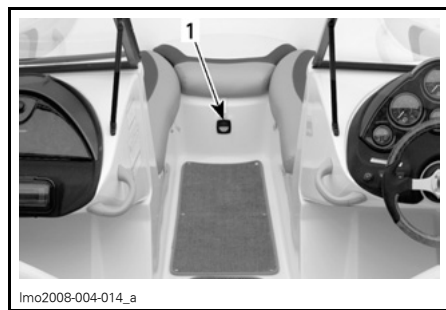
SE モデル

水深測定器は標準装備であり、ダッシュボード上にあります。

水深測定器の操作については、メーカーの指示シートを参照してください。

51) デッキライト

日没から日の出まで利用できる便利なライトです。これらのライトは乗船時と素敵な雰囲気作りに役立ちます。



1. デッキライト

注意: エンジンが回っていないときにデッキライトを長時間使用すると、バッテリーが放電するおそれがあります。

52) AM/FM ラジオ/CD プレーヤーリモートコントロール

AM/FM ラジオ/CD プレーヤーのリモートコントロールは標準装備であり、ダッシュボード上にあります。



代表的な例—ラジオリモートコントロール

リモートコントロールの操作については、メーカーの指示シートを参照してください。

燃料、オイル、クーラント

注意: このセクションの指示事項は注意深く守ってください。指示が守られないと、エンジンの寿命および/または性能が低下する可能性があります。

推奨燃料

合計 10% を超えないエタノールまたはメタノールを含む無鉛レギュラーガソリンまたは酸素化燃料を使用してください。次の推奨オクタン価のガソリンを使用してください。

注意: これ以外の燃料や燃料混合液類を試さないでください。推奨の燃料以外を使用すると、ボートの性能が低下、燃料システムの重要な部品およびエンジンコンポーネントの損傷につながる可能性があります。

北米

オクタン価		
(87 (RON + MON)/2)		
(91 (RON + MON)/2)	▼	▼
エンジン	91	87
310 HP 自然吸気	X	X

北米以外

オクタン価		
92 RON		
95 RON	▼	▼
エンジン	95	92
310 HP 自然吸気	X	X

推奨エンジンオイル

310 HP

自然吸気エンジン

オイルは API サービス等級 SM、SL、SJ の要求条件に合致する 4 ストローク、SAE 10W 40 グレードモーターオイルを使用してください。オイルの容器に貼付されている API サービスラベルを必ずチェックし、SM、SL、SJ の文字があることを確認してください。

Sea-Doo スポーツボート認定ディーラー販売の XP-S 10W 40 4 ストロークオイル (P/N 219 700 346) は要求を満たします。

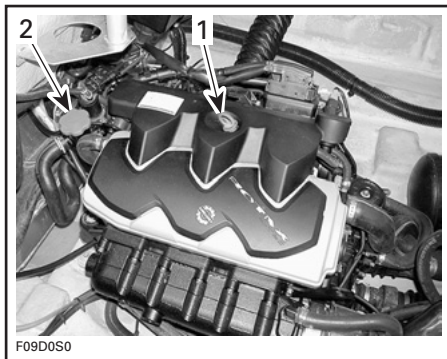
化学合成オイル

同じ条件を満たす合成オイルも使用できます。

XP-S 5W 40 合成 4-ストロークオイル (P/N 293 600 039) が適合します。

エンジンオイルレベル

注意: オイルレベルは頻繁にチェックし、必要に応じて補充してください。入れすぎではなりません。オイルレベルが不適切なまま使用を続けると、エンジンに重大な損傷を与える可能性があります。こぼれたオイルは必ずふき取ってください。



- 代表的な例
1. デイップスティック
2. オイルキャップ

ボートは水平でなければなりません。オイルレベルの点検は水上でも、またはボートを水から上げた状態でもかまいません。

ボートが水から上がっているとき水から上げている、またはトレーラーに載っている場合は、ホイールを固定してから、トレーラージャッキ（装備されている場合）でバンパーレールが水平になるように傾きを調整します。

フラッシングコネクタに散水用ホースをつないでください。保管、シーズン前の準備のエキゾーストシステムのフラッシングの項を参照して、その手順に従ってください。

注意：ボートを水から上げている場合、エキゾーストシステムに水を供給せずにエンジンをかけないでください。エキゾースト冷却システムへの水供給を行わないと、エキゾーストシステムに重大な損傷を及ぼす可能性があります。

注意：エンジンを5分間以上回さないでください。ボートが水から上がっているときは、ドライブラインシールが冷却されないためです。

手順

注記：両方のエンジンとも同じ手順です。

エンジンオイルのレベルを正しく読み取るには、次の手順に従うことが極めて重要です。

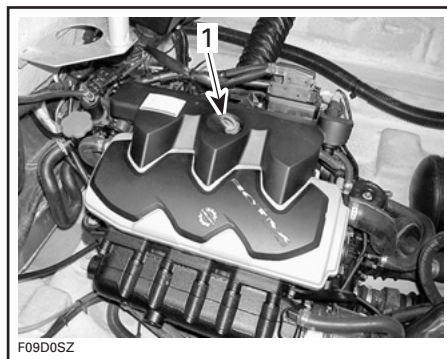
警告

エンジンオイルが熱くなっている可能性があります。エンジンコンパートメント内の部品の一部は、きわめて高温になる場合があります。直接皮膚に触れると火傷の原因になります。

エンジンが通常の運転温度に達していることを確認してください。

エンジンを止める前に30秒ほどアイドリングさせます。

エンジンを停止させてください。少なくとも30秒間待機してください。オイルレベルゲージを引き抜き、オイルを拭き取ってください。

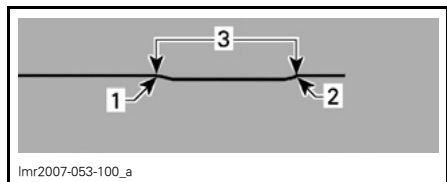


代表的な例

1. デイップスティック

オイルレベルゲージを奥まで完全に差し込んで、元通りに取り付けます。

もう一度オイルレベルゲージを外して、オイルレベルを読み取ってください。レベルはマークの間になければなりません。

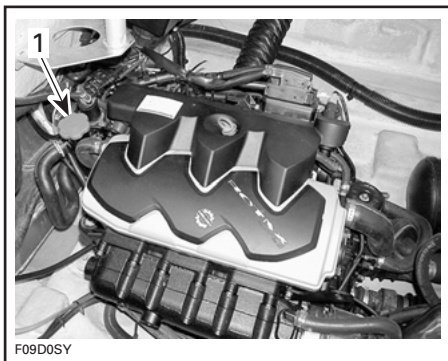


1. フル
2. 追加
3. 運転範囲

マークの間がない場合は、適正なレベルになるまでオイルを補給してください。

オイルを補給するには、オイルキャップを緩めて外します。その開口部にじょうごを入れ、推奨オイルを適正なレベルまで補給してください。

入れすぎではありません。



代表的な例
1. オイルキャップ

注記: エンジンにオイルを補給するたびに、前述の手順を行う必要があります。この手順を守らないと、正しいオイルレベルを知ることができません。

オイルキャップとオイルレベルゲージを正しく元通りに取り付けます。

他のエンジンも同じ手順を繰り返します。

エンジン冷却液

推奨冷却液

内燃アルミニウムエンジン専用の腐食防止剤入りエチレングリコール不凍液を必ず使用してください。

注記: 入手可能であれば、アルミニウム製内燃エンジン用の生物分解性不凍液をお奨めします。これは環境保護に有効です。

冷却システムは水と不凍液の水溶液（水 50%、不凍液 50%）で満たされていなければなりません。

BRP では、-52°C (-62°F) までの凍結防止能力を持つプレミックスクーラントを発売しています (P/N 219 700 362)。

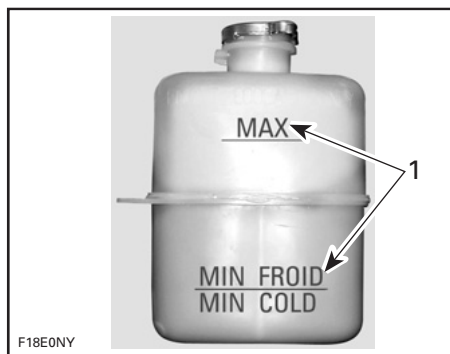
不凍液の劣化を防ぐため、いつも同じブランドの不凍液を使ってください。冷却システムを完全にフラッシングして入れ替える場合を除いて、ブランドの異なる不凍液を混ぜないでください。Sea-Doo スポーツポート認定ディーラーにご相談ください。

冷却液レベル

警告

クーラントレベルはエンジンが冷えているときに点検してください。エンジンが暖まっているときは冷却システムにクーラントを補充しないでください。

ポートが水平になっている状態で、左右エンジンが冷えているとき、クーラントのレベルはリザーバー MIN と MAX のマークの間になければなりません。



1. エンジンが冷えているときにレベルがこのマークの間にあること

注記: ポートは水上に浮かんでいるときは、自然に水平になります。ポートがトレーラーに載っているときは、ホイールを固定してから、トレーラージャッキ（装備されている場合）でバンパーレベルが水平になるように傾きを調整します。

必要に応じて、レベルがマークの間に来るようにクーラントを補充します。こぼさないようにじょうごを使ってください。入れすぎはなりません。

フィルターキャップを正しく取り付け、
締めます。

注記: 頻繁にクーラントの補充が必要
だとすれば、冷却システムに漏れが
あるか、エンジンに問題がある徴候
です。Sea-Doo スポーツボート認定
ディーラーまでお問い合わせくださ
い。

慣らし運転期間

注意: このセクションの指示事項は注意深く守ってください。指示が守られないと、エンジンの寿命および / または性能が低下する可能性があります。

Rotax エンジンを搭載した Sea-Doo スポーツボートは、各エンジンについてフルスロットルでの連続航行を行う前に 10 時間の慣らし運転期間が必要です。

慣らし運転中は、スロットルを 3/4 以上に開けないようにしてください。ただし、短時間の全力加速やスピードの変化は、適切な慣らしに役立ちます。

注意: スロットルを全開にして航行を続けたり、速度に変化をつけずに長時間の巡航を行うのは避けてください。慣らし運転中にこうした使い方をすると、エンジン損傷の原因になることがあります。

注記: 燃料タンクにオイルを添加しないでください。

使用前の点検

警告

ボートを使用する前に点検を行うことはたいへん重要です。エンジンを始動させる前に、重要なコントロール類、安全装置類、メカニカル部品などが正常に作動することをチェックしてください。ここで指定された通りに点検が行われていないと、死亡または重大な人身事故につながるおそれがあります。各地域の法律で要求されるすべての安全装備品を携行してください。

次に挙げる項目には、このガイドでこれまでに取り扱っていないものも含まれていますが、そうした項目は後出のメンテナンス情報または特殊な手順セクションで解説します。詳細については、これらの各セクションを参照してください。

警告

次の各項目の確認を行うまではエンジンをかけず、必ず DESS キーを DESS ポストから外しておいてください。全項目の点検を終え、正しく作動することを確認してから、ボートを始動してください。

まとめ

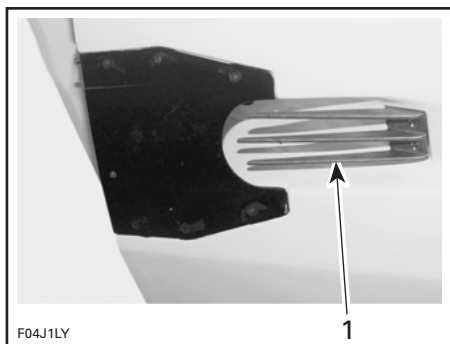
項目	作業内容	✓
船体（ハル）	損傷の点検。	
ジェットポンプウォーターインタークー	点検 / 清掃。	
ビルジ	排水。プラグが締まっていることを確認。	
バッテリー	ケーブルと固定ストラップの締め付けの点検して、充電を確認。	
メインバッテリーカットオフスイッチ	オン位置にあることを確認。	
航海灯	作動を点検。	
燃料タンク	給油。	
エンジンコンパートメント	燃料エキゾーストコンポーネントの点検。	
消火器	状態/取り付けの点検。	
ステアリング	作動を点検。	
スロットル/シフターシステム	作動を点検。	
ビルジブローおよびビルジポンプ	作動を点検。	
DESS ポストとエンジンスター/ストップスイッチ	作動を点検。	
搭載が義務付けられた安全機器類	作動を点検。	
ストレージコンパートメントカバー	閉じられてラッチがかかっていることを確認。	
エンジンオイルレベル	左右エンジンで適正なレベルを確認。必要に応じて補給。	
冷却システムのクーラントレベル	左右エンジンで適正なレベルを確認。必要に応じて補給。	
犠牲陽極	状態の点検 (50% 腐食時に交換)。	

船体（ハル）

船体にひび割れや損傷がないか点検してください。

ジェットポンプウォーターインテーク

水草、貝殻、異物などを取り除いてください。これらは水の流れを妨げ、冷却システムや推進ユニットを損傷する可能性があります。必要に応じて清掃してください。どうしても除去できないものがある場合は、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーに整備を依頼してください。



代表的な例
1. このエリアを点検

インペラーの前縁を点検してください。この部分が欠けていたり、曲がっていたりすると、性能が大きく損なわれます。

ビルジ

ビルジ内に水が溜まっている場合は、ポンプスイッチをオンにして完全に排水してください。

トレーラー上でドレンプラグを緩め、ホイールを固定してから、トレーラージャッキ（装備されている場合）でバウをわずかに持ち上げてボートを傾け、水がビルジから完全に流れ出るようにします。

警告

ボートを再び水に浮べる前に、すべてのドレンプラグが正しくしっかりと締まっていることを確認してください。

バッテリー

警告

バッテリーケーブルのポストへの締め付けと、バッテリーの固定ストラップ/ファスナーの状態を確認してください。エンジンコンパートメントにバッテリーを取り付けたまま充電またはブーストしないでください。

燃料タンクとエンジンオイルのレベル

ボートを水平にして、タンクに燃料を補給してください。

燃料、オイル、クーラントのセクションの指示に従ってエンジンのオイルレベルを確認し、必要に応じて補給を行ってください。

燃料タンクのリテーニングストラップ / 締め付け具を点検してください。

エンジンコンパートメント

警告

ガソリン漏れがあったりその臭気を感じられる場合は、エンジンを始動しないでください。Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーまでお問い合わせください。

警告

やけどをしないように、エンジンが暖機されているときは、冷却液リザーバーキャップを取り外さないでください。

消火器

消火器は、消火剤が充填されていること、使用可能な状態にあること、しっかりと固定されていることを確認してください。

ステアリングシステム

誰かに手伝ってもらいながら、ステアリングが自由に動くことを確認します。ステアリングが中央の位置にあるとき、ジェットポンプノズルが真直ぐな位置にあるはずですが、ステアリングを操作したときにジェットポンプノズルがスムーズに動くことを確認してください。

警告

エンジンを始動する前に、ステアリングホイールの作動状態とこれに対応するステアリングノズルの動作を確認してください。

スロットル/シフターコントロール

スロットル/シフターコントロールが引っこかりなくスムーズに作動するか点検してください。

警告

スロットル/シフターコントロールの作動の点検は、エンジンを始動する前に行ってください。

リバースゲートがスムーズに作動するか点検してください。スロットル/シフターコントロールが前進の位置にあるとき、ゲートは上を向いてロックされているはずですが、スロットル/シフターコントロールがニュートラルの位置にあるとき、ゲートは中間の位置にあります。スロットル/シフターコントロールがリバースの位置にあると、ゲートは一番下の位置にあるはずですが、

警告

リバースゲートロックを確認します。

リバースゲートロックを確認するには、スロットル/シフターコントロールを前進の位置に移動してください。

右舷のリバースゲート上で後ろ向きに引いてください。

リバースゲートが上の位置にあるとき、リバースゲートロックは作動しています。

注意: スロットル/シフターコントロールが前進のときにリバースゲートが上の位置でない場合、ボートを走行しないでください。Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーに相談してください。

DESS ポストおよびエンジンスタート/ストップスイッチ

スイッチが正しく作動することを確かめます。左右エンジンを始動し、それぞれのスイッチを使って停止させてみます。

警告

エンジンスター/ストップスイッチを押してもエンジンが停止しない場合、あるいは DESS ポストから DESS キーを取り外してもエンジンが停止しない場合は、そのままボートを使用せずに Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにご連絡ください。全項目の点検を終え、正しく作動することを確認してから、ボートを始動してください。

ストレージコンパートメントカバー

しっかり閉じられ、ラッチがかかっていることを確かめてください。

操作の説明

警告

ボートを使用する前に、必ず「使用前の点検」を実施してください。すべての操縦装置とその機能を完全に理解しておいてください。操縦装置や注意事項についてよくわからないことがある場合は、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにご相談ください。

進水 / 積み込み

注意: ボートを水面に下ろす前に、メインバッテリーのカットオフスイッチがオンになっていることと、ビルジプラグが所定の位置に正しく取り付けられていることを確認してください。

トレーラーへのボートの積み込みが完了したら、メインバッテリーのカットオフスイッチはOFFにすることを勧めます。

トレーラーへボートを積み込んだ時、ビルジの水を抜くためにビルジプラグを外してください。

作動原理

推進

左右エンジンはドライブシャフトに直接つながっており、このシャフトがインペラーを回転させます。インペラーはハウジング内で精密に調整されており、ハウジングへの水の吸い上げはボートの船底から行われます。吸い上げられた水はインペラーからベンチュリーに流れます。ベンチュリーの働きにより加速されてボートを動かす推進力となります。スロットルレバーを押すとエンジンの回転数が上がり、ボートの速度も増します。

スロットル/シフターコントローラを前方に押しとボートは前進します。後方へ引いたポジションではボートは後進します。中央はニュートラルで、レバーをこの位置にするとボートはほとんど推進力を発生しません。ニュートラルの時とリバースの時は、ジェットポンプのベンチュリーハウジングに取り付けられたゲートが使用されます。ボートの進行方向制御は、このゲートで水流の方向を変えることによって行われます。

注意: シフト移動前にコントローラリリースボタンを常に押してください。

警告

スロットル/シフターコントローラがニュートラルにあってもインペラーは回転しています。

警告

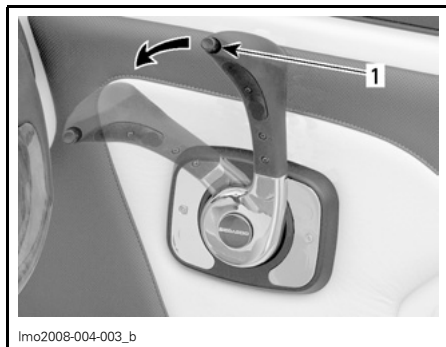
エンジンを始動する場合、オペレーターと同乗者は必ず着席し、スロットル/シフターコントローラはニュートラルの位置にしてください。

スロットル/シフターコントローラ

前進

ボートを前進させるには、スロットル/シフターコントローラが前進の位置になっていなければなりません。

前進にするには、スロットル/シフターコントローラボタンを押して、次にレバーを少しずつ前向きに押し、加速します。



前進フルスロットルポジション
1. スロットル/シフターコントローラリリースボタン

ニュートラル

ニュートラルにするには、スロットル/シフターコントローラを引いて、立てた状態にします。リバースゲートは中間の位置になり、推進力の半分をボートの前方へ向けて、ボートの動きを最小限に抑えます。

警告

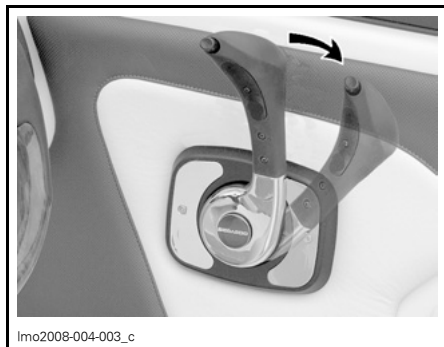
スロットル/シフターコントローラがニュートラルにあってもインペラーは回転しています。



ニュートラルポジション

リバース

リバースにするには、スロットル/シフターコントローラリリースボタンを押して、次にレバーを少しずつ後ろ向きに引きます。リバースゲートは下がった位置になり、推進力のすべてをボートの前方へ向けます。

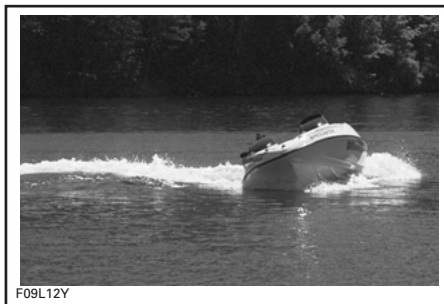


リバースフルスロットルポジション

注記: リバースを効率よく利用し、操縦をしやすいするため、エンジンの回転数をアイドリングよりわずかに高い程度まで上げてください。エンジンの回転数を上げすぎると、水の渦が発生してリバースの効率は低下します。

ステアリング

ステアリングホイールを回すとジェットポンプノズルが左右にピボットし、これによってボートの方向が制御されます。ステアリングホイールを時計方向に回すとボートは右に旋回し、反時計方向に回すと左に旋回します。



代表的な例 — 右旋回

アイドリング回転数以上の回転数域でボートの方向を制御する際は、スロットルを前に押してください。

警告

ボートの方向を急に变えたい場合は、スロットルを前に押してステアリングホイールを回してください。ステアリングの効果は、乗船者数、積載重量、水面の状態によって異なります。

このボートでは、旋回時にスロットルを少し前に押す必要があります。安全な場所でスロットルを開けながら旋回して、想像上の物体を回避する練習を行ってください。これは衝突を避けるためのよい練習になります。

後進中の方向転換

このボートは、後進時には前進時と異なる挙動を示します。ステアリングの効果は前進時とは逆になります。ステアリングホイールを時計方向に回すとボートは左に旋回し、反時計方向に回すとボートは右に旋回します。スロットルは控えめに使用してください。回転数を上げ過ぎる水の流れが乱れ、後進の効率が悪くなります。初めて操縦する際は、障害物などとの衝突の恐れのない場所で注意しながら後進の練習を行ってください。

警告

後進操作は最初に練習して十分に慣れるようにしてください。慣れるまで同乗者は乗せないようにしてください。

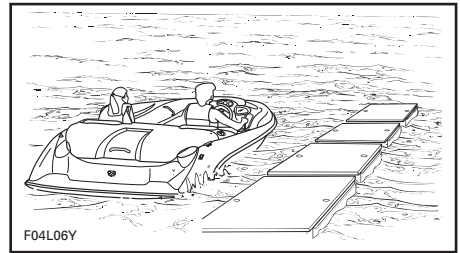
リバー位置では、あなたがボートの後部を動かしたい方向と反対方向へステアリングホイールを回してください。

たとえば、ボートの後部を左へ寄せたいときには、ステアリングホイールを右へ切ります。

ドックからの乗船

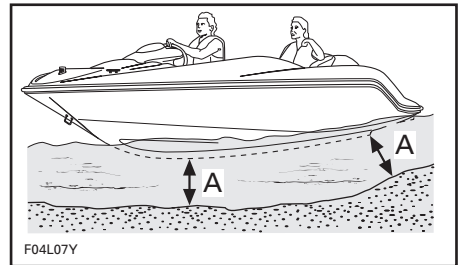
どんなボートにも言えることですが、エンジンが回っていない状態で、慎重に乗り込むようにしてください。

ドックから乗船する場合は、まずボートのデッキ上のドックから一番近い部分に片方の足を付け、次いでもう片方の足をボートに乗せてください。乗船したらドックを押してボートを離岸させます。



代表的な例

注意: ボート自体は水深が 30 cm (1 ft) あれば浮きますが、エンジン始動は船底下の水深が少なくとも 90 cm (3 ft) ある場所で行ってください。水深が 90 cm (3 ft) 未満でエンジンが作動しており、インペラーが回転している場合、異物が船底から吸い込まれ、推進システムが損傷を受けるおそれがあります。



代表的な例
A. 90 cm (3 ft)

水中からの乗船

警告

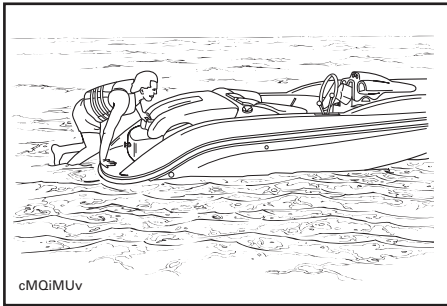
経験の浅いオペレーターは、水深の深いところへ出る前に岸の近くで水中から乗船する方法を練習してください。

⚠ 警告

乗船時はエンジンを停止してください。また、乗船時に推進用コンポーネントに手や足をかけないでください。

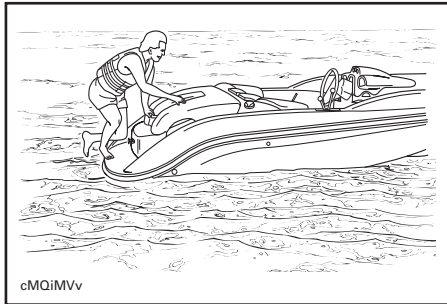
ボートの後ろまで泳いでいきます。格納式ラダーをリリースして、ラダーを引き出し、所定の位置まで下げます。

スイムプラットフォームのグラブハンドルを利用して、ラダーを登り、体を引き上げます。



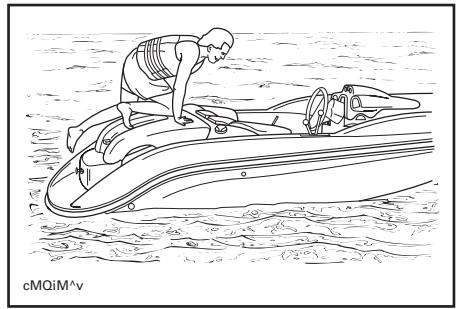
代表的な例

エンジンカバーのグラブハンドルに手がとどくとき、グリップハンドルをつかみ、スイムプラットフォームに膝を乗せられる位置まで体を上部に引き上げます。



代表的な例

引き続いてエンジンカバー上に上がり、デッキに手を伸ばします。



代表的な例

注意: ボートを航行するときは、ラダーを握ったままでいてください。ボート操縦前に、必ずラダーをラッチで所定位置に固定してください。

⚠ 警告

エンジンは、同乗者が全員着席するまで始動しないでください。

エンジンの始動

⚠ 警告

排気ガスには一酸化炭素 (CO) が含まれており、ボート内外に滞留することがあります (ビミニトップ下、コックピット内等)。CO を吸い込むと、有害また致命的です。エンジン作動時は十分な換気を確かめてください。

⚠ 警告

エンジンを始動する際は、必ず始動の最低 5 分前にはビルジブローワーを作動させてください。ビルジブローワーはビルジの換気を行います。

注意: ボートの運転中はビルジブローワーをオフにしてください。

⚠ 警告

エンジンが回っている間は、電気系の部品やジェットポンプまわりに触れないでください。セイフティランヤードをオペレーターの救命胴衣に留め、DESS キーを DESS ポストにはめ込んで、エンジンを始動してください。

注記: 2 回の短いビーブ音以外の警告音を発した場合は、修正を要する問題があることを示しています。トラブルシューティングのセクションのコード化された信号音の意味の表を参照してください。

右手でステアリングホイールを握って両足をフロアボードに置き、ビルジブローワーをオフにします。

一度に 1 つのエンジンのみを始動します。タコメーターでエンジンの状態を確認してください。

⚠ 警告

エンジンを始動する前に、オペレーターも同乗者も必ず正しく着座してください。

注意: スターターモーターの過熱を避けるために、クランキング時間は 5 ~ 10 秒以内に止めます。クランキングの間の待ち時間を守り、スターターモーターの熱を冷ますと共にスターター機構のエンゲージを外してください。

離岸

スロットル/シフターコントローラを前進位置に移します。

水深の深いところに出るまでゆっくりと加速してください。エンジンが暖まるまではスロットルを全開にしないでください。

⚠ 警告

水深の浅い場所では、貝殻、砂、小石などがジェットポンプに吸い込まれ、後方へ飛ばされる可能性があります。

波の荒いときや視界の悪いときの航行

このように条件の悪いときはできるだけ航行を避けてください。どうしても航行しなければならぬ場合は、最低限の速度で十分に警戒しながら慎重に進んでください。必要に応じて航海ライトを点灯してください。

波を横切るとき

波を横切るときは速度を落としてください。必要に応じていつでもステアリングを操作し、バランスを取れるよう構えてください。

他の船の航跡を横切るときは、必ず先行するボートとの間に安全な距離を保ってください。

⚠ 警告

航跡を横切るときは十分に速度を落としてください。オペレーターと同乗者がわずかに腰を浮かせる姿勢を取ると、揺れに備えることができず、波や航跡でジャンプしないでください。

停止 / ドック入れ

ボートは水の抵抗によって減速します。停止距離はボートのサイズ、重量、速度、水面の状況、風や潮流の有無とその向きによって変わってきます。

オペレーターはさまざまな条件下での停止距離を熟知していなければなりません。

アイドル状態までスロットルを減速します。ドックに接近する場合は必要に応じてシフトレバーを二ユーントラル、リバーズ、前進にして速度を調整し、接岸する直前にエンジンを停止してください。

⚠ 警告

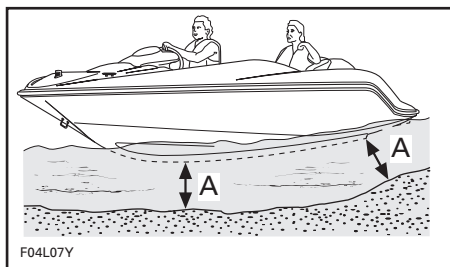
スロットルを戻したりエンジンを止めたりすると、ボートの進路を制御しにくくなります。

ドックに接近する場合は、エンジンを停止してください。

浜辺に乗り上げるとき

注意: ボートを直に浜辺に乗り上げるのはお勧めできません。

ゆっくりと浜辺に近づき、船体後部の最も低い場所下の水深が 90 cm (3 ft) くらいになる前に、DESS キーを使ってエンジンを止めます。そこから浜まではボートを引いて運んでください。すべてのアクセサリー類がオフになっていることを確認してください。



A. 船底下の水深が少なくとも 90 cm (3 ft)

警告

水深の浅い場所では、貝殻、砂、小石などがジェットポンプに吸い込まれ、後方へ飛ばされる可能性があります。

冷却システム内に砂や貝の破片などが堆積すると冷却水が流れなくなることがありますので、これらの砂や貝を除去するために、必要に応じて左右エンジン再始動前にエンジンのエキゾーストシステムのフラッシングを行ってください。保管、シーズン前の準備を参照してエキゾーストシステムのフラッシングの項をご覧ください。

エンジンの停止

エンジンを停止するには、スロットル/シフターコントロールを立てた位置まで引いてから DESS キーを取り外すか、エンジンスタート / ストップスイッチを押します。

DESS キーは必ず DESS ポストから取り外してください。

警告

エンジンが停止すると、ボートの進路を制御しにくくなります。ボートを使用していないときは、子供が許可なく操作したりしないように、また泥棒その他を避けるため、必ず DESS キーを DESS ポストから外してください。

運転後の手入れ

警告

メンテナンス作業を行う前に、十分にエンジンの熱を冷ましてください。

船体の手入れ

トレーラーでの運搬の後、ホイールを固定して、ドレンプラグを緩め、トレーラージャッキ (装備されている場合) でバウをわずかに持ち上げて排水してください。

エンジンコンパートメント内 (ビルジ、エンジンなど) に残っている水は、乾いたきれいなウエスで拭き取ってください。塩水でを使用した場合は特に重要です。

海洋微生物などの繁殖を防ぐため、ボートは毎日水から上げてください。

防蝕処理

腐食を防ぐため、エンジンコンパートメント内の金属製コンポーネントには、XP-S ループ潤滑剤または同等品などの腐食防止剤 (耐塩水性) をスプレーしてください。

注記: ボートを 2、3 日間、またはそれ以上にわたって保管する場合は、必ず XP-S ループ潤滑剤でエンジンのフォギングを行ってください。

バッテリーポストとケーブルコネクタには、誘電性グリース (耐塩水性) を塗布してください。

注意: エンジンコンパートメントやビルジ内にウエスやツールなどを置き忘れないようにしてください。

泥水や塩水で使用した場合の追加の手入れ

ボートを泥水や特に塩水で使用した場合は、ボートとそのコンポーネントを保護するため、さらに追加の手入れを行う必要があります。トレーラーとボートのハルやビルジ部分を真水で洗い流してください。

真水によるエキゾースト冷却システムのフラッシングは、水に含まれる塩分やその他の化学物質による腐食効果を中和するために必要不可欠です。また、これによってウォータージャケット、および/またはホース内の砂、塩、貝殻などの異物がある程度まで取り除くこともできます。

フラッシングの作業は、その日はもうボートを使用しないと思われるとき、またはボートを長期にわたって保管するときに実施してください。

警告

この作業は換気のよい場所で行ってください。

保管、シーズン前の準備のエキゾーストシステムのフラッシングの項を参照して、その手順に従ってください。

注意: 次のような適切な手入れを行わないと: 塩水で使用した場合は、洗浄、冷却システムのフラッシング、防蝕処理などを行わないと、ボートとそのコンポーネントの損傷につながります。また、直射日光の当たる場所にボートを保管しないでください。

沿岸部では、クラブハンドル、係船クリート、燃料キャップ、航海灯等のステンレスまたはクロム製のパーツにも特別に注意を払ってください。真水でよくすすいでください。質の良い車用研磨剤で洗ってください。また、良い自動車のワックスで保護してください。

特殊作業の手順

ジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃

警告

エンジンが作動しているときはインテークグレートに近づかないでください。長い髪、ゆったりした衣服、救命胴衣のストラップなどが可動部分に絡んで、重大なケガを負ったり、溺れたりするおそれがあります。

水草、貝殻、あるいはその他の異物が、インテークグレート、ドライブシャフトおよび / またはインペラーに引っかかったり、絡んだりすることがあります。ウォーターインテークが詰まると、次のようなトラブルの原因になります：

1. キャビテーション：推進力が低下するため、エンジンの回転を上げてもポートが低速でしか進まず、ジェットポンプのコンポーネントを損傷するおそれがあります。
2. オーバーヒート：エキゾーストシステムを冷却する水の流れはジェットポンプの作動に依存しているため、インテークが詰まるとエンジンのオーバーヒートの原因になり、エンジン内部の部品が損傷するおそれがあります。

詰まりが生じた部分は、次のような手順で清掃することができます：

水中での清掃：DESS キーを DESS ポストから外してエンジンを止め待ちます。ポートが自然に停止するまで待ちます。海藻や異物がグレートから外れるように、そのまま少し時間をおいてください。この手順を何度か繰り返さなければならない場合があります。

詰まりがひどく、上記の方法では詰まりが解消されない場合は、以下の方法を試してみてください：

- エンジンがかかっている状態で、スロットル/シフターコントローラ

をリバースのポジションに入れ、スロットル位置を何回か素早く変更します。

- もう一度ポートを加速させる。

ほとんどの場合、これで推進システムに詰まった異物は取り除けるはずですが。

陸上での清掃：それでもシステムの詰まりが解消されない場合は、まず DESS キーを外してエンジンを止めます。

警告

ジェットポンプまわりの清掃を行う場合は、誤ってエンジンを始動してしまわないように、必ず DESS キーを DESS ポストから取り外してください。

ポートの下部から、ウォーターインテークまわりを手作業で清掃してください。それでもシステムの詰まりが解消されない場合は、Sea-Doo スポーツポート認定ディーラーに整備を依頼してください。

注意：水草の多い場所での使用は避けてください。どうしても避けられない場合は、速度を変化させながら通過してください。一定の速度や低速で航行しているときほど水草が絡みやすい傾向があります。ウォーターインテークグレートに損傷がないか点検してください。必要なら Sea-Doo スポーツポート認定ディーラーに修理を依頼してください。

転覆

このスポーツポートは全長が長く幅も広いので転覆しにくい設計となっており、万が一転覆したとしても船体は浮きます。他からの発見が容易になりますので、通常はポートから離れないのが最良の措置です。

警告

ボートが転覆しているときは、エンジンの再始動を試みないでください。オペレーターと同乗者は認定された救命胴衣を着用してください。

スポーツボートが水没したとき/ エンジン内に水を吸い 込んだとき

エンジンの損傷を最小限にとどめるため、できるだけ早いうちに次の手順を行ってください。

ビルジの排水を行ってください。

塩水に沈んだ場合は、散水用ホースを使ってビルジとすべてのコンポーネントを真水で洗い流し、塩水による腐食を防いでください。

注意: エンジンのクランキングや始動を試みないでください。吸気マニホールドに溜まった水がエンジンに流れ込んで、エンジンの重大な損傷の原因になることがあります。

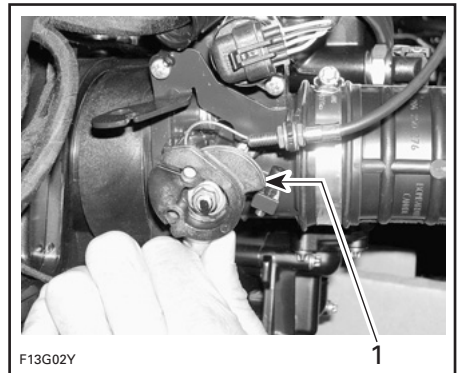
できるだけ早くボートを Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーに持ち込んで、整備を依頼してください。

注意: 整備を受けるまでに経過した時間が長ければ長いほど、エンジンの損傷はひどくなります。また、適切なエンジンの整備を受けないと、エンジンの重大な損傷の原因になることがあります。

プラグがかぶってしまったとき

エンジンが燃料がかぶって、始動しない場合、この特殊モードが作動して燃料噴射を防ぎ、クランキング中にイグニッションをカットします。次の手順に従って、作動してください。

- エンジンを停止させてください。
- スロットル/シフターコントローラをニュートラルの位置にします。
- DESS キーを DESS ポストに取り付けます。
- エンジンコンパートメントから、スロットルレバーを十分に開いた位置に手で回して、保持します。



代表的な例

1. 完全に開いた位置

- エンジンを始動するには、スロットルレバーを完全に開いた位置のまま、誰かにエンジンスタート/ストップスイッチを押してもらいます。ドラウンドモードがオンとなります。
- エンジンのクランキングを数回行ってください。

注意: スタート/ストップスイッチを 30 秒以上押し続けてはなりません。クランキングの間の待ち時間を守り、スターターの熱を冷ましてください。バッテリーが放電してしまわないように注意してください。

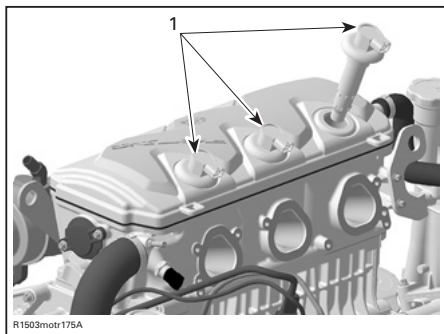
- エンジンスタート/ストップスイッチをリリースします。
- スロットルレバーを戻して、エンジンをもう一度クランキングして、始動します。

注記: スロットルレバーをリリースすると、通常モードに戻ります。

それでもかからない場合：

イグニッションコイルのコネクターを外してください。

3 つのイグニッションコイルすべてがシリンダヘッド上にありますが、スパークプラグの上に直接位置しています。



1. イグニッションコイル



イグニッションコイルのコネクターを外す

警告

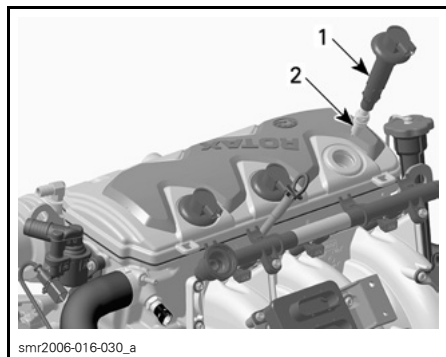
イグニッションコイルとスパークプラグの接続を外すときは、必ずメインハーネスとイグニッションコイルの接続を先に外してください。エンジンコンパートメント内では、外したイグニッションコイルおよび/またはスパークプラグから火花が飛ぶかどうかを確かめないでください。気化した燃料がスパークで爆発するおそれがあります。

イグニッションコイルを取り外してください。

注意: スパークプラグを取り外す前に、スパークプラグホールにゴミなどが落ちないことを確かめてください。スパークプラグホールからシリンダーにゴミなどが落ちると、エンジン内部の部品が損傷します。

スパークプラグを取り外してください。

注記: スパークプラグを緩めた後、イグニッションコイルを使ってスパークプラグを取り出すことができます。イグニッションコイルをプラグホールに差し込み、スパークプラグを「釣り上げる」ように取り出してください。



1. イグニッションコイル
2. スパークプラグ

可能であれば新しいスパークプラグを用意するか、ウエスを使ってスパークプラグを乾かしてください。

スパークプラグとイグニッションコイルを元通りに取り付けます。イグニッションコイルコネクターを元通りに接続してください。

注記: 取り付けした後、シールがエンジン上面に正しく納まっていることを確認してください。

前述の手順に従って、エンジンを始動してください。やはり同じようにプラグがかぶってしまう場合は、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにご相談ください。

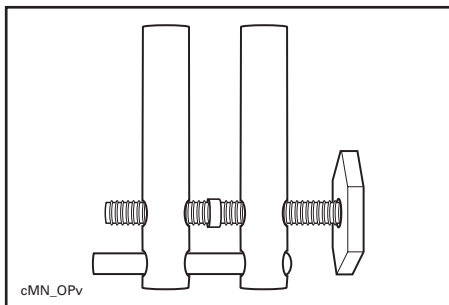
注意: ボートを水から上げている場合、エキゾーストシステムに水を供給せずにエンジンをかけないでください。

水上でのボートの曳航

Sea-Doo スポーツボートを水上で曳航するには、いくつかの特別な注意を払う必要があります。

推奨される最大曳航速度は 24 km/h (15 MPH) です。

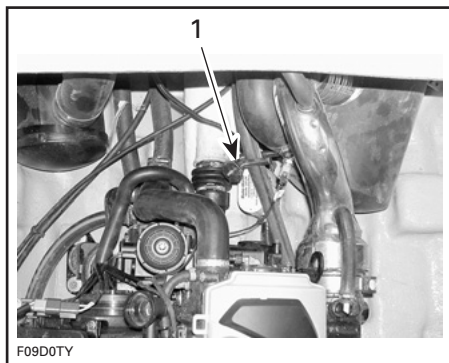
あなたのウボートを水上で曳航する場合は、大型ホースピンチャーを使って、インペラーハウジングからエキゾーストマニホールドにつながるウォーターサプライホースをつまんでください (P/N 529 032 500)。



これによって、エキゾーストシステムに水が入り、さらにその水がエンジンに流れ込んで溜まってしまふことを防ぐことができます。エンジンが回っていないときは排気の圧力がなく、エキゾーストアウトレットから水を排出できないためです。

注意: これを行わないとエンジンに損傷を及ぼすおそれがあります。自力で動けなくなったスポーツボートを曳航しなければならないとき、手元にホースピンチャーがない場合は、最大曳航速度の 24 km/h (15 MPH) よりずっと低い速度を維持してください。

写真に示すように、左右エンジンについて給水ホースにホースピンチャーを確実に取り付けます。



代表的な例

1. ホースピンチャー

注意: ボートの曳航が終わったら、再び使用する前に必ずホースピンチャーを外してください。これを外し忘れるとエンジンに損傷を与えます。

トラブルシューティング

以下の情報は、簡単なトラブルの原因を診断するときに役立つよう提供されています。こうしたトラブルの多くは比較的簡単にご自身で解決できますが、整備技術者の専門的スキルが必要な場合もあります。そのような場合には、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーに整備を依頼してください。

モニタリングシステムのコード化された信号

短く 2 回 (DESS キーを DESS ポストに取り付けているとき)。

1. **DESS** キーに異常はありません (接触は良好で、正しいキーが取り付けられています)。
 - エンジンを正常に始動することができます。

長く 1 回 (DESS ポストに DESS キーを取り付けた状態、スタート / ストップスイッチを押した際に鳴ることもあります)。

1. スロットル/シフターコントローラがニュートラルの位置にありません。
 - レバーをニュートラルの位置にします。
2. **DESS** キーと **DESS** ポストの接続不良。
 - **DESS** キーを **DESS** ポストから取り外して、もう一度取り付けてください。短いビープ音が 2 回鳴って、システムはエンジンを始動できる状態になったことを知らせます。
3. キーが間違っています。
 - そのボート用にプログラムされた **DESS** キーを使用してください。始動できない場合は、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにご相談ください。
4. **DESS** キーが汚れています。
 - 清掃してください。
5. インターフェースの誤作動または配線ハーネスの異常。
 - Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにご相談ください。

短く 4 回 (すでに **DESS** キーを取り付けた状態でスタート / ストップスイッチを押したとき)。

1. スロットル/シフターコントローラがニュートラルではありません。
 - レバーをニュートラルの位置にします。レバー操作時に短いブザー音が 1 回鳴れば、ニュートラルになったことが確認されています。

短いブザー音が 1 回 (スロットル/シフターコントローラをニュートラルにした時)。

1. レバーがニュートラルになったことの確認。
 - エンジンを始動することができます。

3 秒間隔で 4 回の短いビープ音。

1. エンジンをかけないまま、またはエンジンが停止した後、**DESS** キーがポストに取り付けられたままになっています。
 - バッテリーの放電を防ぐため、キーをポストから外してください。

ビーブ音が鳴り続けます。

1. エンジンクーラントの温度が高い。
 - 詳細はこのセクションの エンジンのオーバーヒート を参照してください。
2. 排気温度が高い。
 - 詳細はこのセクションの エンジンのオーバーヒート を参照してください。
3. エンジンの油圧が低下または上昇。
 - できるだけ早くオイルレベルを点検してください。始動できない場合は、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにご相談ください。

充電システム

バッテリーがすぐに放電します。

1. バッテリーの状態を点検します。
 - 新しいバッテリーを交換するか、取り付けます。
2. 充電システムのヒューズが切れていないかをチェックしてください。
 - 必要に応じてヒューズを交換して、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーに充電システムの点検を依頼してください。

電気系統がまったく機能しない

DESS キーを **DESS** ポストに取り付けたときにブザーが鳴りません。

1. メインバッテリーカットオフスイッチがオフになっています。
 - 確認してオンにします。
2. バッテリーが放電しているか、弱っています。
 - 新しいバッテリーを交換するか、取り付けます。

警告

Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにて、バッテリーの充電または交換を行ってください。エンジンコンパートメントにバッテリーを取り付けたまま充電またはブーストしないでください。解液は有害で火傷を招く恐れがあります。

エンジンが始動しない

クランキングできず、監視ブザーが鳴ります。

1. 前述の監視ブザーのコード化された信号を参照してください。

エンジンがまったく回りません。

1. セイフティランヤードが外れています。
- DESS ポストにキャップを取り付けてください。
2. ヒューズ切れ。
- 配線を点検し、ヒューズを交換してください。
3. バッテリーが放電しています。
- Sea-Doo スポーツポート認定ディーラーにご相談ください。
4. バッテリー接続部の腐食または緩み。
- Sea-Doo スポーツポート認定ディーラーにご相談ください。
5. エンジンが水を吸いました。
- Sea-Doo スポーツポート認定ディーラーにご相談ください。

エンジンがゆっくりとクランキングします。

1. バッテリーが放電しているか、弱っています。
- Sea-Doo スポーツポート認定ディーラーにご相談ください。

クランキングは正常にできます。

1. 燃料タンクに燃料が入っていない、または水が混入しています。
- 燃料を補充する、または吸い出して、新しい燃料を入れてください。
2. 燃料フィルターが詰まっている、または水が混入しています。
- フィルターを清掃して、燃料タンク内に水が混入していないかどうかを確認してください。
3. プラグがかぶっています。
- 特殊な手順のプラグがかぶってしまったときを参照してください。
4. スパークプラグが汚れている、またはプラグの異常。
- 交換します。

エンジンのミスファイア、不安定な回転

点火火花が弱い。

1. スパークプラグの汚れ、または劣化。
- 交換します。
2. イグニッションコンポーネントの異常。
- Sea-Doo スポーツポート認定ディーラーにご相談ください。

燃料のミクスチャーが薄い。

1. 燃料:残量が少なすぎる、または燃料が古くなっているか水が混入していません。
- 残っている燃料を吸い出して、新しい燃料を補給してください。
2. 燃料フィルターが詰まっている、または水が混入しています。
- Sea-Doo スポーツポート認定ディーラーにご相談ください。

エンジンのオーバーヒート

注意: モニタリングシステムのブザーが鳴り続ける場合は、ただちにエンジンを止めてください。

監視ブザーが連続音を発します。

1. オイル、冷却液のレベルをチェックしてください。
 - 必要があれば補充します。
2. ジェットポンプのウォーターインテークが詰まっています。
 - クリーニングして、ジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃を実施してください。
3. 燃料またはオイルの等級が合っていません。
 - 残っている燃料を吸い出して、新しい燃料を補給してください。
4. エキゾーストシステムが詰まっています。
 - 散水用ホースを使用してエキゾーストシステムのフラッシングを行ってください。保管、シーズン前の準備のエキゾーストシステムのフラッシングの項を参照して、その手順に従ってください。

それでもエンジンのオーバーヒート状態が解消されなければ、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーに整備を依頼してください。

エンジンが頻繁にバックファイアを起こす

イグニッションコンポーネントの異常。

1. - Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにご相談ください。
2. エンジンのオーバーヒート。
 - エンジンのオーバーヒートの項を参照してください。

点火火花が弱い。

1. スパークプラグの汚れ、または劣化。
 - 交換します。

エンジンのピンギングまたはノッキング

ガソリンの品質不良 / 低オクタン価。

1. - 品質が分かっている推奨ガソリンを使用してください。
2. スパークプラグの熱範囲が高すぎます。
 - 推奨スパークプラグを使用してください。

エンジンの加速力やパワーが不足している

スパークが弱い/混合気濃度が合っていません。

1. – 上記エンジンのミスファイアを参照してください。
2. 燃料に水が混入。
 - 残っている燃料を吸い出して、新しい燃料を補給してください。
3. エンジンのオーバーヒート。
 - エンジンのオーバーヒートの項を参照してください。

規定の最高速度が出ない

ジェットポンプのウォーターインテークが詰まっています。

1. – 清掃してください。
2. インペラーの損傷。
 - 交換します。Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにご相談ください。

推進システムからの異常な騒音

水草や異物がインペラーに絡み付いています。

1. – 清掃して、損傷がないか点検してください。
2. インペラーシャフトまたはドライブシャフトの損傷。
 - Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにご相談ください。

仕様

モデル		205 UTOPIA
エンジン		
エンジンの数		2
エンジンタイプ		Rotax 1503 4-TEC、4-ストロークシングルオーバーヘッドカムシャフト (SOHC)
排気システム		水冷 / ウォーターインジェクション (オープンループ式)。ジェットポンプからの直接水流
潤滑	タイプ	ドライサンプ (オイルポンプ 2 個)。交換式オイルフィルター水冷式オイルクーラー
	オイルの種類	10W 40 4-ストロークオイル (API サービス等級 SM、SL、SJ)
シリンダ数		6 (各エンジンにつき 3)
排気量		1493.8 cm ³ (91 in ³)
吸気方式		自然吸気
最大 HP RPM ± 50 RPM		7300 RPM
冷却		
タイプ		液冷。クローズドサーキット式 (エキゾーストシステムも参照してください)
冷却液		エチレングリコールおよび蒸留水 (50%/50%)。BRP プリミックス冷却液またはアルミニウムエンジン専用冷却剤をご使用ください。
電気システム		
マグネトージェネレータ出力		360 W @ 6000 RPM
イグニッションシステム形式		DI (デジタル誘導)
イグニッションタイミング		調整不可
スパークプラグ	メーカーと型式	NGK、DCPR8E
	ギャップ	0.7 - 0.8 mm (.028 - .031 in)
始動システム		電気スターター
エンジン回転リミッターの設定		7650 RPM
バッテリー		(¹⁾ 付属しません。 12 V グループ 24、船舶用始動バッテリー、トップマウントのラウンドテーパータイプバッテリーポスト付き。

モデル		205 UTOPIA
電気 (続き)		
ヒューズ (エンジン)	F1: 燃料ポンプ	10 A
	F2: 3 番シリンダーのイグニッションコイルと燃料噴射	10 A
	F3: ECM	5 A
	F4: 1 番シリンダーのイグニッションコイルと燃料噴射	10 A
	F5: 2 番シリンダーのイグニッションコイルと燃料噴射	10 A
	F6: ゲージ	2 A
ヒューズ (VCM)	F1: アクセサリー	10 A
	F2: ラジオ	10 A
	F3: ブロワー	10 A
	F4: ビルジポンプ	3 A
	F5: NAV ライト	3 A
	F6: カーテシーランプ	5 A
ヒューズ (ポート)	VCM	2 x 20 A
	充電システム	2 x 30 A
	自動ビルジポンプ	3 A
	ラジオメモリー	1 A
	EFB	2 x 15 A
	ブローモーター	2 x 5 A
	バラストポンプ	20 A
燃料システム		
燃料噴射タイプ		Rotax EMS (エンジンマネジメントシステム)。マルチポイント燃料噴射シングルスロットルボディ (52 mm)
燃料タイプ/最小オクタン	北米内	無鉛ガソリン 最小オクタン価 (87 (RON + MON)/2)
	北米以外	無鉛ガソリン 最小オクタン価 91 RON

モデル		205 UTOPIA
推進		
ジェットポンプ形式		軸流式単段
ジェットポンプグリース		BRP 販売のジェットポンプベアリンググリース (P/N 293 550 032)
トランスミッション		直接駆動
ピボット角 (ノズル)		20°
ジェットポンプの最小必要水位		船体後部の最も低い部分から 90 cm (36 in)
寸法		
全長		6.05 m (19 ft 10 in)
ビーム		2.44 m (8 ft)
ドラフト		30.5 cm (12 in)
重量		1166 kg (2570 lb) SE: 1175 kg (2590 lb)
シート定員		8
最大許容荷重 (乗員 + 荷物)		8 人 598 kg (1320 lb) (静かな水面)
底勾配		20°
寸法 (トレーラー上)		
全長 (取り外し可能な折りたたみタンを含む)		6.2 m (20 ft 4 in)
幅		2.44 m (8 ft)
高さ	タワーなし	SE: 2.01 m (6 ft 7 in)
	タワーダウン	SE: 2.16 m (7 ft 1 in)
	タワーアップ	SE: 3.02 m (9 ft 11 in)
総重量		1665 kg (3670 lb) SE: 1674 kg (3690 lb)
容量		
エンジンオイル (各エンジンにつき)		3 L (3.2 U.S. qt.) フィルターでオイル交換 4.5 L (4.8 U.S. qt) 合計
エンジン冷却システム		5.5 L (5.8 U.S. qt) 総量
燃料タンク (リザーブを含む)		151 L (40 U.S. gal)

モデル		205 UTOPIA
材質		
船体（ハル）		合成 FRP
燃料タンク		ポリエチレン
シート	ベース	ポリエチレン
	フォーム	ポリエチレン
ウインドシールド		着色強化ガラス

(1) 推奨: Exide R-24-130、2V、25 A・h (130 分間リザーブ) または R-24-160 (160 分間) あるいは同等品。

BRP は、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、その製品の設計や仕様の変更、追加、または改良を行う権利を留保します。

メンテナンス情報

10 時間点検

注記: この 10 時間点検は所有者の費用負担で行われるものです。

実使用時間が最初の 10 時間を過ぎた時点で、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーによるボートの点検を受けることをお勧めします。この点検は、あなたが操縦を始めたばかりの段階で感じたかもしれない疑問点について、ディーラーと話し合うよい機会にもなるでしょう。

この点検チャートに Sea-Doo 認定スポーツボートディーラーの署名をもらうことをお勧めします。

10 時間点検実施日

認定ディーラー代表者の署名

ディーラーコード

定期点検チャート

A: 調整 C: 清掃 I: 点検 L: 潤滑 R: 交換 O: オペレーター D: デイラー	最初の 10 時間										点検項目実施者	説明
	25 時間ごと											
	50 時間ごと											
	100 時間ごとまたはシーズン前											
	200 時間ごとまたは 2 年間											
部品/タスク												
全般												
腐食防止	L ⁽¹⁾		L	L							O	(1) 塩水使用では 10 時間ごとに。
消火器	日常点検										O	
エンジン												
エンジンオイルとフィルター (カバーの O-リングを含む)	R					R ⁽²⁾					D	(2) 保管期間または 100 時間使用後のどちらか先に訪れた時期に交換。
エンジンのオイルレベル (必要なら補給)	日常点検										O	
ラバースマウント	I		I								D	
エキゾーストシステム												
エキゾーストシステムの状態 (ファスナー、ホース、コンポーネント等) ⁽³⁾	I	I				I					D	(3) 排出ガス関連コンポーネント。 (5) 塩水または汚れた水で使用する場合は毎日フラッシング。 (6) 100 時間使用の保管期間でどちらか先に訪れた時期に実施。(塩水使用時はより頻繁)。
エキゾーストシステムのフラッシング	(5) (6)										O	
エキゾーストシステムコンポーネントの漏れ(錆、黒スジ、水漏れ、腐食/ひびの入ったフィッティング等)		I									O	
冷却システム												
ホースの状態と締め付け具	I		I	I							D	—
冷却液	I							R			D	
冷却液レベル	日常点検										O	

A: 調整 C: 清掃 I: 点検 L: 潤滑 R: 交換 O: オペレーター D: デイラー	最初の 10 時間						
	25 時間ごと						
	50 時間ごと						
	100 時間ごとまたはシーズン前						
	200 時間ごとまたは 2 年間						
	点検項目実施者						
部品/タスク						説明	
燃料システム							
スロットルケーブル	I			I (6)		D	(3) 排出ガス関連 コンポーネント。 (6) 100 時間使用後の保管 期間でどちらか先に訪 れた時期に実施 (塩水使 用の場合はより頻繁)。 (7) 重要: 塩水で使用する 場合、10 時間使用ごと に、スロットルボディ潤滑 を強く推奨いたします。 潤滑しないならばスロ ットルボディに損傷が起 きます。
燃料噴射システムのセンサー類	I			I		D	
スロットルボディと燃料ライン ファスナーの締め具合	I		I	I		D	
スロットルポジションセンサー (TPS) (3)	I			I		D	
スロットルボディ (重要: (7) を参照)	I			L		O/D	
燃料ライン、接続部、圧カ リリーフバルブ、燃料シ ステムの漏れテスト (3)	I			I		D	
燃料タンクストラップ	I			I		O	
エアインテークシステム							
エアインテークサイレンサーの 取り付け / 締め付け	I			I		O	—

A: 調整 C: 清掃 I: 点検 L: 潤滑 R: 交換 O: オペレーター D: ディーラー	最初の 10 時間						
	25 時間ごと						
	50 時間ごと						
	100 時間ごとまたはシーズン前						
	200 時間ごとまたは 2 年間						
	点検項目実施者						
部品/タスク	説明						
電気システム							
スパークプラグ ⁽³⁾	I			I	R	D	(1) 塩水使用では 10 時間ごとに。 (3) 排出ガス関連 コンポーネント。 (8) 毎日点検。
電気系コネクタ類の状態と締め付け（イグニッションシステム、始動システム、燃料インジェクターなど）	I			I		D	
ECM および VCM コネクタ (外さな い で視覚的 点検)				I (1)		O	
EMS 故障コードの読出し ⁽³⁾	I			I		D	
デジタル暗号化セキュリティシステム（DESS）	I			I		D	
モニターブザー	日常点検					O	
バッテリーの状態と締め付け具 ⁽⁸⁾	I			I		O/D	
メインバッテリーカットオフスイッチ	I	I		I		D	
灯火類の状態 / 点灯確認	日常点検					O	
ビルジブロワーおよびビルジポンプの作動	日常点検					O	
バッテリーの状態 / 充電と取り付け				I		D	

A: 調整 C: 清掃 I: 点検 L: 潤滑 R: 交換 O: オペレーター D: デイラー	最初の 10 時間						
	25 時間ごと						
	50 時間ごと						
	100 時間ごとまたはシーズン前						
	200 時間ごとまたは 2 年間						
	点検項目実施者						
部品/タスク						説明	
ステアリングシステム							
ステアリングケーブルと接続	I			I		D	—
ステアリングノズルブッシング	I			I		D	
推進システム							
ドライブシャフト腐食防止				L ⁽⁶⁾		D	(4) 毎月点検 (塩水ではより頻繁) および必要に応じて交換。 (6) 100 時間使用後の保管期間でどちらか先に訪れた時期に実施 (塩水使用時はより頻繁)。
カーボンリングとラバーブース (ドライブシャフト)	I		I			D	
シフターシステム、ケーブルと接続	I			I		D	
ドライブシャフト/インペラー スプライン				I, L		D	
インペラーブーツ	I			I		D	
インペラーシャフトシール、スリーブ、Oリング				I (6)		D	
インペラーとウエアリングのクリアランス	I		I			D	
犠牲陽極				(4)		O	

A: 調整 C: 清掃 I: 点検 L: 潤滑 R: 交換 O: オペレーター D: ディーラー 部品/タスク	最初の 10 時間						
	25 時間ごと						
	50 時間ごと						
	100 時間ごとまたはシーズン前						
	200 時間ごとまたは 2 年間						
	点検項目実施者						
説明							
船体/ボディ							
ライドプレートとウォーターインテークプレート	日常点検					0	(1) 塩水使用では 10 時間ごとに。
ウインドシールドと締め付け具	I	I		I		0	
ライドシューの状態	I			I		0	
ストレージコンパートメントカバーロック	(1)			I, L		0	
デッキドレン/排水バルブ	日常点検					0	
ドレンプラグ (ビルジ内) の詰まりの点検	I			I		0	
船体 (ハル)	日常点検					0/D	
曳航用タワーの取り付けポイントと接続が固くしまっていること。	使用前					0	

注記: 一部の項目は使用前の点検に含まれており、このチャートでは重複を避けているものもあります。

メンテナンス手順

一般的事項

- △ このガイドで詳しく解説された整備手順のみを実施してください。詳細については、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにお尋ねください。多くの場合、そうした整備や修理の作業を行うには、適切な工具と訓練が必要です。
- △ ボートと各装置は常に最高の状態に維持してください。指定されたメンテナンス・スケジュールを守ってください。ボートの「12ヶ月安全点検」をお受けになることをお勧めします。
- △ ビルジにはオイル、水またはその他の異物がないようにしてください。
- △ 専用の装置を使用せず、訓練も受けずにボートを吊り上げようとしないでください。
- △ このガイドで取り扱っているエンジンとその関連コンポーネントを、品当初の設計で意図されている製品以外に転用しないでください。メンテナンスの手順と指定された締め付けトルク値は厳密に守ってください。適切な工具がないときは修理を試みないでください。ボートは、メーカー法によって作られた部品と英国式規格の部品の両方を用いて設計されています。ねじなどの締め付け具を交換するときは、必ず BRP 推奨品を使用してください。さらに詳しい整備情報が必要な場合は、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにお問い合わせください。
- △ ボートの操縦を楽しんでください。でも慎重に。しかし緊急時には他の人々を救助する義務があります。

エンジンの排出ガスに関する情報

排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理は、船舶用SI（スパークイグニッション）エンジンの修理工場または個人なら誰でも実施できます。

製造者の義務

1999 年型以降のエンジンについて、船舶用エンジンの製造者は各工物環境の出力分類に応じて有害排出物レベルを測定し、アメリカ合衆国環境保護局（EPA）によるエンジンの認証を受けなければならないになりました。これに伴ない、有害排出物のレベルとエンジンの仕様を表示した排出ガス制御情報ラベルを、製造の時点でボートに貼付しなければなりません。

ディーラーの義務

排出ガス制御情報ラベルを貼付された 1999 年型以降のすべての Sea-Doo スポーツボートの整備を行う場合、各部の調整はメーカー指定の公表された仕様値以内でなければなりません。

排出ガス関連コンポーネントの交換または修理は、有害排出物レベルを所定の認証基準以内に維持できるような方法で行われなければなりません。

ディーラーでは、エンジンの出力を変更したり、有害排出物のレベルが定められたメーカーの仕様値を超えるようなエンジンの改造を行ってはなりません。

高度調整などのように、メーカーの指示による変更は例外とします。

所有者の義務

所有者 / オペレーターには、有害排出物レベルを所定の認証基準以内に維持するためのエンジンのメンテナンス実施が要求されます。

所有者 / オペレーターは、エンジンの出力を変更したり、有害排出物のレベルが定められたメーカーの仕様値を超えるようなエンジンの改造を自ら行ったり、誰かに行わせたりしてはいけません。

EPA 排出ガス規制

BRP が製造した 1999 年型以降のすべての新しい Sea-Doo スポーツボートは、ボート用エンジンによる大気汚染防止のための規則の要求事項に適合した製品として、EPA の認証を受けています。この認証は特定の整備所をメーカー基準値に合わせるための条件となっています。このため、製品の整備に関するメーカーの指定手順は厳密に守られなければならない。現状に可能な限り、設計当初の意図に忠実な形でなければならない。

以上に挙げたそれぞれの義務は概説的なものでなく、船舶用エンジンの有害排出物に関する EPA の要求事項に関連した規則と規制の完全な一覽ではありません。この件についてより詳しい情報をお求めの場合は、下記にお問い合わせください：

合衆国郵便サービスをご利用の場合：

1200 Pennsylvania Ave. NW
Mail Code 6403J
Washington D.C. 20460

国際郵便をご利用の場合：

U.S. Environmental Protection Agency
Office of Transportation and Air Quality
1310 L Street NW
Washington D.C. 20005

インターネットウェブサイト：

<http://www.epa.gov/otaq/>

E-MAIL:

otaqpublicweb@epa.gov

警告

このガイドで詳しく解説された手順のみを実施してください。このガイドで触れられていないコンポーネント / システムについては、定期的に Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーに整備を依頼されることをお勧めします。特に指定のある場合を除いて、メンテナンス作業を実施する際は必ずエンジンを停止して DESS キーを DESS ポストから取り外し、メインバッテリーのカットオフスイッチをオフにしてください。ジェットポンプまわりのコンポーネントは、絶対に船体の吊り上げに使用しないでください。エンジンコンパートメント内の部品の一部は、きわめて高温になる場合があります。直接皮膚に触れると火傷の原因になります。ボートを水から上げた状態でエンジンを回すと、熱交換器がたいへん熱くなります。火傷のおそれがありますので、熱交換器には触れないようにしてください。

注記: 適切な場合、これらのメンテナンス手順は左右の両エンジンシステムに適用します。

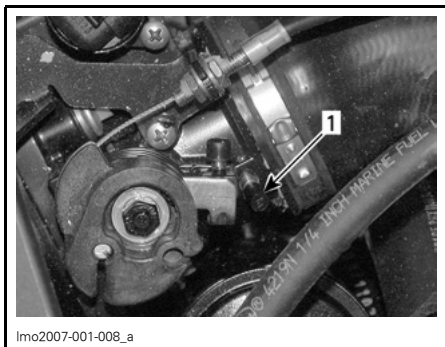
潤滑

スロットルボディ

XP-S ルーブ潤滑剤または同等品を用いて、スロットルボディを潤滑してください。

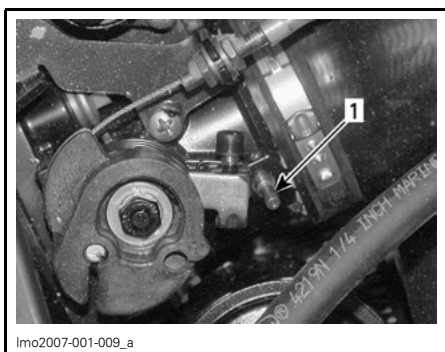
そのためにスロットルボディのフィッティングを使用します。

正しく潤滑するために、少なくとも 3 から 5 秒間潤滑剤をスプレーしてください。



lmo2007-001-008_a

キャップを外す
1. プラスチックキャップ



lmo2007-001-009_a

1. 潤滑フィッティング

電気系統の接続部

スターライトのマスト側電極とポート側電極を含め、露出したケーブルコネクタやバッテリー電極には必要に応じて誘電性グリスを塗布してください。

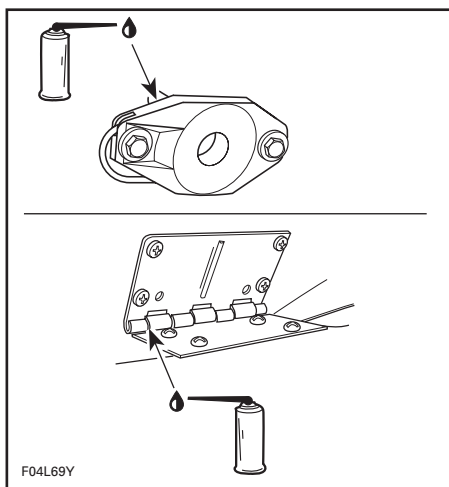
注意: VCM (車両制御モジュール)、EFB (エンジンヒューズブロック)、ECM (エンジン制御モジュール) のコネクタには潤滑剤を塗らないでください。

補助的な可動部分

XP-S ループ潤滑剤は腐蝕を防止し、可動部分の動きをスムーズにします。

以下の箇所には、真水の場合 50 時間ごと、塩水の場合 10 時間ごとに注油を行ってください。

ストレージコンパートメントカバーの可動部およびヒンジ



代表的な例

リバースゲート

各ゲートの両側のピボット点と機構部を潤滑してください。

リアストレージコンポーネントカバーのシリンダー

シリンダーのロッド部分に注油します。

スロットル/シフターコントロールローケーブル

スロットル/シフターコントロールローを一度前後に動かします。レバーはスムーズに作動しなければなりません。調整が必要な場合、Sea-Doo スポーツポート認定ディーラーに依頼してください。

⚠ 警告

ケーブルの調整や取りまわしを変更しないでください。

エンジンのオイル交換とオイルフィルターの交換

オイルとフィルターの交換は、Sea-Doo スポーツポート認定ディーラーに依頼してください。

冷却液の交換

クーラントの交換は、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーに依頼してください。

燃料噴射システム

燃料噴射システムの点検は、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーに依頼してください。同時に燃料システムの加圧テストも実施してもらってください。

ステアリングアライメント

ステアリングホイールを直進位置にした場合は、ボートが直進するようにジェットポンプノズルも同じ方向を向いていなければなりません。

調整が必要な場合、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーに依頼してください。

警告

ステアリングが左右にスムーズに動くことを確認してください。

スロットル/シフターコントロールローラ

スロットル/シフターコントロールローラが前進位置にある時は、リバーズゲートが上向きでロックされていなければなりません。また、スロットル/シフターコントロールローラがニュートラルの位置にある時はリバーズゲートが中間位置、スロットル/シフターコントロールローラがリバーズの位置にある時はリバーズゲートが下向きになっていなければなりません。調整が必要な場合、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーに依頼してください。

警告

スロットル/シフターコントロールローラが自由に動くことを確認してください。

デッキドレン

デッキドレンの排水口部分には障害物となるようなものは置かないでください。

ヒューズ

ヒューズが切れた場合は、同じ定格値のヒューズと交換します。

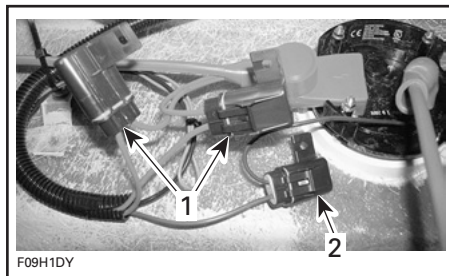
注意: 本来のヒューズより定格値の高いものを使わないでください。火災や重大な損傷の原因になることがあります。ヒューズが切れた場合はエンジンを再始動する前に不具合箇所を特定し、その原因を取り除いてください。整備については、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーまでお問い合わせください。

メインヒューズ

装置が作動しない場合は、メインバッテリーのカットオフスイッチがオンの位置にあることを確認してください。

また、線舷内のメインバッテリーのカットオフスイッチに接続されているメインヒューズを確認してください。

注記: スペアヒューズは、エンジンヒューズブロック (EFB) および車両制御モジュール (VCM) のヒューズカバー内側にあります。



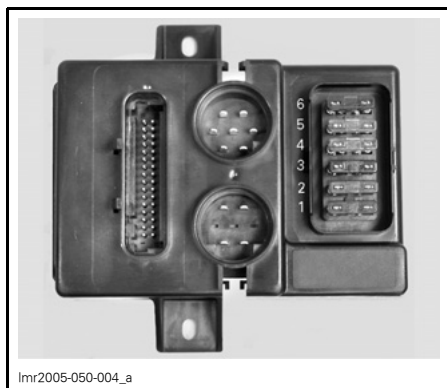
代表的な例 — バッテリーカットオフスイッチ裏

1. 2 x 20A: VCM
2. 3A: 自動ビルジポンプ
3. 1A: ラジオメモリー (表示されていません)

エンジンアクセサリヒューズ

注記: 両方のエンジンとも一般的です。

エンジン関連コンポーネント、エンジン制御モジュール (ECM)、ゲージのヒューズは、エンジンコンパートメント内のエンジンヒューズブロック (EFB) に統合されています。



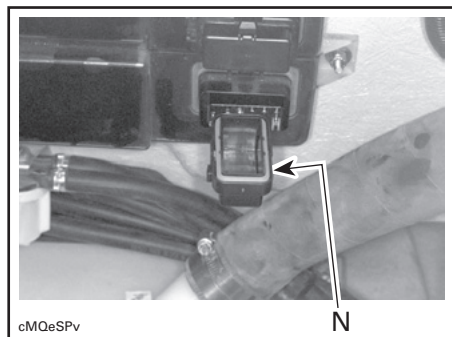
lmr2005-050-004_a

EFB

1. 10A: 燃料ポンプ
2. 10A: 3 番シリンダーのイグニッションコイルと燃料噴射
3. 5A: ECM
4. 10A: 1 番シリンダーのイグニッションコイルと燃料噴射
5. 10A: 2 番シリンダーのイグニッションコイルと燃料噴射
6. 2A: ゲージ

ヒューズカバーを取り外すには、カバーのロックタブを押してカバーを外すと、ヒューズが現れます。

カバーのタブを使ってヒューズを取り外します。



cMQeSPv

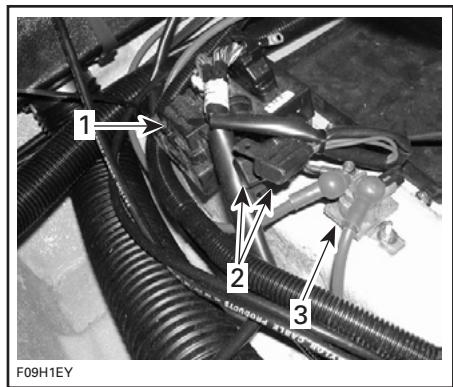
代表的な例

1. ヒューズの両側にタブを差し込んでヒューズを抜く

作業が終わったら、カバーのシールが正しい位置にあることを確認します。

シールがずれないようにカバーを慎重にヒューズブロックにかぶせ、それぞれのロックングタブからパチンという音がするまでしっかりと押してください。

エンジン電気システムのメインヒューズは各エンジンソレノイド付近にあります。



F09H1EY

代表的な例

1. EFB
2. エンジン電気システムメインヒューズ
30A: 充電システム
15A: EFB
3. ソレノイド

船体アクセスサリーヒューズ

船体電気システムのヒューズは、ダッシュボード裏の計器類インターフェースにある船体制御モジュール (VCM) に統合されています。



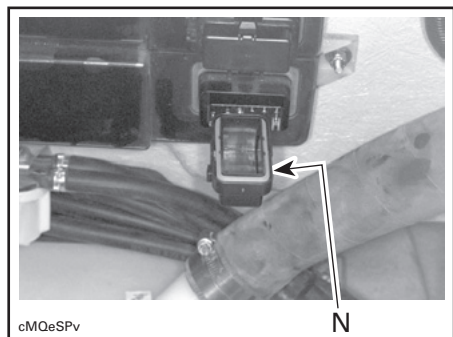
lmr2005-050-004_a

VCM

- 1. 10A: アクセサリ
- 2. 10A: ラジオ
- 3. 7.5A: ブLOWER
- 4. 3A: ビルジポンプ
- 5. 3A: NAVライト
- 6. 5A: カーテシーランプ

ヒューズカバーを取り外すには、カバーのロックタブを押してカバーを外すと、ヒューズが現れます。

カバーのタブを使ってヒューズを取り外します。



cMQeSPv

代表的な例

- 1. ヒューズの両側にタブを差し込んでヒューズを抜く

作業が終わったら、カバーのシールが正しい位置にあることを確認します。

シールがずれないようにカバーを慎重にヒューズブロックにかぶせ、それぞれのロックタブからパチンという音がするまでしっかりと押してください。

ビルジエアブLOWER

各ビルジエアブLOWERが正しく作動していることを確認してください。



lmo2008-004-016_a

代表的な例

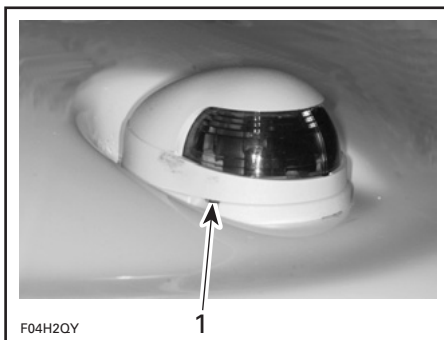
- 1. ブLOWERダクト

⚠ 警告

ビルジブLOWERが正しく作動しない場合は、そのままポートを始動せずに Sea-Doo スポーツポート認定ディーラーにご相談ください。

航海灯の電球交換

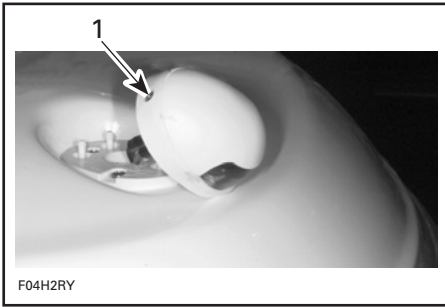
バウライト



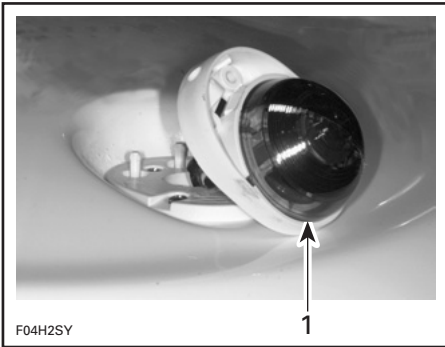
F04H2QY

代表的な例

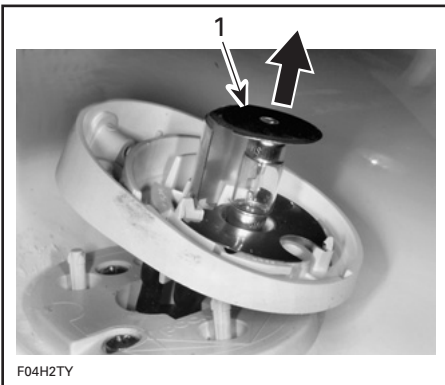
- 1. ここにマイナスドライバーを差し込んで、ていねいにこじって外す



代表的な例
1. このスクリューを取り外す



代表的な例
1. レンズを引いて外す



代表的な例
1. 電球を引いて取り外す

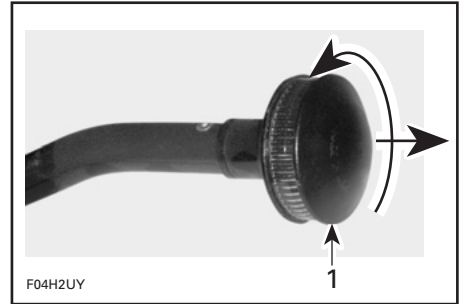
組み立ては基本的に取り外しの手順を逆にたどります。しかし、次の点に特別に注意を払ってください:

交換した電球の接点部に誘電性グリースを塗布してください。

電球を上部終板の下に取り付けるとき、電球が緩んだままの場合があります。もう一度取り付けるとき、カバーは電球終板を圧迫します。

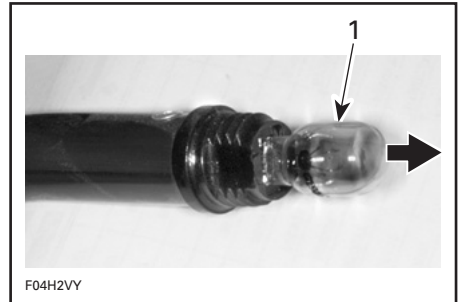
スターンライト

レンズを反時計方向に回して取り外します。



代表的な例
1. 回して取り外す

電球を引いて取り外します。

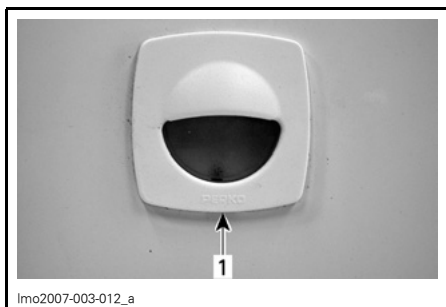


代表的な例
1. 電球を引いて取り外す

交換した電球の接点部に誘電性グリースを塗布してください。

組み立ては取り外しと逆の順序で行います。

デッキライト



1. ここにマイナスドライバーを差し込んで、ていねいにこじって外す



1. 電球を引いて取り外す

犠牲陽極

ボートでは、特に塩水に触れる金属部品の腐食は一般的です。腐食は陸上電設備、不適切に設置されたAC線と回路、そして近くで係留されたボートの不十分な絶縁DC電力設備からの迷走電流によって発生することがあります。電流があると腐食は加速します。

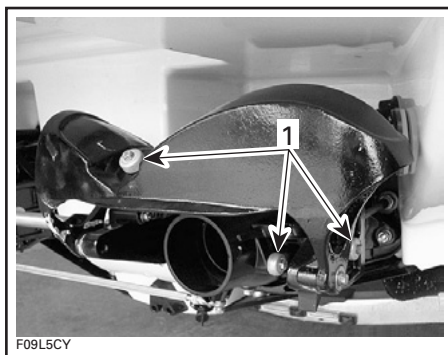
犠牲陽極はこのボートの特定の部分に取り付けられ、腐食を抑えます。陽極が設置された部分よりも、陽極の方が腐食します。

各陽極が重量で50%が腐食したとき、交換します。

陽極は次の場所に設置されます:

- ライドシュー / クーラントプレート
- ポンプハウジング
- リバースゲートサポート

- ステアリングノズル
- リバースゲート。



代表的な例

1. 犠牲陽極

注記: ボート進水毎に陽極を点検してください。陽極に塗装したり、保護コーティングしないでください。

全体の点検と清掃

点検

エンジンコンパートメント内に損傷や、燃料システムに漏れがないか点検してください。また、バッテリーに電解液の漏れがないか点検してください。すべてのホースクランプがしっかりと固定されているか、ホースにひび割れ、よじれ、あるいはその他の損傷がないかを確認してください。

警告

ガソリンが漏れている場合やガソリン臭がする場合は絶対にエンジンを始動しないでください。Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーでボートの整備を受けてください。

マフラー、バッテリー、リザーバーの各固定機構を点検します。電気部品の接続部に腐食あるいはゆるみがないかをチェックしてください。

船体とジェットポンプのウォーターインテークグレートに損傷がないか点検します。損傷が認められるパーツは、交換あるいは修理してください。

清掃

ビルジはお湯と洗剤、またはビルジクリーナーを使用して年に2回清掃を行い、燃料 / オイル / 電解液などによる汚れやカビを取り除いてください。

時々ボディを温水と石鹼（強い洗剤は使用しないでください）で洗ってください。エンジンおよび / または船体に付着した海洋微生物を取り除いてください。研磨材を含有していないワックスを使用してください。

注意：ファイバーグラス製やプラスチック製の部品の清掃には、強い洗剤、脱脂剤、塗装用シンナー、アセトンなどを使用しないでください。

ウインドスクリーンは Heavy Duty Cleaner (P/N 293 110 001) と水で洗浄してください。細かいスクラッチや擦り傷を取り除くには、アクリル、ルーサイト、ポリカーボネート、またはこれに類する素材用の研磨剤を使用してください。

シートやファイバーグラス部分の汚れは、「ナイツスプレーナイン」[†] またはその同等品で取り除ける場合もあります。

環境を守るため、燃料、オイル、洗浄用溶剤などを水路に流さないでください。

[†] 「ナイツスプレーナイン」は、Knight Oil Corporation の登録商標です。

保管、シーズン前の準備

長期保管の前には、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーでボートの整備を受けることをお勧めしていますが、次のような作業はあなた自身が最小限の工具で実施できます。

注記: 保管期間の間、ドレンプラグを開けます。

注意: 保管中はエンジンをかけないでください。

警告

燃料とオイルは可燃性です。定期点検チャートでも指定されているように、燃料システムの機能の点検は Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにご依頼ください。

推進システム

ジェットポンプ

ジェットポンプのインレットとアウトレットに水を吹きかけて洗い、その後で XP-S ルーブコーティング剤 (P/N 293 600 016) または同等品を塗布してください。

警告

ジェットポンプまわりの清掃を行う場合は、誤ってエンジンを始動してしまわないように、必ずセイフティランヤードキャップをポストから取り外してください。この作業の時にはエンジンが回さないでください。

燃料システム

ガソリン安定化剤

BRP ガソリン安定化剤 (P/N 413 408 600) (または同等品) を燃料タンクに注入すると、ガソリンの劣化と燃料システムのゴム質の堆積を防止できます。正しい使い方については、安定化剤の製造者の使用上の注意に従ってください。

注意: 燃料システムを二ス状の堆積物から保護するため、ガソリン安定化剤はエンジンの潤滑を行う前に添加してください。

燃料タンクを完全に満たします。燃料タンク内に水がないことを確認してください。

注意: 燃料タンク内に水が残っている場合、燃料噴射システムに深刻な内部損傷が起きます。

警告

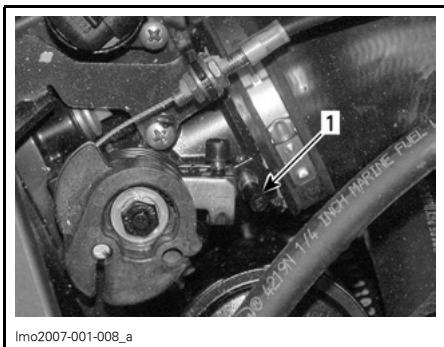
給油を行う前に必ずエンジンを止めてください。ガソリンは可燃性であり、特定の条件下では爆発性があります。つねに換気の良い場所で行ってください。近くで喫煙したり、裸火や電気スパークを近づけたりしてはいけません。燃料タンクに圧力がかかっていることもあります。キャップを開ける時にはゆっくりと回してください。裸火を明らかにして燃料レベルを確かめるのは絶対にやめてください。給油中はボートを水平に保ってください。燃料を入れすぎないようにし、給油口ぎりぎりまでガソリンを入れた状態で、ボートを目の当たる場所に長時間置かないようにしてください。温度の上昇と共にガソリンが膨張して、オーバーフローすることがあります。給油時にこぼれた燃料は必ず拭き取ってください。定期的に燃料系を点検しましょう。

スロットルボディ潤滑

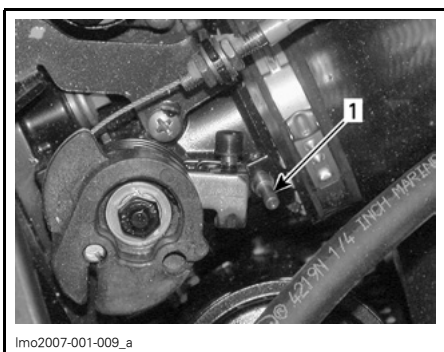
XP-S ルーブ潤滑剤または同等品を用いて、スロットルボディを潤滑してください。

そのためにスロットルボディのフィッティングを使用します。

正しく潤滑するために、少なくとも 3 から 5 秒間潤滑剤をスプレーしてください。



Imo2007-001-008_a
 キャップを外す
 1. プラスチックキャップ



Imo2007-001-009_a
 1. 潤滑フィッティング

エンジンのオイル交換とオイルフィルターの交換

オイルとフィルターの交換は、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーに依頼してください。

エキゾーストシステムのフラッシング

真水による各エンジンのエキゾーストシステムのフラッシングは、水に含まれる塩分やその他の化学物質による腐食効果を中和するために必要不可欠です。これによってウォータージャケット（エキゾーストシステムとインタークーラー（装備されている場合））および / またはホース内の砂、塩、貝殻などの異物がある程度まで取り除くこともできます。

注意: 必要に応じてシステムのフラッシングを行わないと、エンジンインタークーラーおよび / またはエキゾーストシステムに重大な損傷を及ぼす可能性があります。手順全体でエンジンの作動を確認してください。

警告

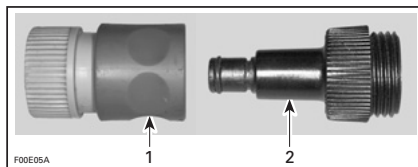
この作業は換気のよい場所で行ってください。エンジンコンパートメント内の部品の一部は、きわめて高温になる場合があります。直接皮膚に触れると火傷の原因になります。エンジンが回っている間は、電気系の部品やジェットポンプまわりに触れないでください。

警告

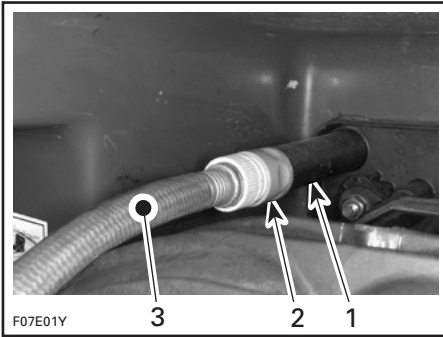
ポートを水から上げた状態でエンジンを回すと、熱交換器がたいへん熱くなります。火傷のおそれがありますので、熱交換器には触れないようにしてください。

ポート後部のジェットポンプサポートにあるコネクタに、散水用ホースを接続してください。まだ水栓は開かないでください。

注記: オプションのフラッシングコネクタアダプター (P/N 295 500 473) はクイックコネクタアダプターともに使用可能であり、散水用ホースの取り付けが簡単になります。



1. クイックコネクタアダプター
 2. フラッシングコネクタアダプター



代表的な例

1. フラッシングコネクター
2. クイックコネクトアダプターとフラッシングコネクターアダプター（オプション、必ずしも必要ありません）
3. 散水用ホース

エキゾースト冷却システムのフラッシングを行うには、まず左右エンジンをかけてから、その後ただちに水栓を開けてください。

注意：必ず左右エンジンを始動してから、水栓を開けてください。オーバーヒートを防ぐため、左右エンジンがかかったらすぐに水栓を開けてください。

注意：ポートを水から上げている場合、エキゾーストシステムに水を供給せずにエンジンをかけないでください。

左右エンジンを 4000 ~ 5000 RPM のファストアイドルで約 20 秒間回します。

注意：エンジンを 5 分間以上回さないでください。ポートが水から上がっているときは、ドライブラインシールが冷却されないためです。

フラッシングを行っている間、ジェットポンプから水が流れ出てくることを確認してください。水が出て来ない場合は、Sea-Doo スポーツポート認定ディーラーに整備を依頼してください。

先に水栓を閉めてから、その後エンジンを止めます。

注意：必ず水栓を閉めてから、エンジンを止めてください。

散水用ホースを取り外します。

注意：作業を終えたら、フラッシングコネクターアダプターを取り外してください（使用した場合）。

すべてのコンポーネントを開いて、乾いた風にあてます。

エンジン内部の潤滑

エキゾーストシステムのフラッシングの項で解説したように、エキゾーストシステムを冷却するために散水用ホースを接続してください。

エンジンを通常の運転温度まで暖めます。

注意：エキゾーストシステムのフラッシングの手順で示された注意事項を正しく守ってください。

先に水栓を開けてから、その後エンジンを止めます。

エンジンコンパートメントのカバーを開きます。

ストレージトレイを取り外します。

注記：左右エンジンについて実行します。

ディップスティックを取り外してください。

エンジンカバーを外します。

ディップスティックを元通りに取り付けてください。

イグニッションコイルのコネクターを外してください。

警告

イグニッションコイルとスパークプラグの接続を外すときは、必ずメイルハーネスとイグニッションコイルの接続を先に外してください。エンジンコンパートメント内では、外したイグニッションコイルおよび/またはスパークプラグから火花が飛ぶかどうかを確かめないでください。気化した燃料がスパークで爆発するおそれがあります。

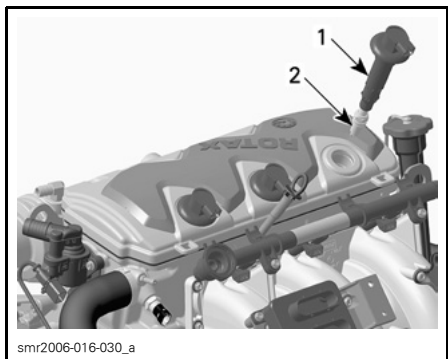
重要: イグニッションコイルコネクターのロックタイを切断しないでください。どのケーブルをどのシリンダーに接続するかわからなくなってしまう。

イグニッションコイルを取り外してください。

注意: スパークプラグを取り外す前に、スパークプラグホールにゴミなどがないことを確かめてください。スパークプラグホールからシリンダーにゴミなどが落ちると、エンジン内部の部品が損傷します。

スパークプラグを取り外してください。

注記: スパークプラグを緩めた後、イグニッションコイルを使ってスパークプラグを取り外すことができます。イグニッションコイルをプラグホールに差し込み、スパークプラグを「釣り上げる」ように取り出してください。

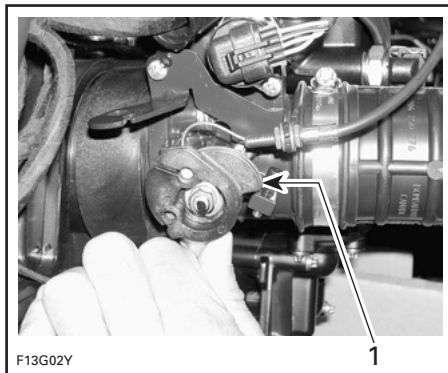


1. イグニッションコイル
2. スパークプラグ

スパークプラグホール内に XP-S ルーブ潤滑剤または同等品をスプレーしてください。

エンジンをクランキングするときに燃料が噴射されるのを防ぎ、点火をカットするために、次の手順を行ってください。

エンジンコンパートメントから、誰かにスロットルベルクランクを十分に開いたままで保持します。



- 代表的な例
1. 完全に開いた位置

クランキングによってエンジンを数回回転させ、シリンダーウォールにオイルを行き渡らせてください。

スパークプラグのねじ山に焼き付き防止潤滑剤を塗布し、スパークプラグを元通りに取り付けます。

注記: 取り付け後、シールがエンジン上面に正しく納まっていることを確認してください。

イグニッションコイルを元通りに取り付けます。イグニッションコイルコネクターを元通りに接続してください。

エンジンカバーを取り付けるためにいったんディップスティックを外し、エンジンカバーをパチンという音がするまで押し下げます。

ディップスティックを元通りに取り付けてください。

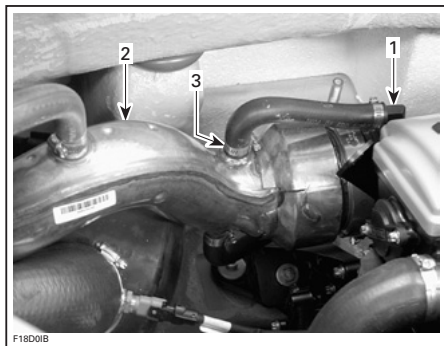
注記: XP-S ルーブ潤滑剤でエンジンバルブのフォギングを行うことをお勧めします。Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーまでお問い合わせください。

エキゾーストマニホールド

注記: 次の手順は、両方のエンジンに適用されます。

エキゾーストシステムはセルフドレイン式ですが、エキゾーストマニホールドには次の保護が必要です。

- マニホールドトップウォーターアウトレットホースをエキゾーストパイプから外します。



1. エキゾーストマニホールド
2. エキゾーストパイプ
3. ウォーターアウトレットホースクランプ (再使用可能)

- ウォーターアウトレットホースの端にじょうごを取り付け、不凍液約 300 mL (10.14 oz U.S.) をエキゾーストマニホールドに注入します。
- アップパーウォーターアウトレットホースを再接続して、既存のクランプで留めます。

注意: エキゾーストマニホールドに不凍液を注入することを強く推奨いたします。これを外し忘れるとこのコンポーネントに重大な損傷を与えます。

注意: 不凍液原液 (濃度 100%) のみ使用してください。BRP が取り扱うブレミックス不凍液は、この特定の用途には適していません。ウォータージャケットに残っている水と混合するとき、濃度は低下します。

注記: 入手可能であれば、アルミニウム製内燃エンジン用の生物分解性不凍液をお奨めします。これは環境保護に有効です。

注記: 冷却システムコンポーネントからできるだけ多く排水するために、この操作の間にエンジンを作動する必要はありませんが、前もって作動させておく必要があります。

バッテリー

バッテリーの取り外し、清掃、保管については、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにお問い合わせください。

エンジン冷却システム

不凍液の劣化を防ぐため、200 時間ごと、あるいは 2 年ごとに左右エンジンの不凍液を交換します。

不凍液の交換と比重テストは、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーに依頼してください。

注意: 不凍液の混合比率が適切でない、気温が氷点下になる場所にボートが保管された場合、冷却システム内で液体が凍るおそれがあります。これはエンジンに重大な損傷を及ぼします。200 時間または 2 年毎に不凍液を交換しないと、液が劣化して、次にエンジンを使用するとき十分な冷却が得られない可能性があります。

警告

やけどをしないように、エンジンが暖機されているときは、冷却液リザーバーキャップを取り外さないでください。

ボートの清掃と修理

ボディとトレーラーを石鹼水 (強い洗剤は使用しないでください) で洗います。洗った後は真水でよくすすいでください。船体に付着した海洋微生物を取り除いてください。

注意: ファイバーグラス製やプラスチック製の部品の清掃には、強い洗剤、脱脂剤、塗装用シンナー、アセトンなどを使用しないでください。

シートやファイバークラス部分の汚れは、「ナイツプレーナイン」またはその同等品で取り除ける場合もあります。

ボディや船体に修理が必要な場合は、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーにご相談ください。機械的な部分のタッチアップ塗装には、BRP スプレーペイントをお使いください。微量のゲルコート部分の修理については、Gelcote[†] 修復キットは、Gelcote International (www.gelcote.ca) からご入手できます。傷んだラベルやデカールは交換してください。

トレーラーでの運搬の後、ホイールを固定して、ドレンプラグを緩め、トレーラージャッキ（装備されている場合）でバウをわずかに持ち上げて排水してください。ビルジを洗剤とお湯、またはビルジクリーナーで清掃します。洗った後はよくすすいでください。すべてのコンポーネントを開いて、乾いた風にあてます。

保管の最終的な準備

研磨剤の入っていないワックスを塗布します。

保管中はエンジンストレージカバーを少し開けておいてください（カバーが完全に開いてしまわないようにガスショックを外しておきます）。

ストレージトレイを取り外します。デッキに置いておきます。

マイナスイグナイターを使って、下の図の用にタブを持ち上げます。



代表的な例 — タブ持ち上げ

ショックエンドを外します。他端を外します。

ブロックして、エンジンカバーリッドを少し開きます。

エンジンコンパートメントの結露と、それによる腐食の可能性を防ぐことができます。

ボート操縦前に、ショックエンドをエンジンカバーリッドにもう一度取り付けます。

ボートを屋外に保管する場合は、UV（紫外線）と汚れがプラスチック製コンポーネントやボートの仕上げを損なったり、ホコリが堆積したりするのを防ぐため、不透明な防水カバーで覆ってください。

注意：また、直射日光の当たる場所にボートを保管しないでください。UVの影響により表面の仕上げが損なわれます。ボートを水に浮かべたまま長期間保管しないでください。メインバッテリーのカットオフスイッチがオフになっていることを確認してください。

保管期間中は、ホイールを固定してから、トレーラージャッキ（装備されている場合）でバウをわずかに持ち上げて、排水します。ドレンプラグを緩め、妨げがないようにしてください。

[†] Gelcote とは、Gelcote International の登録商標です。

シーズン前の準備

メンテナンス情報 セクション初めの定期点検チャートを使用し、シーズン前の項目に従って点検を行ってください。

一部の作業は技術的スキルと特殊工具を必要としますので、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーに実施を依頼してください。

警告

このガイドに示された警告および注意の中で、該当点検項目に関係するものには漏れなく従ってください。コンポーネントの状態がよくないと思われる場合は、BRP 純正部品または認定された同等品と交換してください。

注記: シーズン前の準備と同時に、12ヶ月安全点検とメーカーの改良キャンペーンの実施を Sea-Doo 認定ディーラーに依頼されることを強くお勧めします。

警告

このガイドで詳しく解説された手順のみを実施してください。このガイドで触れられていないコンポーネント/システムについては、定期的に認定ディーラーに整備を依頼されることをお勧めします。特に指定のある場合を除いて、メンテナンス作業を実施する際は必ずエンジンを停止して、メインバッテリーのカットオフスイッチをオフにしてください。

保証情報

米国とカナダで販売されたSEA-DOOスポーツボート 2008年モデル® に対するBRP限定保証

1) 限定保証の適用範囲

BRP US Inc.* (以下“BRP”とします) は、以下に記述された期間について、下記の条件のもと、アメリカ合衆国 50 州およびカナダの BRP 認定ディーラー (以下“ディーラー”とします) によって販売された新品で未使用の 2008 年モデル Sea-Doo® スポーツボート (以下“スポーツボート”とします) に素材または製造上の欠陥がないことを保証します。

この 2008 年モデル Sea-Doo® スポーツボートが納入される際に、BRP 認定ディーラー (その定義は以下に示します) によって取り付けられたすべての BRP 純正部品およびアクセサリは、スポーツボート本体と同じ保証を受けるものとします。

スポーツボートに標準装備として取り付けられた Clarion® 音響コンポーネントは、Clarion によって別個に保証を受けます。そのような音響コンポーネントが Sea-Doo® スポーツボートに取り付けられている場合、保証適用情報と援助について製造業者に相談するか、BRP 認定ディーラーにお尋ねください。

米国向け:
Clarion Corporation of America
661 West Redondo Beach Boulevard
Gardena, CA 90247
電話: 800 347-8933
Fax: 310 217-4380

カナダ向け:
Clarion Canada Inc.
2239 Winston Park Drive
Oakville, ON L6H 5R1
電話: 800 668-5612
Fax: 800 387-7122

この製品を一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合は、以前の所有者による行為である場合も含めて、この保証は無効になります。

2) 除外規定 (以下は保証修理の対象とはなりません)

以下は保証対象ではありません:

- 通常の磨耗および損耗による部品交換;
- 定期メンテナンス部品と整備であり、限定するわけではないが、調整、オイル、潤滑とクーラント交換、スパークプラグ交換、ウォーターポンプ等を含みます;
- 『オペレーターズガイド』に記述されている手順や推奨に従わなかったこと、また不適切なメンテナンスの実施や適切なメンテナンスまたは保管を行わなかったことに起因する損傷;
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、あるいは BRP によって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、合理的な判断によりスポーツボートに適さないか、あるいはその動作、性能、または耐久性に悪影響を及ぼすと見なされる部品の使用の結果として生じた損傷あるいは整備を行う BRP 認定ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷;
- 酷使、誤用、通常の使用以外での使用、不注意、競技、不適切な使い方、または 『オペレーターズガイド』に記述された推奨事項と異なる方法でスポーツボートを使用したことに起因する損傷;
- 外部損傷、水没、水または異物の吸入、事故、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷;

- そのスポーツボートに適さない燃料、オイル、潤滑剤を使用しての航行（『オペレーターズガイド』を参照）；
- サビ、腐食、または自然環境への曝露によって生じた損傷；
- 異物による冷却システムまたはジェットポンプの詰まりによって生じた損傷；
- 二次的または間接的な損害、あるいは牽引、保管、電話、借用、タクシー、不便、保険担保、ローンの支払い、時間的損失、収入の損失を含むがそれらのみに限定されないその種の損害、
- 外装のゲルコート仕上げの瑕疵、プリスター、スターリング、ひび割れを含み、それらの中には限定されないゲルコート仕上げの損傷；およびプリスター、ひび割れ、クモの巣状またはヘアライン状のひび、または自然環境への曝露に起因するファイバークラスの層間剥離。

3) 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらの中には限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められていないため、それらはあなたには適用されない可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

ディストリビューター、BRP 正規ディーラー、そしていかなる個人も、この限定保証に含まれていない確約、表明、または保証を、BRP あるいはその他の個人に対して行ってはならず、万一行った場合、それらの内容は BRP に対して強制できるものではありません。

BRP はこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間に変更されないことに同意します。

4) 保証適用期間

この限定保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはそのスポーツボートが最初に使用された日のどちらか早い方から、以下の各期間にわたって有効とされます：

- 個人がレクリエーション用途で使用する場合は連続する 12 カ月間。ただしデッキとハルのファイバークラス構造は連続する 60 カ月間が適用されます；
- 業務用を使用する場合は連続する 4 ケ月間。ただしデッキとハルのファイバークラス構造は連続する 12 カ月間が適用されます。保証期間中の一部であっても、スポーツボートが収入の発生、何らかの業務または職業に関連して用いられた場合、そのスポーツボートは商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中のいずれかの時点でスポーツボートが商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、そのスポーツボートは商業的用途で使用されたものと見なされます。

下のチャートに含まれる、米国で登録された EPA 認定の Sea-Doo® スポーツボートに取り付けられた排出ガス制御を操作する排出ガス関連コンポーネント（下記のリストを参照）は、連続する 24 ヶ月間またはエンジン使用 200 時間のどちらか早い方の期間適用されます。保証期間中にエンジン使用 200 時間に到達した場合、排出ガス関連コンポーネントは、保証期間終了時点まで BRP の標準保証を受けます。

EPA 認定 2008 Sea-Doo® スポーツボートは、次を装備しています：

- 4-TEC™ 1503 自然吸気 (NA) エンジン
- 4-TEC™ 1503 インタークーラースーパーチャージャー付き (SCIC) エンジン。

排出ガス関連コンポーネント：

- スロットルポジションセンサー (TPS)
- 気温センサー (ATS)
- 気圧センサー (APS)

BRP 製のスポーツボートはカリフォルニア州またはニューヨーク州での販売を意図して製造されており、本来はカリフォルニア州またはニューヨーク州の住民に販売され、その後保証はそれらの州の住民に登録されます。関係するカリフォルニア州およびニューヨーク州の排出ガス制御保証規定もご覧ください。

この保証によってスポーツボートに対して行われる修理や部品の交換、または整備の実施により、当初の有効期限を超えてこの限定保証が延長されることはありません。

5) 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用されます：

- a) 2008 年モデル Sea-Doo® スポーツボートとは、その販売が行われた国において Sea-Doo® スポーツボート製品の販売を許可されている BRP ディストリビューター / ディーラーから、最初のオーナーによって未使用の新品として購入されたものです (“BRP ディストリビューター / ディーラー”);
- b) BRP が指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成しなければなりません;
- c) 製品は BRP 認定ディストリビューター / ディーラーによって正しく登録されなければなりません;
- d) 2008 年モデル Sea-Doo® スポーツボートは、購入者が居住する国で購入される必要があります。
- e) 保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRP は、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRP は、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRP が製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は欠陥の発現から2日以内に、整備を行う BRP ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものを BRP ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理 / 作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべて BRP の所有となります。

7) BRP が行うこと

この保証に基づく BRP の義務は、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の BRP 認定ディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しい BRP 純正部品と交換することです。

BRP は、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) 所有権の移転

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、以下のような方法で所有権の移転が BRP に通知されることを条件に、残りの保証期間の間も有効となります：

- a) 旧所有者が BRP (下記の電話番号) または BRP 認定ディーラーへ連絡し、新しい所有者の連絡先を知らせる；
- b) BRP または正規 BRP ディーラーが、旧所有者が所有権の移転に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領する。

9) 消費者支援

- a) 本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について BRP 認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。
- b) さらに支援が必要な場合は、問題の解決を図るためディストリビューターのサービス部門と連絡を取ってください。

カナダ

BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.

Consumer Services Group
75, J.-A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec J1L 1W3
電話: 819 566-3366

米国

BRP US INC.

Consumer Services Group
7575 Bombardier Court
Wausau WI 54401
電話: 715 848-4957

* カナダでは、製品の流通とサービスは Bombardier Recreational Products Inc が行います。

© 2007 Bombardier Recreational Products Inc. 全権保留。

® Bombardier Recreational Products Inc. またはその子会社の登録商標。

‡ Clarion の商標です。

4-TEC™ 1503 自然吸気 (NA) および 4-TEC™ 1503 インタークーラースーパーチャージャー付き (SCIC) エンジン装備 SEA-DOO® 2008 年モデルスポーツボートに対するカリフォルニア州およびニューヨーク州の排出ガス制御保証規定

2008 年モデル Sea-Doo® スポーツボート (以下“スポーツボート”とします) にはカリフォルニア大気資源委員会が規定した特別な環境ラベルを貼ります。ラベルには、1、2、3、4 スターがあります。スポーツボートの品質表示票にはスター等級システムの意味が説明されています。

スターラベルは、クリーンな船舶用エンジンを意味します
クリーンな船舶用エンジンの記号：



F18L3CQ

クリーンな空気と水
より健康的なライフスタイルと環境。

燃料節約

燃料節約 従来の気化2ストロークエンジンと比べてガソリンとオイルの燃焼を 30 - 40 パーセント減らし、資金と資源を節約します。

排気ガス保証の延長

消費者が心配なく操業できるよう保護します。

1スター - 低排出

1スターラベルは、パーソナル・ウォータークラフト、船外、船尾、船内エンジンが大気資源委員会のパーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジン 2001 年排気物質基準を満たしていることを示します。この基準を満たすエンジンは、従来の気化 2 ストロークエンジンより排気物質を 75 % 削減します。これらのエンジンは、船舶用エンジンの U.S. EPA の 2006 基準と同等です。

2スター - 超低排出

2スターラベルは、パーソナル・ウォータークラフト、船外、船尾、船内エンジンが大気資源委員会のパーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジン 2004 年排気物質基準を満たしていることを示します。これらの基準を満たすエンジンは、1 スター-低排出エンジンより排気物質を 20% 削減します。

3スター - 極超低排出

3スターラベルは、エンジンが大気資源委員会のパーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジン 2008 年排気物質基準または船尾と船内船舶用エンジン 2003 年排気物質基準を満たしていることを示します。これらの基準を満たすエンジンは、1スター 低排出エンジンより排気物質を 65% 削減します。

4 スター - スーパー極超低排出

4 スターラベルは、エンジンが大気資源委員会の船尾と船内船舶用エンジン 2009 年排気物質基準を満たしていることを示します。パーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジンもこれらの基準に準拠します。これらの基準を満たすエンジンは、1スター 低排出エンジンより排気物質を 90% 削減します。

詳細: クリーンなウォータークラフト - 次で確認してください。1 800 END-SMOG www.arb.ca.gov

排出ガス制御保証権利と義務

カリフォルニア州大気資源委員会および BRP US Inc. (以下“BRP”とします) は、2008 年モデル Sea-Doo® スポーツボートの排出ガス制御システム保証について説明いたします。カリフォルニア州では、新規のスポーツボートのエンジンを州のスモッグ防止基準を満たすように設計、組み立て、装備しなければなりません。BRP は、貴方のスポーツボートを酷使、不注意、不適切なメンテナンスがない限り下記の期間スポーツボートのエンジンの排出ガス制御システムを保証しなければなりません。

排出ガス制御システムには、噴射装置、イグニッションシステム、触媒コンバータ等の部品が含まれます。またホース、ベルト、コネクタ、その他の排出関連のアッセンブリーが含まれます。

保証可能な条件が存在する場合、BRP は、BRP 認定ディーラーによってなされる場合に限り、診断、部品代および工賃を含めて、貴方のスポーツボートのエンジンを無償で修理します。

製造業者の限定補償範囲

この排出ガス限定保証は、カリフォルニア州での販売を意図して BRP によって認証して製造された 2008 年モデル Sea-Doo® スポーツボートに適用され、本来はカリフォルニア州の住民に販売された、あるいはその後保証はカリフォルニア州の住

4-TEC™ 1503 自然吸気 (NA) および 4-TEC™ 1503 インタークーラースーパーチャージャー付き (SCIC) エンジン装備 2008 年モデル SEA-DOO® スポーツボートで適用される部品:

デジタルリニアアクチュエータ(低アイドル制御)	すべての燃料システムコンポーネント
スロットルポジションセンサー	スパークプラグ
吸気マニホールド気圧センサー	イグニッションコイル
吸気マニホールド気温センサー	ピストンとリング
エンジン温度センサー	インテークおよびエキゾーストバルブ ギア/トレイン
ノッキングセンサー	バルブ、バルブガイド、バルブガイド シーリング
排出ガス制御ユニット	クランクケースベンチレーションバルブ
インジェクター	配線ハーネスとコネクタ
燃圧レギュレータ	排出ガス関連シール、ガスケット、ホース
吸気マニホールド	エキゾーストマニホールド
インタークーラー (装備の場合)	スーパーチャージャー (装備の場合)

排出ガス保証は、保証部分の異常によって引き起こされる他のエンジンコンポーネントの損傷に適用されます。BRP オペレーターガイドは、スポーツボートの正しいメンテナンスと使用に関する指示を記載しています。すべての排出ガス保証部品は、『オペレーターズガイド』のメンテナンスで要求されている部品交換を予定していない限り、BRP によってスポーツボートの保証期間全体で保証されます。

メンテナンスを必要とする、交換を予定している排出ガス保証部品は、部品の最初の交換予定日までの期間の間 BRP により保証されます。定期的な交換ではなく、通常点検を予定している排出ガス保証部品は、スポーツボートの保証期間全体で BRP により保証されます。この保証規定の条項の元で修理または交換された排出ガス保証部品は、本来の部品の保証期間の残りの間 BRP により保証されます。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべて BRP の所有となります。メンテナンスの受け入れと記録は、スポーツボートの次の各所有者に移転されます。

所有者の保証責任

2008年モデル Sea-Doo® スポーツボートの所有者として、『オペレーターズガイド』に記載の要求されているメンテナンスを実施する責任があります。スポーツボートのエンジンに係る全受領書を保持することをBRPは推奨しますが、受領書の紛失またはすべての予定メンテナンスの不履行だけを理由にしてBRPは保証適用を拒否できません。Sea-Doo® スポーツボートの所有者として、BRPが酷使、不注意、不適切なメンテナンス、不適切な改変によりエンジンまたは部品に対する保証適用を拒否できることに留意してください。問題が発生した場合、エンジンをBRP認定ディーラーにできるだけ早く見せます。保証修理は、30日を超えない合理的な長さの期間内に完了します。保証の権利と責任、または最寄のBRP認定ディーラーの名前と場所に関して質問がある場合、Consumer Services Groupまでお問い合わせください(1 715 848-4957)。

2008年モデル SEA-DOO® スポーツボートに 対する BRP 国際限定保証

1) 限定保証の適用範囲

BRP US Inc.* (以下“BRP”とします) は、以下に記述された期間について、下記の条件のもと、アメリカ合衆国 50 州、カナダ、欧州連合加盟国の BRP 認定ディストリビューター / ディーラー (以下“ディストリビューター / ディーラー”とします) によって販売された新品で未使用の 2008 年モデル Sea-Doo® スポーツボート (以下“スポーツボート”とします) に素材または製造上の欠陥がないことを保証します。

この 2008 年モデル Sea-Doo スポーツボートが納入される際に、BRP 認定ディーラー (その定義は以下に示します) によって取り付けられたすべての BRP 純正部品およびアクセサリは、スポーツボート本体と同じ保証を受けるものとします。

この製品を一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合は、以前の所有者による行為である場合も含めて、この保証は無効になります。

2) 除外規定 (以下は保証修理の対象とはなりません)

以下は保証対象ではありません:

- 通常の磨耗および損耗による部品交換;
- 定期メンテナンス部品と整備であり、限定するわけではないが、調整、オイル、潤滑とクーラント交換、スパークプラグ交換、ウォーターポンプ等を含みます;
- 『オペレーターズガイド』に記述されている手順や推奨に従わなかったこと、また不適切なメンテナンスの実施や適切なメンテナンスまたは保管を行わなかったことに起因する損傷;
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、あるいは BRP によって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、合理的な判断によりスポーツボートに適さないか、あるいはその動作、性能、または耐久性に悪影響を及ぼすと見なされる部品の使用の結果として生じた損傷あるいは整備を行う BRP 認定ディストリビューター / ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷;
- 酷使、誤用、通常の用途以外での使用、不注意、競技、不適切な使い方、または 『オペレーターズガイド』に記述された推奨事項と異なる方法でスポーツボートを使用したことに起因する損傷;
- 外部損傷、水没、水または異物の吸入、事故、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷;
- そのスポーツボートに適さない燃料、オイル、潤滑剤を使用しての航行 (『オペレーターズガイド』を参照);
- サビ、腐食、または自然環境への曝露によって生じた損傷;
- 異物による冷却システムまたはジェットポンプの詰まりによって生じた損傷;
- 二次的または間接的な損害、あるいは牽引、保管、電話、借用、タクシー、不便、保険担保、ローンの支払い、時間的損失、収入の損失を含むがそれらだけに限定されないその種の損害、
- 外装のゲルコート仕上げの瑕疵、プリスター、スターリング、ひび割れを含み、それらの中には限定されないゲルコート仕上げの損傷; およびプリス

ター、ひび割れ、クモの巣状またはヘアライン状のひび、または自然環境への曝露に起因するファイバーグラスの層間剥離。

3) 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されず、明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されず、ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められていないため、それらはあなたには適用されない可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

ディストリビューター、BRP ディストリビューター / デイラー、またはその他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にも BRP に対する強制力はありません。

BRP はこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

4) 保証適用期間

この限定保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはそのスポーツボートが最初に使用された日のどちらか早い方から、以下の各期間にわたって有効とされます：

- 個人がレクリエーション用途で使用する場合は連続する 12 カ月間。ただしデッキとハルのファイバーグラス構造は連続する 60 カ月間が適用されます；
- 業務用に使用する場合は連続する 4 ヶ月間。ただしデッキとハルのファイバーグラス構造は連続する 12 カ月間が適用されます。保証期間中の一部であっても、スポーツボートが収入の発生、何らかの業務または職業に関連して用いられた場合、そのスポーツボートは商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中のいずれかの時点でスポーツボートが商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、そのスポーツボートは商業的用途で使用されたものと見なされます。

この保証によってスポーツボートに対して行われる修理や部品の交換、または整備の実施により、当初の有効期限を超えてこの限定保証が延長されることはありません。

5) 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用されます：

- a) 2008 年モデル Sea-Doo® スポーツボートとは、その販売が行われた国において Sea-Doo® スポーツボート製品の販売を許可されている BRP ディストリビューター / デイラーから、最初のオーナーによって未使用の新品として購入されたものです (“BRP ディストリビューター / デイラー”);
- b) BRP が指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成しなければなりません；
- c) 製品は BRP 認定ディストリビューター / デイラーによって正しく登録されなければなりません；

- d) 2008年モデル Sea-Doo® スポーツボートは、購入者が居住する国で購入される必要があります。
- e) 保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は欠陥の発現から2日以内に、整備を行うBRPディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをBRPディストリビューター/ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

7) BRP が行うこと

この保証に基づくBRPの義務は、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意のBRP認定ディストリビューター/ディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しいBRP純正部品と交換することです。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) 所有権の移転

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、BRPまたはBRP認定ディストリビューター/ディーラーが、旧所有者が所有権の移転に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間の間も有効となります。

9) 消費者支援

- a) 本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。
- b) さらに支援が必要な場合は、ディストリビューターのサービス部門にご相談ください。ディストリビューターの連絡先を www.brp.com でご覧になれます。
- c) それでも解決できない場合は、問題の内容を書面にして、下記に提出してください。

ヨーロッパ、中東、アフリカ、ロシアおよび CIS の方々は、ヨーロッパオフィスまでご連絡ください:

BRP EUROPE N.V.

Consumer Service Center
Skaldenstraat 125
9042 Gent
Belgium
電話.: + 32-9-218-26-00

北欧諸国の方々は、フィンランドオフィスまでご連絡ください:

BRP FINLAND OY

Service Department
Ahjotie 30
Fin-96320 Rovaniemi
Finland
電話: + 358 16 3208 111

上記以外の国の方々は、地元のディストリビューターが、北米オフィスまでご連絡ください:

BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.

Consumer Services Group
75, J.-A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec J1L 1W3
電話: 819 566-3366

*この限定保証が適用される地域では、製品の流通とサービスは Bombardier Recreational Products Inc. または子会社が行います。

© 2007 Bombardier Recreational Products Inc. 全権保留。

®Bombardier Recreational Products Inc. またはその子会社の登録商標。

2008年モデル SEA DOO® スポーツボートに対する BRP 欧州連合加盟国限定保証

1) 限定保証の範囲

BRP US Inc. (以下“BRP”とします)* は、以下に記述された期間について、下記の条件のもと、欧州連合加盟国の BRP 認定ディストリビューター/ディーラー (以下“ディストリビューター/ディーラー”とします) によって販売された 2008 年モデル SEA-DOO® スポーツボートに素材または製造上の欠陥がないことを保証します。

2008 年モデル SEA-DOO® スポーツボートが納入される際に、BRP 認定ディストリビューター/ディーラーによって取り付けられたすべての Sea-Doo® スポーツボート純正部品およびアクセサリーは、スポーツボート本体と同じ保証を受けるものとします。

この製品を一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合は、以前の所有者による行為である場合も含めて、この保証は無効になります。

2) 除外規定 (以下は保証修理の対象とはなりません)

以下は保証対象ではありません:

- 通常の磨耗および損耗による部品交換;
- 定期メンテナンス部品と整備であり、限定するわけではないが、調整、オイル、潤滑とクーラント交換、スパークプラグ交換、ウォーターポンプ等を含みます;
- 『オペレーターズガイド』に記述されている手順や推奨に従わなかったこと、また不適切なメンテナンスの実施や適切なメンテナンスまたは保管を行わなかったことに起因する損傷;
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、あるいは BRP によって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、合理的な判断によりスポーツボートに適さないか、あるいはその動作、性能、または耐久性に悪影響を及ぼすと見なされる部品の使用の結果として生じた損傷あるいは整備を行う BRP 認定ディストリビューター/ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷;
- 酷使、誤用、通常の用途以外での使用、不注意、競技、不適切な使い方、または 『オペレーターズガイド』に記述された推奨事項と異なる方法でスポーツボートを使用したことに起因する損傷;
- 外部損傷、水没、水または異物の吸入、事故、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷;
- そのスポーツボートに適さない燃料、オイル、潤滑剤を使用しての航行 (『オペレーターズガイド』を参照);
- サビ、腐食、または自然環境への曝露によって生じた損傷;
- 異物による冷却システムまたはジェットポンプの詰まりによって生じた損傷;
- 二次的または間接的な損害、あるいは牽引、保管、電話、借用、タクシー、不便、保険担保、ローンの支払い、時間的損失、収入の損失を含むがそれらだけに限定されないその種の損害、
- 外装のゲルコート仕上げの瑕疵、ブリスター、スターリング、ひび割れを含み、それらの中には限定されないゲルコート仕上げの損傷; およびブリス

ター、ひび割れ、クモの巣状またはヘアライン状のひび、または自然環境への曝露に起因するファイバークラスの層間剥離。

3) 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められておらず、それがあなたにも適用される可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

ディストリビューター、BRP ディストリビューター / ディーラー、またはその他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にも BRP に対する強制力はありません。

BRP はこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

4) 保証対象期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です：

個人使用の場合は連続する 24 カ月間。業務用に使用する所有者の場合は連続する 4 ヶ月間。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、ユーザーの国で適用される関連する法令に従います。

5) 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用されます：

- a) 2008 年モデル Sea-Doo® スポーツボートとは、その販売が行われた国において Sea-Doo® スポーツボート製品の販売を許可されている BRP ディストリビューター / ディーラーから、最初のオーナーによって未使用の新品として購入されたものです ("BRP ディストリビューター / ディーラー");
- b) BRP が指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成しなければなりません；
- c) 製品は BRP 認定ディストリビューター / ディーラーによって正しく登録されなければなりません；
- d) 2008 年モデル Sea-Doo® スポーツボートは、購入者が居住する国で購入される必要があります。
- e) 保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRP は、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRP は、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRP が製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は欠陥の発現から2ヶ月以内に、整備を行う BRP ディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものを BRP ディストリビューター/ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべて BRP の所有となります。

通知期間はユーザーの国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7) BRP が行うこと

この保証に基づく BRP の義務は、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の BRP 認定ディストリビューター/ディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しいスポーツポート純正部品と交換することです。

BRP は、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) 所有権の移転

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、BRP または BRP 認定ディストリビューター/ディーラーが、旧所有者が所有権の移転に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間の間も有効となります。

9) 消費者支援

- a) 本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について BRP 認定ディストリビューター / ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。
- b) さらに支援が必要な場合は、ディストリビューターのサービス部門にご相談ください。ディストリビューターの連絡先を www.brp.com でご覧になれます。
- c) それでも問題が解決しない場合、下記の住所の BRP に連絡をとってください。

ヨーロッパ、中東、アフリカ、ロシアおよび CIS の方々は、ヨーロッパオフィスまでご連絡ください:

BRP EUROPE N.V.

Consumer Service Center
Skaldenstraat 125
9042 Gent
Belgium
電話.: + 32-9-218-26-00

北欧諸国の方々は、フィンランドオフィスまでご連絡ください:

BRP FINLAND OY

Service Department
Ahjotie 30
Fin-96320 Rovaniemi
Finland
電話: + 358 16 3208 111

上記以外の国の方々は、地元のディストリビューターか、北米オフィスまでご連絡ください:

BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.

Consumer Services Group
75, J.-A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec J1L 1W3
電話: 819 566-3366

*この限定保証が適用される地域では、製品の流通とサービスは Bombardier Recreational Products Inc. または子会社が行います。

© 2007 Bombardier Recreational Products Inc. 全権保留。

® Bombardier Recreational Products Inc. またはその子会社の登録商標。

EC適合宣言は『オペレーターズガイド』のこのバージョンには含まれていません。

船体に付属の印刷バージョンを参照してください。

型式認定および認証

これらのボートは以下の規格に適合しています：

規格	認証の種類
アメリカ沿岸警備隊	自己認証
カナダ沿岸警備隊	自己認証
ロシア船級協会	ロシア船級協会により認証 8, Dvortsovaya Nab., 191186 St. Petersburg, ロシア
電磁両立性に関する欧州 委員会の指令 89/336/CEE	内部生産管理 および管轄団体の責任により 実施される管理。 管轄団体： UTAC Autodrome de Linas-Montlhéry, B.P. 212 91311 Montlhéry cedex, フランス
レクリエーション用船舶に関する欧州議会 および欧州委員会の指令2003/44/EC	内部生産管理および届出先団 体の責任により実施される管理 届出先団体： International Marine Certification Institute Trèves centre, rue de Trèves 45 1040 Brussels, ベルギー

プライバシーに関する情報

あなたのご連絡先情報は安全性の確保と保証のために使わせていただきます。お客様のご連絡先情報を利用して、当社製品のご案内やご提供情報を送らせていただくことがあります。このような当社製品、サービス、ご提供に関する情報を希望されない場合は、下記まで書面にてお知らせください。

また、厳選された信頼できる企業に対して、品質の高い製品とサービスの販売促進に役立てるため、お客様のご連絡先情報の利用を許可することがあります。あなたのお名前やご住所の開示を拒否される場合は、下記まで書面にてお知らせください。

カナダ

BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.

Warranty Department
75, J.-A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec J1L 1W3
Fax 番号: 819 566-3590

米国

BRP US INC.

Warranty Department
7575 Bombardier Court
Wausau WI 54401
電話: 715 848-4957

他の国々

BRP EUROPEAN DISTRIBUTION

Warranty Department
Chemin de Messidor 5-7
1006 Lausanne Switzerland
Fax 番号: + 41213187801

住所と所有権の変更

お客様が住所を変更された場合またはボートの新しい所有者になった場合は、以下のいずれかの方法でBRPに通知してください。

- 以下の宛先にカードを郵送する；
- 北米のみ：715 848-4957 (米国) または 819 566-3366 (カナダ) へ電話する；
- BRP 認定ディストリビューター / ディーラーに問い合わせる。

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。

例えば、安全上のリコールを開始した場合など、BRPが必要に応じてボートの所有者に連絡できるように、限定保証の期間が終了した後でも、BRPに通知することが重要です。BRPに通知するのは、所有者の責任です。

盗難に遭った場合：あなたのスポーツボートが盗まれた場合は、お住まいの地域を管轄するディストリビューターの保証部門までご連絡ください。お客様のお名前、ご住所、電話番号、船体識別番号、そして盗難の日付をお知らせください。

北米

BOMBARDIER RECREATIONAL
PRODUCTS INC.
Warranty Department
75, J.-A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec J1L 1W3
カナダ

他の国々

BRP EUROPEAN DISTRIBUTION
Warranty Department
Chemin de Messidor 5-7
1006 Lausanne
スイス

住所と所有権の変更

お客様が住所を変更された場合またはボートの新しい所有者になった場合は、以下のいずれかの方法で BRP に通知してください。

- 以下の宛先にカードを郵送する;
- 北米のみ: 715 848-4957 (米国) または 819 566-3366 (カナダ) へ電話する;
- BRP 認定ディストリビューター / ディーラーに問い合わせる。

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。

例えば、安全上のリコールを開始した場合など、BRP が必要に応じてボートの所有者に連絡できるように、限定保証の期間が終了した後でも、BRP に通知することが重要です。BRP に通知するのは、所有者の責任です。

盗難に遭った場合: あなたのスポーツボートが盗まれた場合は、お住まいの地域を管轄するディストリビューターの保証部門までご連絡ください。お客様のお名前、ご住所、電話番号、船体識別番号、そして盗難の日付をお知らせください。

北米

BOMBARDIER RECREATIONAL
PRODUCTS INC.
Warranty Department
75, J.-A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec J1L 1W3
カナダ

他の国々

BRP EUROPEAN DISTRIBUTION
Warranty Department
Chemin de Messidor 5-7
1006 Lausanne
スイス

スポーツボートモデル番号 _____

船体
識別番号 (H.I.N.) _____

マーキュリーまたは
ROTAX エンジン
識別番号 (E.I.N.) _____

所有者 : _____

名前

No. _____ 番地 _____ アパート名 _____

区市町村 _____ 県 _____ ZIP/郵便番号 _____

購入日 _____
年 月 日

保証有効期限 _____
年 月 日

販売時にSEA・DOO 認定ディーラーが記入してください。

ディーラー名

F00A35L

ご使用のSEA・DOO スポーツボートがBombardier への登録を完了しているかどうかについては、販売ディーラーにご確認ください。

オペレーターズガイド

205 UTOPIA/SE

2008

219 700 910